



大学院環境科学院 年次報告書

平成 25 年度

北海道大学大学院環境科学院

北海道大学大学院環境科学院
年次報告書 平成25年度

目次

はじめに	1
I 組織	2
1 沿革	3
2 教員組織	5
3 事務組織	7
4 各種委員会	7
II 学生の受入	8
5 入学試験	9
6 学生定員と現員の推移	10
7 留学生数の推移と支援体制	13
III 教育活動	16
8 専攻・コース編成	17
9 カリキュラム編成	18
10 公開コースの開催	22
IV 成果	29
11 学位取得状況	30
12 研究成果発表状況	38
13 修了後の進路	70
V 補遺	72
14 規程	73
15 予算	76
16 安全管理	76
17 協定	77

はじめに

平成 25 年度の環境科学院の年次報告書を発行致します。

平成 25 年 9 月に気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第 5 次評価報告書第 1 作業部会報告書（自然科学的根拠）が公表され、さらに、翌年には第 2 作業部会の報告書（影響・適応・脆弱性）、第 3 作業部会の報告書（気候変動の緩和）が公表されました。人間活動が 20 世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い、また、気候変動の影響の証拠は自然生態系に最も強くかつ包括的に現れていると述べられています。気候変化とその影響は今後解決しなければならない大きな課題ですが、それ以外にも越境汚染の問題、汚染物質の除去や自然環境の修復、さらには、経済のグローバル化に伴う大競争時代の中での環境負荷を抑えた開発など、環境科学が扱うべき課題は山積みです。本学院は、そのような環境科学の種々の側面、基礎的事項から応用・実践までの広い範囲の教育を行い、環境科学およびその基礎に関する学識ならびに応用力を備えた有為な人材を学界、産業界、教育界などに排出し、環境問題の解決に資することを目的としていますが、少子化や経済的状況が学部を有しない独立大学院である本学院には大きく影響し、ここ何年か、受験生の数が十分とは言えない専攻もあります。それ故、教育の質の向上は当然ですが、それとともに学生のニーズも踏まえた対策も必要であろうと考えています。

前回の大規模な改組である環境科学院と地球環境科学研究院の設置から 9 年、学院内のコース再編からも 3 年が経過し、さらに、第 2 期中期目標期間の終わりも近づいた本年度には、外部委員による点検評価も計画中です。この報告書も、これまで提出した報告書とともに、現状を踏まえ、将来を考えるための資料と致します。

北海道大学大学院環境科学院長 久保川 厚



I 組 織

1 沿革

大学院環境科学研究科

1977（昭和 52 年）	4 月 1 日	大学院環境科学研究科が設置される
	4 月 1 日	環境計画学専攻修士課程，環境構造学専攻修士課程，社会環境学専攻修士課程，環境保全学専攻修士課程が設置される
	4 月 1 日	環境計画学専攻博士後期課程が設置される
	4 月 1 日	環境構造学専攻博士後期課程が設置される
1979（昭和 54 年）	4 月 1 日	社会環境学専攻博士後期課程，環境保全学専攻博士後期課程が設置される
1980（昭和 55 年）	3 月 10 日	管理棟・研究棟（現在の A 棟）・実験棟（6,898 m ² ）竣工
1987（昭和 62 年）	10 月 17 日	大学院環境科学研究科創立 10 周年記念式典・祝賀会を開催
1988（昭和 63 年）	2 月 20 日	大学院環境科学研究科創立 10 周年記念公開シンポジウムを開催

大学院地球環境科学研究科

1993（平成 5 年）	4 月 1 日	大学院地球環境科学研究科が設置される
	4 月 1 日	地圏環境科学専攻（修士課程，博士後期課程），生態環境科学専攻（修士課程，博士後期課程），物質環境科学専攻（修士課程，博士後期課程）が設置される
	7 月 14 日	アメリカ合衆国・イリノイ大学大学院シカゴ校と部局間交流協定を締結
1994（平成 6 年）	4 月 1 日	大気海洋圏環境科学専攻修士課程が設置される
1995（平成 7 年）	3 月 16 日	インドネシア共和国・パランカラヤ大学と部局間交流協定を締結
1996（平成 8 年）	2 月 9 日	イギリス・ノッティンガム大学と部局間交流協定を締結（～2002（平成 14 年）2 月 6 日）
	4 月 1 日	大気海洋圏環境科学専攻博士後期課程が設置される
	12 月 2 日	研究棟（現在の B 棟）（第一期 4,580 m ² ）竣工
1997（平成 9 年）	10 月 17 日	ネパール連邦民主共和国・トリブバン大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結
	11 月 17 日	中華人民共和国・蘭州大学資源環境学院と部局間交流協定を締結
1998（平成 10 年）	1 月 16 日	マレーシア・サバ大学科学技術研究科と部局間交流協定を締結（～ 2003（平成 15 年）1 月 15 日）
2000（平成 12 年）	3 月 27 日	研究棟（現在の C 棟）（第二期 5,282 m ² ）竣工
2003（平成 15 年）	9 月 29 日	大学院地球環境科学研究科創立 10 周年記念シンポジウム・祝賀会を開催

大学院環境科学院

2005（平成 17 年）	4 月 1 日	大学院地球環境科学研究院が設置される
	4 月 1 日	統合環境科学部門，地球圏科学部門，環境生物科学部門，物質機能科学部門が設置される
	4 月 1 日	大学院環境科学院が設置される
	4 月 1 日	環境起学専攻（修士課程，博士後期課程），地球圏科学専攻（修士課程，博士後期課程），生物圏科学専攻（修士課程，博士後期課程），環境物質科学専攻（修士課程，博士後期課程）が設置される
2006（平成 18 年）	8 月 26 日	インドネシア共和国・パランカラヤ大学と大学間交流協定を締結
2007（平成 19 年）	6 月 13 日	スイス連邦・スイス連邦工科大学チューリッヒ校と大学間交流協定を締結
2009（平成 21 年）	12 月 24 日	講義棟（614 m ² ）竣工
2010（平成 22 年）	9 月 2 日	中華民国・国立成功大学と部局間交流協定を締結
	10 月 24 日	ネパール連邦民主共和国・トリブバン大学と大学間交流協定を締結
	10 月 29 日	中華人民共和国・東南大学と大学間交流協定を締結

2011（平成23年）	4月1日	大学院地球環境科学研究院の分野を一部再編，大学院環境科学院のコースを一部再編
	4月13日	(株)星野リゾート・トマムとの間で連携協定を締結
	12月15日	環境中間支援会議・北海道との間で連携協定を締結
2012（平成24年）	5月31日	ドイツ連邦民主共和国・GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel と部局間交流協定を締結
	6月25日	中華民国・国立東華大学環境科学院と部局間交流協定を締結
	9月21日	(株)星野リゾート・トマム及び占冠村との間で連携協定を締結
2013（平成25年）	1月22日	アメリカ合衆国・ユタ大学大学院 ナノ研究所と部局間交流協定を締結
	7月29日	北海道コカ・コーラボトリング株式会社との間で連携協定を締結
2014（平成26年）	2月5日	マレーシア・サバ大学熱帯生物保全研究所と部局間交流協定を締結
	3月20日	インドネシア共和国・バンドン工科大学と大学間交流協定を締結

1-2 歴代研究科長，研究院長・学院長

職 名	氏 名	在 任 期 間
大学院環境科学研究科長	関 清 秀	1977（昭和52年）4月1日～1979（昭和54年）3月31日
	高 桑 栄 松	1979（昭和54年）4月1日～1980（昭和55年）3月31日
	明 道 博	1980（昭和55年）4月1日～1982（昭和57年）3月31日
	太 田 實	1982（昭和57年）4月1日～1986（昭和61年）3月31日
	伊 藤 浩 司	1986（昭和61年）4月1日～1990（平成2年）3月31日
	黒 柳 俊 雄	1990（平成2年）4月1日～1992（平成4年）3月31日
	小 島 豊	1992（平成4年）4月1日～1993（平成5年）3月31日
大学院地球環境科学研究科長	堀 浩	1993（平成5年）4月1日～1995（平成7年）3月31日
	戸 倉 清 一	1995（平成7年）4月1日～1998（平成10年）3月31日
	西 則 雄	1998（平成10年）4月1日～2002（平成14年）3月31日
	池 田 元 美	2002（平成14年）4月1日～2005（平成17年）3月31日
大学院地球環境科学 研究院長・ 大学院環境科学院長	池 田 元 美	2005（平成17年）4月1日～2007（平成19年）3月31日
	岩 熊 敏 夫	2007（平成19年）4月1日～2009（平成21年）3月31日
	南 川 雅 男	2009（平成21年）4月1日～2011（平成23年）3月31日
	嶋 津 克 明	2011（平成23年）4月1日～2013（平成25年）9月30日
	久 保 川 厚	2013（平成25年）10月1日～

2 教員組織

学院長 嶋津 克明
 副学院長 久保川 厚
 副学院長 田中 俊逸
 学院長補佐 大原 雅

25.4.1現在

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
環境起学専攻 専攻長 田中 教幸	人間・生態システム	高田 壯則 露崎 史朗 渡邊 悌二 <u>荒井 眞一</u>	藤井 賢彦 石川 守 白岩 孝行 佐竹 暁子 佐藤 友徳 根岸淳二郎		澤柿 教伸	
	環境適応科学	古月 文志	<u>新岡 正</u> 豊田 和弘 沖野 龍文		藏崎 正明	
	実践環境科学	山中 康裕				
	国際環境保全	田中 俊逸 田中 教幸				
地球圏科学 専攻 専攻長 長谷部文雄	大気海洋 化学・ 環境変遷学	杉本 敦子 吉川 久幸 河村 公隆	山本 正伸 鈴木 光次 山下 洋平 西岡 純 渡辺 豊 関 宰		入野 智久 亀山 宗彦 宮崎 雄三 <u>島村 道代</u>	
	雪氷・寒冷圏 科学	藤吉 康志 渡辺 力 グレーベ, ラルフ・ギュー ンター		杉山 慎	石井 吉之 曾根 敏雄 的場 澄人 下山 宏 飯塚 芳徳	
	大気海洋物理 学・気候力学	久保川 厚 長谷部文雄 谷本 陽一 大島慶一郎 江淵 直人 三寺 史夫	藤原 正智 青木 茂 堀之内 武 深町 康	中村 知裕	水田 元太 豊田 威信 川島 正行 松村 義正	

専攻	コース	教授	准教授	講師	助教	助手
生物圏科学 専攻 専攻長 木村 正人	生態系生物学	原 登志彦 福井 学	隅田 明洋 笠原 康裕 落合 正則		大舘 智志 小野 清美 小島 久弥 長谷川成明	
	生態遺伝学	木村 正人 大原 雅	鈴木 仁 三浦 徹			吉田 磨仁
	分子生物学	森川 正章	<u>奥山英登志</u> 山崎 健一		鷲尾 健司 <u>三輪 京子</u>	
	植物生態学	甲山 隆司	工藤 岳		久保 拓弥	
	動物生態学		野田 隆史		<u>小泉 逸郎</u>	
	海洋圏科学	<u>岸 道郎</u> 門谷 茂	工藤 勲		上野 洋路	
	水圏生物学	上田 宏 本村 泰三 山羽 悦郎 仲岡 雅裕 宮下 和士	宗原 弘幸 長里千香子 四ツ倉典滋		山本 潤 三谷 曜子 傳法 隆	
	森林圏環境学	佐藤 冬樹 日浦 勉 齊藤 隆 柴田 英昭 吉田 俊也	車 柱榮 門松 昌彦 植村 滋 揚妻 直樹 高木健太郎 内海 俊介		野村 睦 中路 達郎 岸田 治 中村 誠宏 福澤加里部	
環境物質科学 専攻 専攻長 小西 克明	耕地圏科学	荒木 肇 山田 敏彦 秦 寛	星野洋一郎		平田 聡之 高橋 誠	
	生体物質科学	坂入 信夫 松田 冬彦	山田 幸司 梅澤 大樹			
	ナノ環境材料	嶋津 克明 <u>中村 博</u> 小西 克明 八木 一三	神谷 裕一 川口 俊一 廣川 淳		中田 耕 七分 勇勝	
	光電子科学	太田 信廣 中村 貴義	中林 孝和 野呂真一郎		久保 和也	
	環境触媒化学	大澤 雅俊 大谷 文章	叶 深 コリスカ・エハ・カタル ツイナ		本林 健太 高瀬 舞	

※ 斜体は特任教員・ゴシックは再雇用教員を示す。

3 事務組織

25.4.1 現在

環境科学事務部	担 当	係 長	主 任	一般職員	契約職員等
事務長 宮内 政幸	総 務	山羽 好幸	佐藤 優子 千葉 修士	野崎なつみ 田原 啓司	梅原 美佳（事務補佐員）
	教 務	山下 昌利 巽 貞信	伊藤 郁子	金澤 希	長谷川 峰子（事務補助員） 津久井 成美（事務補助員）
	会 計	柴野 仁	山田 睦代	小林 由宜	本多 智子（事務補助員）
	図 書	菊池 健二			

GCOE フォロー アップ 元拠点リーダー 山中 康裕	特任助教
	島村 道代

研究院長室秘書	倉品 佐千子（事務補佐員）
---------	---------------

4. 各種委員会

委員会名	環境起学	地球圏科学	生物圏科学	環境物質 科学	副学院長 学院長補佐	職指定		事務選出 委員	事務所掌	備考
専攻長 会議	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	甲合 せで 明記
学院人事 委員会	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	内規 で 明記
教務 委員会	白岩 孝行	渡辺 豊	鈴木 仁	坂入 信夫	副学院長 学院長補佐	学院長			教務担当	内規 で 明記
入学試験 委員会	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		教務担当	内規 で 明記
点検評価 委員会	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長	事務長	総務担当	内規 で 明記
将来計画 委員会	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長		総務担当	
安全管理 委員会	田中 教幸	長谷部文雄	木村 正人	小西 克明	副学院長 学院長補佐	学院長	専攻長	事務長 会計係長	会計担当	
広報 委員会	露崎 史朗	藤原 正智	長谷川成明	川口 俊一					総務担当	
WEB サイト 管理 委員会	露崎 史朗 澤柿 教伸	入野 智久 川島 正行	久保 拓弥 吉田 磨仁	川口 俊一					総務担当	
学生 委員会	佐藤 友徳	三寺 史夫	森川 正章	小西 克明	学院長補佐	全学学 生委員 会委員			教務担当	内規 で 明記
留学生 委員会	根岸淳二郎	杉本 敦子	甲山 隆司	坂入 信夫	副学院長 学院長補佐	学院長				内規 で 明記
コース 代表教員	渡邊 悌二 豊田 和弘 山中 康裕 石川 守	杉本 敦子 大島慶一郎 渡辺 力	福井 学 鈴木 仁 森川 正章 甲山 隆司 野田 茂 門谷 悦郎 山羽 隆 齊藤 敏彦 山田	松田 冬彦 八木 三 太田 信 大谷 廣 文章						

25.4.1 現在

Ⅱ 学生の受入

平成25年度

– 9 –

6 学生定員と現員の推移

6-1. 入学定員

① 博士後期課程 (単位：人)

専攻	定員数
環境起学専攻	15
地球圏科学専攻	14
生物圏科学専攻	23
環境物質科学専攻	11
計	63

② 修士課程（博士前期課程） (単位：人)

専攻	定員数
環境起学専攻	44
地球圏科学専攻	35
生物圏科学専攻	52
環境物質科学専攻	28
計	159

6-2. 入学者数

① 博士後期課程 (単位：人 (％))

専攻	平成 25 年度
環境起学専攻	11 (73%)
地球圏科学専攻	7 (50%)
生物圏科学専攻	18 (78%)
環境物質科学専攻	9 (82%)
計	45 (71%)

② 修士課程 (博士前期課程) (単位：人 (％))

専攻	平成 25 年度
環境起学専攻	23 (52%)
地球圏科学専攻	27 (77%)
生物圏科学専攻	41 (79%)
環境物質科学専攻	39 (139%)
計	130 (82%)

(注 1) () は、入学定員に対する充足率を示す。

(注 2) 10 月入学者数を含む。

6-3. 在籍者数

① 博士後期課程 (単位：人)

専攻	在籍者数
環境起学専攻	48
地球圏科学専攻	40
生物圏科学専攻	61
環境物質科学専攻	32
計	181

② 修士課程 (博士前期課程) (単位：人)

専攻	在籍者数
環境起学専攻	55
地球圏科学専攻	50
生物圏科学専攻	102
環境物質科学専攻	75
計	282

(注) 平成25年5月1日現在の数

7 留学生数の推移と支援体制

7-1. 留学生数（全体）

① 博士後期課程（単位：人）

専攻	留学生数
環境起学専攻	21
地球圏科学専攻	14
生物圏科学専攻	12
環境物質科学専攻	13
計	60

② 修士課程（博士前期課程）（単位：人）

専攻	留学生数
環境起学専攻	14
地球圏科学専攻	1
生物圏科学専攻	5
環境物質科学専攻	3
計	23

（注）平成25年5月1日現在の数

7-2. 留学生数（国別）

（単位：人）

地域	日本語による 国名・地域名	留学生数	
		博士後期	修士
アジア	インド	3	
	インドネシア	8	2
	韓国	4	
	シンガポール		
	スリランカ		
	タイ	3	
	台湾	2	
	中国	19	17
	ネパール	3	
	バングラデシュ	6	
	フィリピン	4	1
	ブルネイ	1	
	マレーシア		
	モンゴル	3	1
アフリカ	ガーナ	1	
	ナイジェリア	1	
	ベナン		
	マダガスカル		1
北米	アメリカ		1
中南米	ガイアナ	1	
	ブラジル		
ヨーロッパ	セルビア	1	
	ロシア		
	計	60	23

（注）平成25年5月1日現在の数

7-3. 留学生の支援体制

(1) 留学生支援委員会

留学生の国費留学生や各種奨学金の応募，私費留学生特待制度（下記）に関わるプロジェクト公募および候補者の選考，各年度の特待生研究発表会の開催，および国際パーティーの実施支援を行った。

(2) 北海道大学国際本部の私費留学生特待制度による博士後期課程生の支援

北海道大学が入学金・学費相当額を支援，受入れ研究者が年間 100 万円を超える研究補助員経費を負担する私費留学生特待制度により，6 名（継続 3 名，新規 3 名）の私費留学生を受入れた。環境科学院では，毎年 2 名相当分（年間 600 万円強）について教員共通経費を充てる制度を設けている。

(3) 留学生担当事務補助員 1 名の配置

留学生を専任で担当する事務補助員を置き，本学院への入学を検討している他国の学生からの問合せ対応から入学に至る間の支援，入学後の学位取得に至る間の留学生の学業，生活全般に関わる支援を行った。

Ⅲ 教育活動

8 専攻・コース編成

環境起学専攻（4コース）

人間・生態システムコース
環境適応科学コース
実践環境科学コース
国際環境保全コース

地球圏科学専攻（3コース）

大気海洋化学・環境変遷学コース
大気海洋物理学・気候力学コース
雪氷・寒冷圏科学コース

生物圏科学専攻（9コース）

生態系生物学コース
生態遺伝学コース
分子生物学コース
植物生態学コース
動物生態学コース
海洋圏科学コース
水圏生物学コース
森林圏環境学コース
耕地圏科学コース

環境物質科学専攻（4コース）

生体物質科学コース
ナノ環境材料コース
光電子科学コース
環境触媒化学コース

9 カリキュラム編成

修了要件

修士課程：必修科目 12 単位を含み、合計 30 単位以上修得することを修了の要件とする。ただし、環境物質科学専攻においては、必修科目 18 単位、選択必修科目から 8 単位以上を含み、合計 30 単位以上を修得すること。（※環境物質科学実習Ⅰ及び環境物質科学Ⅱの単位は、修了に必要な単位数に算入することができない。）

博士後期課程：必修科目 12 単位を修得すること

環境起学専攻

修士課程

（必修科目）

- ・ 環境起学論文講読Ⅰ 4 単位
- ・ 環境起学特別研究Ⅰ 8 単位

（選択科目） ※実習・演習は 4 単位、他は 2 単位

- ・ 環境科学基礎論 地球環境科学総論
- ・ 地球温暖化総論 環境修復学総論 オゾン層破壊・紫外線影響評価総論
生態系機能学総論 水循環学総論 共生システム創成学総論
- ・ 地球温暖化メカニズム特論 地球温暖化物質科学特論 地球温暖化生態学
特論 成層圏オゾン変動特論 対流圏広域汚染特論 保全生態学特論
環境保全学特論 水資源物理学特論 流域環境学特論 環境修復学特論
環境修復研究法特論 野外環境学特論 生物資源環境学特論 環境解析学
特論 国際コミュニケーション法特論
- ・ 地球温暖化対策特別講義 環境国際関係論特別講義 環境社会学特別講義
- ・ 環境解析法演習 国際コミュニケーション法演習 環境保全教育法演習
統合環境観測法実習 統合環境調査法実習 環境保全教育法実習 統合環
境分析法実習

博士後期課程

（必修科目）

- ・ 環境起学論文講読Ⅱ 4 単位

- ・ 環境起学特別研究Ⅱ 8 単位

地球圏科学専攻

修士課程

(必修科目)

- ・ 地球圏科学論文講読Ⅰ 4 単位
- ・ 地球圏科学特別研究Ⅰ 8 単位

(選択科目) ※実習・演習は4単位, 他は2単位

- ・ 古環境学基礎論 地球雪氷学基礎論 大気海洋物理学基礎論 大気海洋化学基礎論
- ・ 第四紀環境変動特論 山岳環境科学特論 陸域環境統合システム特論 陸圏物質循環学特論 古気候変動学特論 大気圏化学特論 化学海洋学特論 海洋堆積学特論 環境分析化学特論 生物地球科学特論 氷河・氷床学特論 雪氷水文学特論 寒冷圏気象・気候学特論 応用雪氷学特論 大気環境科学特論 極域海洋学特論 大気力学特論 海洋力学特論 気候変動特論 気候動モデリング特論 地球流体力学特論 大気海洋解析法特論 惑星系物質科学特論 雪氷物性学特論 宇宙雪氷学特論 遠隔情報学特論
- ・ 地球圏科学特別講義Ⅰ 地球圏科学特別講義Ⅱ 地球圏科学特別講義Ⅲ 地球圏科学特別講義Ⅳ
- ・ 地球圏科学演習Ⅰ 地球圏科学演習Ⅱ 地球圏科学実習Ⅰ 地球圏科学実習Ⅱ 地球雪氷学実習

博士後期課程

(必修科目)

- ・ 地球圏科学論文講読Ⅱ 4 単位
- ・ 地球圏科学特別研究Ⅱ 8 単位

生物圏科学専攻

修士課程

(必修科目)

- ・ 生物圏科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 生物圏科学特別研究Ⅰ 8単位

(選択科目) ※実習・演習は4単位，他は2単位

- ・ 多様性生物学基礎論 生態学基礎論 分子生物学基礎論 海洋生物環境学基礎論 フィールド科学基礎論 生物生産学基礎論
- ・ 多様性生物学特論Ⅰ 多様性生物学特論Ⅱ 生態遺伝学特論Ⅰ 生態遺伝学特論Ⅱ 環境分子生物学特論Ⅰ 環境分子生物学特論Ⅱ 植物生態学特論Ⅰ 植物生態学特論Ⅱ 動物生態学特論Ⅰ 動物生態学特論Ⅱ 海洋生物圏環境科学特論Ⅰ 海洋生物圏環境科学特論Ⅱ 水圏科学特論Ⅰ 水圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅰ 森林圏科学特論Ⅱ 森林圏科学特論Ⅲ 森林圏科学特論Ⅳ 耕地圏科学特論Ⅰ 耕地圏科学特論Ⅱ
- ・ 生物圏科学特別講義Ⅰ 生物圏科学特別講義Ⅱ
- ・ 生物圏科学実習Ⅰ 生物圏科学実習Ⅱ

博士後期課程

(必修科目)

- ・ 生物圏科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・ 生物圏科学特別研究Ⅱ 8単位

環境物質科学専攻

修士課程

(必修科目)

- ・ 環境物質科学論文講読Ⅰ 4単位
- ・ 環境物質科学特別研究Ⅰ 8単位
- ・ 環境物質科学基礎論Ⅰ 環境物質科学基礎論Ⅱ 環境物質科学基礎論Ⅲ 各2単位

(選択必修科目) 各2単位

- ・ 分子環境学特論Ⅰ 資源分子化学特論 化学物質影響学特論 環境生態化学特論 環境触媒学特論 分子機能材料特論 ナノ構造制御化学特論 光分子化学特論 電子材料科学特論 光触媒化学特論 表面機能科学特論 反応制御化学特論

(選択科目) ※実習は4単位，他は2単位

- ・ 分子環境学特論Ⅱ 分子環境学特論Ⅲ
- ・ 環境物質科学特別講義Ⅰ 環境物質科学特別講義Ⅱ
- ・ 環境物質科学実習Ⅰ 環境物質科学実習Ⅱ

博士後期課程

(必修科目)

- ・ 環境物質科学論文講読Ⅱ 4単位
- ・ 環境物質科学特別研究Ⅱ 8単位

10 公開コースの開催

10-1 世界に開かれた低炭素社会形成教育プラットフォームの構築、持続可能な低炭素社会づくりに向けた教育プログラムの策定及び国際枠組みの構築に関する研究・提言

本プロジェクトでは、環境科学院及び公共政策大学院、国際本部及びサステナブルキャンパス推進本部の連携により、北海道大学におけるサステナビリティ・ウィークや国際シンポジウム、市民セミナー等の開催、修士課程レベルの教育プログラムの充実（英語教育コースの整備、環境科学院・公共政策大学院共通のシラバスの作成、大学院共通授業・市民公開講座の実施等）、学生参加による低炭素社会の実験場としてのサステナブルキャンパスづくりや、低炭素社会の形成等に関する研究の実施及び政策提言を行った。

プロジェクトの主な実施状況

- (1) 大学院共通授業・市民公開講座「持続可能な低炭素社会」受講者数
平成25年度：84名（大学院生27名，市民57名）
- (2) サステナビリティ・ウィーク
平成25年度：平成25年9月10日～12月10日開催
40企画，参加者数約59,742人
- (3) 持続可能な社会に関する教科書の作成
日本語3冊，英語2冊（「持続可能な低炭素社会Ⅲ」，「持続可能な未来のために」，「持続可能な未来のためにII」，「Lecture on Environmental Economics」，「FUKUSHIMA political economic analysis of nuclear disaster」）
- (4) 研究・政策提言
 - ・平成23年度～平成25年度に毎年サステナビリティ・ウィークにおいてシンポジウムを開催し，持続可能な社会を目指して，地域の活性化をもたらすことの出来る再生可能エネルギーの普及について提言した。

- ・ 大学院生の参加を得て、サステナブル・キャンパスに関する研究活動を実施すると共に、北海道における再生可能エネルギーの導入拡大に関する研究や中国の大気汚染をはじめとする環境負荷低減と経済成長を両立させる政策提言に関する研究等を行った。

10-2 平成25年度 大学の世界展開力強化事業 PARE プログラム

本プログラムは文部科学省が行う大学の世界展開力強化事業の一つであり、北海道大学農学院、環境科学院、工学院、水産科学院、情報科学研究科およびサステナビリティ学教育研究センターが共同で申請・採択され、平成24年10月より開始した事業である。その目的は、アジアの発展途上国で起こっている、人口・活動・資源・環境システム（PARE: Populations—Activities—Resources—Environments）の負の連環を正に転換させ、国際的かつ分野横断的に共働できる「フロンティア人材」を育成することにある。すなわち、「フィールド研究力、多様性容認力、開拓力、課題解決力」の4つの力を持ち、国際的な視野を持って活躍できるフロンティア人材育成を目指すものであり、4年間継続し、環境科学院では主に、インドネシアのガジャマダ大学(化学、農学分野)とタイのカセサート大学(工学分野)との間で双方向交流し、年間数名の学生の受け入れと派遣を行う。

平成25年度は、6-8月にPARE基礎論が開講されるとともに、8月には、タイとインドネシアの学生も参加してサマースクールが道北で開催された。本学院からは、PARE基礎論に2名、サマースクールに3名の修士学生が参加し、単位を取得した。また、10月からはインドネシアのガジャマダ大学から2名、ボゴール農科大学から1名の学生を受け入れる(6か月)とともに、タイのカセサート大学に1名の学生を派遣(6か月)した。

10-3 平成25年度 留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）

環境科学院が平成25年度に申請・採択された留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）プログラム（日本学生支援機構（JASSO）がサポート）「国際ネットワークにもとづく学生短期受け入れ型／派遣型フィールド環境科学の次世代育成プログラム」が実施された。このプログラムは、地球温暖化など地球規模の環境変化に対して脆弱な地域において生じている環境変化に対処しうる、高度な専門知識と観測技術や分析技術を有し、グローバル社会において活躍できる人材の育成を目的としている。

受入れ型においては、（１）北極圏大学、（２）北方圏フィールド実習等のサブプログラムを実施し、ロシア北東連邦大学、国立台湾大学、台湾東華大学、ボゴール農科大学より学生を受け入れた。また、派遣型においては、（１）南極大学、（２）北極圏大学、（３）乾燥域フィールド実習を実施し、海外の協定大学に本学院の学生を派遣した。

10-4 南極学カリキュラム

南極学カリキュラムでは、極地や寒冷圏の環境や生態系について総合的に学ぶ教育プログラムを提供している。平成25年度は特別講義2科目と特別実習3科目からなる基幹プログラムを開講し、カリキュラム修了者への修了証書

(Diploma of Antarctic Science) 授与を行った。学内多分野の大学院生が各プログラムを受講したほか、総合研究大学院大学、東京大学、千葉大学などの国内大学、タスマニア大学など海外からも参加があり、学生交流や幅広い知の獲得の機会となっている。本カリキュラムは、極域科学教育に関する国際的な枠組みである国際南極大学(International Antarctic Institute)の一翼を成すものであり、国内外の研究機関とも連携して、国際的な環境教育・研究を推進するものである。

過去3年間の各講義履修者数，および南極学修了証書の取得者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
南極学特別講義Ⅰ	65	61	58
南極学特別講義Ⅱ	18	17	7
南極学特別実習Ⅰ	11	11	10
南極学特別実習Ⅱ	18	実施せず	11
南極学特別実習Ⅲ	63	57	22
南極学修了証書	11	10	7

10-5 公開ラボ実習

公開ラボ実習とは，グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」が主催して，学生や若手研究者に対して，分析技術実習および周辺学問分野の講義を行うものである。参加者は全国の大学院・大学に対して公募した。一部の实習は英語で実施され，海外からの参加者および留学生交流支援制度（ショートステイ，ショートビジット）参加者も受講した。企画実習生は，自ら提案した企画がカリキュラムの一部として採用され，運営に主体的に関わる参加者である。

平成25年度

- （1）安定同位体実習（平成25年10月30日～11月6日，応募者：27名，参加者：企画実習生4名，受講生12名，計16名（うち環境科学院学生5名））（卓越した大学院拠点形成および北海道大学教育交流支援事業の支援）
- （2）北極寒冷圏フィールド&ラボ実習 アラスカ実習（平成25年10月15日から28日，応募者：4名，参加者：4名（うち環境科学院2名））（卓越した大学院拠点形成，北海道大学教育交流支援事業および留学生交流支援制度（ショートビジット））

- (3) 北極寒冷圏フィールド&ラボ実習 ヤクーツクサマースクール (平成25年8月7日から13日, 日本側応募者: 3名, 日本からの参加者: 3名 (うち環境科学院1名), ロシア側参加者5名 (卓越した大学院拠点形成, 北海道大学教育交流支援事業および留学生交流支援制度 (ショートビジット))

10-6 大気と海洋に関するスプリングスクール

環境科学院は母体となる学部を持たない独立大学院のため, 本学院の大学院生が学部学生とつき合う機会は限られているが, このスプリングスクールの実施を通して学部学生の研究を指導する経験を積ませ, 将来, 研究プロジェクトを立案・遂行可能な研究者を養成することを目的とする。また, 学部学生にとっても, 地球環境科学の研究の最前線を体験し, 成果をまとめて発表する手法を学んでもらうとともに, 環境科学院を知ってもらい, 将来の環境科学研究を担う若手として成長を促すことも目的とした。

平成25年度は, 平成26年3月3日(月)から6日(木)にかけて, 「博士の卵と一緒に体験: 大気と海洋に関するスプリングスクール2014」を北海道大学札幌キャンパス・環境科学院にて開催した。参加者は東北大学, お茶の水女子大学, 首都大学東京, 立命館大学, 福岡大学の学部3年生の7名で, 文字通り全国の国公立私立の大学から参加があった。

本スプリングスクールは, 教員による大気と海洋の概論に関する講義を受講したあと, 体験プログラムを実施する内容とした。体験プログラムは以下の2コースから参加者が選択できるようにした。

コースA: 低気圧とジェット気流をシミュレーションしてみよう

コースB: 深海の流れを実験で作ってみよう

コースAでは、天気予報にも使われる大気大循環モデルをシンプルな実験設定のもとでシミュレートする体験をした。初期には静止している等温の大気に対して、熱帯を暖め、極域を冷やすことを進めていくと、数十日後には偏西風が形成され、さらに時間がすすむと低気圧が出現することを、コンピュータ上の可視化ツールを用いて確認した。

コースBでは、斜面をもつ水槽に淡水を満たし、そこに数パーミル程度の塩分を持つ水を流して、水槽の中に深海へと向かう海の流れを作った。このとき、流れを可視化する方法として、塩水に食紅を混ぜたり、レーザー光が反射するように水と同じ密度を持つナイロン粒を混ぜたりして、流れを観察した。

どちらのコースにおいても、参加者はとても積極的で、主催者の当初の予想以上に熱心に取り組み、コース毎のグループ発表では熱心な討議が行われた。参加者の意欲が高かったことに加え、大学院生による準備が丁寧に練り上げたものだったことが、相乗効果として大きな盛り上がりになったと考えている。修了式において参加者全員に修了書を授与した。

10-7 国際ウィンタースクール 2013「変容する陸域システム：生態系モニタリング、モデリングと統合的解析のトレーニングコース」

開催日：平成 26 年年 1 月 8～10 日

参加者：学部生・大学院生 26 名（内訳：北海道大学 15 名、酪農学園大学 2 名、中国科学院（中国）2 名、国立台湾大学（台湾）2 名、国立東華大学（台湾）4 名、モンゴル国立大学（モンゴル）1 名）

講師：12 名（国立東華大学 3 名、酪農学園大学 1 名、北海道大学 8 名）

この 3 日間の集中トレーニングコースでは、陸域システムの変容を通じて生じる様々な環境問題、社会問題を取り上げ、講義、グループワーク、現地見学（本学苫小牧研究林にて）を行った。コースはすべて英語で行われた。参加者自らが

北海道大学北方生物圏フィールド科学センターに置かれている Global Land Project (GLP) 札幌拠点オフィスが運営主体となって実施し、北海道大学 HUSTEP および大学院共通講義「Sustainability Science VII」として開催された。

IV 成 果

1 1 学位取得状況

1 1-1 博士論文題目一覧

環境起学専攻

Encapsulation of adsorptive particles into CNT-reinforced alginate gels for the development of high-performance adsorbent for cesium and strontium eliminations (吸着性粒子をカーボンナノチューブ補強アルギン酸ゲルに内包するアプローチを用いたセシウムとストロンチウムを除去するための高性能吸着材の開発) Adavan Kiliyankil Vipin (環境適応科学)

Development of high-performance photocatalysts by using graphene and AgCl and/or AgBr nanoparticles as the constitutive elements for the decomposition of chemical pollutants (グラフェンと塩化銀または臭化銀ナノ粒子を素材として用いた環境浄化用高性能光触媒の開発) 王 延青 (環境適応科学)

Development of high-performance spongiform adsorbents with caged Prussian blue as the absorbing elements for radioactive cesium decontamination (プルシアンブルーを内包した放射性セシウムを除去するための高性能スポンジ型吸着材の開発) 胡 白楊 (環境適応科学)

Assessment of ultraviolet toxicity depending on DNA-damage using cyclobutane pyrimidine dimer formation in ultraviolet irradiated cells (UV照射細胞におけるシクロブタンピリミジンダイマーを用いたDNA損傷による紫外線毒性の評価) Runa Masuma (環境適応科学)

Studies on phytotoxicities of carbon nanomaterials in seedling stage (植物の実生段階における炭素ナノ材料の毒性評価に関する研究) Refi Ikhtiari (環境適応科学)

Long-term trends of coral cover in the Philippines: Trajectory, spatiotemporal patterns, and the efficacy of marine protected areas (フィリピンサンゴ被度の長期トレンドに関する研究) Magdaong Evangelie Tolentino (国際環境保全)

北海道におけるイネの生産性および冷害評価に関する研究 (A study on assessments of rice productivity and cool summer damage in rice in Hokkaido) 田中 朱美 (実践環境科学)

Age-size structured models with stochastic growth and optimal life history (確率的成長下における年齢-サイズ構造モデルと最適生活史) 大泉 嶺 (人間・生態システム)

トドの皮下脂肪および肝臓中のPCBsの濃度分布と母子間移行に関する研究 (Concentration profiles and maternal to fetal transfer of PCB congeners in the blubber and liver of Steller sea lion (*Eumetopias jubatus*)) 久保 溪女 (人間・生態システム)

Comparisons of life histories, morphological traits and habitats between endangered species, *Drosera anglica*, and common species, *D. rotundifolia*, in a post-mined peatland (泥炭採掘跡地における絶滅危惧種ナガバノモウセンゴケと普通種モウセンゴケの生活史・形態・ハビタット比較) 保要 有里 (人間・生態システム)

A novel approach for mass production of Ag nanoparticles by using salmon milt DNA as templates (サケ白子DNAを鋳型として用いた銀ナノ粒子合成技術の開発) 武島 智美 (人間・生態システム)

Variations in the terminus position, ice velocity and surface elevation of the Langhovde Glacier, East Antarctica (東南極ラングホブデ氷河の末端位置・流動速度・表面標高の変動) 福田 武博 (雪氷・寒冷圏科学)

地球圏科学専攻

Seasonal distributions of low molecular weight dicarboxylic acids, ketoacids and α -dicarbonyls in ambient aerosols collected at Cape Hedo, Okinawa, an outflow region of Asian dusts (沖縄辺戸岬で採取したエアロゾル中の低分子ジカルボン酸と関連有機化合物の組成分布の季節変化) KUNWAR Bhagawati (大気海洋化学・環境変遷学)

The study of primary production in plankton blooms driven by riverine inputs of nutrients and fresh water in ROFI (region of freshwater influence) (河川影響海域での淡水と栄養塩の河川供給によるプランクトンブルーム基礎生産の考察) 干場 康博 (大気海洋物理学・気候力学)

Decadal variability of Antarctic sea ice variability revealed by satellite observation and coupled general circulation model (衛星観測と結合大循環モデルより得られた南極海海水の十年規模変動) Chevooruvallappil Bajish Chandran (大気海洋物理学・気候力学)

Water-column light utilization efficiency of phytoplankton and transparent exopolymer particles in the western subarctic Pacific (西部北太平洋亜寒帯域における植物プランクトンによる水柱の光合成光利用効率と透明細胞外重合体粒子に関する研究) 野坂 裕一 (大気海洋物理学・気候力学)

Studies on the tropospheric and stratospheric water vapor measurements for climate monitoring (気候監視のための対流圏・成層圏水蒸気測定に関する研究) 杉立 卓治 (大気海洋物理学・気候力学)

Hydrological evolution of the eastern tropical Pacific during the last 430,000 years (過去43万年間の東部熱帯太平洋の水理学的変化) Hasrizal Bin Shaari (論文博士)

Distribution of vertical diffusivity coefficient and water mass formation in the Bussol' Strait: A mixing hot spot in the North Pacific (北太平洋域における混合のホットスポット、ブッソル海峡での鉛直拡散係数の分布と水塊形成) 小野 数也 (論文博士)

生物圏科学専攻

Synchronous provisioning of the cooperatively breeding Chestnut-crowned Babbler, *Pomatostomus ruficeps* (協同繁殖するクリボウシオーストラリアマルハシにおける同調的給餌) 野間野 史明 (生態遺伝学)

Geographic mosaic of coevolution in *Drosophila*-parasitoid interactions (ショウジョウバエー捕食寄生者共進化系における地理的モザイクの研究) BILJANA NOVKOVIC (生態遺伝学)

Early phase of the invasion of the barnacle *Balanus glandula* along the coast of eastern Hokkaido, Japan: changes in abundance and distribution, and their underlying processes (キタアメリカフジツボの北海道東部への侵入の初期相: 数と分布の変化とその背景にあるプロセス) A.k.m Rashidulalam (動物生態学)

Differentiation in architecture and demographic properties across forest types and species in tropical lowland Kalimantan (熱帯低地カリマンタンにおける森林型間および樹種間の樹冠構造と個体群動態特性の分化) Tika Dewi Atikah (植物生態学)

Effects of topography on the community dynamics in a warm-temperate mixed forest (暖温帯針広混交林の群集動態に影響する地形要因) 酒井 武 (森林圏環境学)

Studies on spatial genetic structure in an expanding sika deer (*Cervus nippon*) population of Hokkaido: the implication for management (個体数が増加し、分布が拡大しているエゾシカ個体群における遺伝的な空間構造に関する研究: 個体群管理と関連させて) 欧 巍 (森林圏環境学)

Application of stoichiometric approaches for identification of relationships between resources and benthic invertebrates in stream ecosystems (河川生態系における資源・底生無脊椎動物関係をひもとく生態系化学量論的アプローチ) 太田 民久 (森林圏環境学)

餌生物転換周辺時期におけるスケトウダラ太平洋系群稚魚の分布と生残に影響を与える環境要因に関する研究 (Studies on environmental factors influencing in distribution and survival of juvenile walleye pollock, *Theragra chalcogramma*, in the Japanese Pacific stock around transition period of prey size) 川内 陽平 (水圏生物学)

Cryptic diversity in the *Enophrys diceraus* species complex (*Scorpaeniformes*, *Cottidae*) and molecular evolution of copulatory behavior in two cottid genera (オニカジカ種群の隠蔽的分化とカジカ科2属の交尾行動の進化) 李 昂 (水圏生物学)

Histological, cytological and molecular biological analyses of the polyphenic development in the pea aphid *Acyrtosiphon pisum* (エンドウヒゲナガアブラムシの可塑的な発生に関する組織形態学的・細胞生物学的ならびに分子生物学的研究) 小川 浩太 (生態遺伝学)

Genomics and proteomics of sulfur-oxidizing bacteria predominant in freshwater lake environments (淡水湖沼環境で優占する硫黄酸化細菌のゲノミクスおよびプロテオミクス) 渡邊 友浩 (生態系生物学)

Studies on the practical production of docosahexaenoic acid using thraustochytrid microorganisms (スラウストキトリッド類微生物を用いたドコサヘキサエン酸の実用的生産に関する研究) Ahmad Iskandar Bin Haji Mohd Taha (分子生物学)

Gene cloning and functional analysis of triple alkane monooxygenases from *Geobacillus thermoleovorans* B23 (*Geobacillus thermoleovorans* B23の三連型アルカン酸素添加酵素に関する遺伝子クローニングと機能解析) Boonmak Chanita (分子生物学)

Detection and quantification of viable bacteria using selectively membrane-permeable dye and PCR (選択的膜透過性色素とPCRを用いる生きた微生物の検出および定量法) 藤本 淳治 (論文博士)

Proteomics on environmental response of *Pseudomonas putida* F1 in soil (土壌における*Pseudomonas putida* F1の環境応答に関するプロテオーム解析) 森本 一 (論文博士)

環境物質科学専攻

Study of novel off-on responsive fluorescent probe using supramolecular complex formation with crown ether and cyclodextrin (クラウンエーテルおよびシクロデキストリンを用いた超分子複合体形成に基づく新奇Off-On型蛍光プローブに関する研究) 岡 佳和 (ナノ環境材料)

特異な非球状骨格を有するサブナノサイズ金クラスター類の合成と特性評価 (Syntheses and properties of subnanometer-sized gold clusters with unusual nonspherical structures) 亀井 優太郎 (ナノ環境材料)

Studies on influence of particle morphology on photocatalytic activity of titania photocatalysts: Preparation, characterization and photocatalytic activity of octahedral anatase titania particles (酸化チタン(IV)光触媒の活性におよぼす粒子形状の影響—八面体形状アナタース酸化チタン(IV)粒子の調製、構造と光触媒活性の評価に関する研究) 魏志順 (環境触媒化学)

Molecular structures of soft matter interfaces studied by sum frequency generation (SFG) vibrational spectroscopy (和周波発生(SFG)振動分光法によるソフトマター界面の分子構造に関する研究) 葛 愛民 (環境触媒化学)

Study on electroabsorption and electrophotoluminescence of optoelectronic functional materials in solution (光電変換機能物質の溶液中における電場吸収と電場発光に関する研究) Chiang Hung-Chu (光電子科学)

大振幅分子運動を示す超分子カチオンを導入した[Ni(dmit)₂]塩の構造と誘電性 (Structure and dielectric properties of [Ni(dmit)₂] salts with supramolecular cations showing large amplitude molecular motion) 巖 寅男 (光電子科学)

Development of collectable adsorbent on the surface of water after adsorption of pollutant (汚染物質の吸着後水面で回収可能な新規吸着材料の開発) 三原 義広 (生体物質科学)

Electrocatalysis of noble metal alloys for denitrification in the hydrosphere (水圏における脱窒素のための貴金属合金の電極触媒作用) Md. Motahar Hossain (論文博士)

1 1 - 2 修士論文題目一覧

環境起学専攻

紅藻ミツデソゾ由来プロモペルオキシダーゼの解析 湯 曉蓉 (環境適応科学)

動電的手法を用いたアルカリ金属イオンの粘土鉱物中における除去挙動に関する研究 明本 靖広 (環境適応科学)

アルギン酸イオンを鋳型として用いた銀ナノ粒子の合成 広田 沙紀 (環境適応科学)

Effects of ascorbic acid on apoptosis enhanced by aspartame in PC12 cells (PC12細胞におけるアスパルテームにより増幅されるアポトーシスに対するアスコルビン酸の影響) 山中 秀太郎 (環境適応科学)

Individual differences in effects of theanine on cognitive-task performance, cerebral blood volume and oxygenation, and sympathetic nervous system responses after mental stress (精神的ストレス負荷後においてテアニンが認知課題成績、脳酸素動態および交感神経系反応に及ぼす影響とその個体差) 山本 佳奈 (環境適応科学)

The effects of fulvic acid obtained from tropical peatland in Central Kalimantan, Indonesia on human vascular endothelial cells (インドネシア、中央カリマンタンにおける泥炭由来フルボ酸のヒト血管内皮細胞に及ぼす影響) 中島 立揮 (環境適応科学)

Investigation and assessment on the safety and health of drinking water in the urban areas of China based on the questionnaire analysis between Japan and China (日本と中国のアンケート解析に基づく中国都市部の飲用水の安全と健康に関する調査研究) 郭 敏 (国際環境保全)

A new framework for sustainable forest management in tropical wetland forest based on Sustainability Index (SI) and

- REDD-plus benefit sharing mechanism (持続性インデックス(SI)とREDD+利益の分配メカニズムによる熱帯湿地林の新たな持続可能な管理の枠組) Febrina Natalia (国際環境保全)
- サケ産卵床の空間分布に湧水が及ぼす影響 ―研究を活用した地域再発見の提案まで― 森崎 夏輝 (実践環境科学)
- 星野リゾート・トマムを訪れる人々への自然という観光資源に関する意識調査 尹 春英 (実践環境科学)
- インタビューと文献調査から明らかにされる自然写真家の様々な取り組みに関する研究 大原 尚之 (実践環境科学)
- 石狩浜における海岸保全に向けた交流・情報共有の場の創造 武田 尚太 (実践環境科学)
- 天売島活性化を目指した観光客へのアンケート調査 谷内 秀久 (実践環境科学)
- 雲海テラスを訪れる5万人のお客さまに自然を伝えたツール開発: 雲海カード 古川 雄大 (実践環境科学)
- 流域の土地利用が河川水溶存成分に与える影響評価: 網走川の事例 藤島 洸 (人間・生態システム)
- Lake ice formation process at Lake Abashiri, Hokkaido, Japan -The lake ice structure and thickness evolution- (網走湖における湖水形成過程―湖水構造と氷厚推移―) 大畑 有 (人間・生態システム)
- 泊原子力発電所を対象にした季節毎の放射性物質の拡散予測分布図の作成 金子 章吾 (人間・生態システム)
- 東南極・宗谷海岸の空中写真アーカイブデータ発掘とステレオペア画像を用いた氷床表面標高変化の検出 駒澤 皓 (人間・生態システム)
- Characteristics of summer grazing in the Alai Valley, southern Kyrgyzstan (キルギス南部, アライ谷におけるヒツジ・ヤギの夏の放牧) 宋 鳳 (人間・生態システム)
- 異なる河床底質におけるカワシンジュガイ属 (Margaritifera) の生態的機能の解明 高木 優風花 (人間・生態システム)
- Stochastic-based analysis of geographic factors determining permafrost distribution in the discontinuous permafrost, Mongolia (不連続永久凍土帯モンゴルにおける永久凍土分布を決定する地理的要因の確率手法に基づく解析) 山橋 いよ (人間・生態システム)
- The recovery processes after an experimental forest fire: growth of *Betula platyphylla* var. *japonica* and soil characteristics (実験的火災後の森林回復過程: シラカンバの成長と土壌特性) Rakotonoely Harisoa (人間・生態システム)
- Current status of tourism and a proposal for sustainable tourism development in the Lenin Peak area, southern Kyrgyzstan (キルギス南部, レニン・ピーク地域における観光の現状と持続的な観光開発のための提言) 劉 泱 (人間・生態システム)

地球圏科学専攻

- NGRIP氷床コアを用いた過去300年間の不揮発性微粒子の化学組成 岡本 彩加 (雪氷・寒冷圏科学)
- 南バタゴニア氷原ペリートモレノ氷河とアメギノ氷河の末端変動と表面標高変化 箕輪 昌紘 (雪氷・寒冷圏科学)
- 海水柱におけるアーキア脂質の空間分布とサイズ分布 大平 深史 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 南大洋に生息する植物プランクトン *Phaeocystis antarctica* の光合成能力とDMSP生産の関係 乙丸 真希 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 年輪幅及び炭素安定同位体比を用いたモンゴル森林域における過去100年間の環境変動解析 北山 あさみ (大気海洋化学・環境変遷学)
- 北太平洋亜寒帯海域におけるpHの時空間分布に関する研究: pH簡易測定法の改良とパラメタリゼーションの展開 李 勃豊 (大気海洋化学・環境変遷学)
- 10分値降水量を用いた東京とその近郊における短時間強雨の特徴 山崎 哲哉 (大気海洋物理学・気候力学)
- 海洋における東向きジェットの侵入に伴う再循環の長さ 相澤 健太郎 (大気海洋物理学・気候力学)
- 水温前線によって変調された海上風が海洋混合層へ与える影響 猪狩 義貴 (大気海洋物理学・気候力学)

沿岸ポリニヤにおける過冷却水およびフラジライスの生成に関する観測研究 伊藤 優人（大気海洋物理学・気候力学）

北海道沿岸海洋の縦に立った密度構造と、それに伴うジェットについて 唐木 達郎（大気海洋物理学・気候力学）

室内実験における海氷granular iceの形成過程について 幸田 笹佳（大気海洋物理学・気候力学）

ケープダンレー沖における南極底層水流出に起因する流速変動 藤原 有（大気海洋物理学・気候力学）

台風季節予報に向けた大気・海洋環境場のデータ解析 光岡 昇平（大気海洋物理学・気候力学）

ENSOに伴うインド洋の対流活動と亜熱帯西北部太平洋の大気変動との関係 吉村 志穂（大気海洋物理学・気候力学）

生物圏科学専攻

ろ過食性二枚貝の栄養塩再生が汽水域の物質循環へ与える影響 岩元 綾香（海洋圏科学）

スケトウダラ稚魚の回遊期における成長と生残に及ぼす環境要因の考察 金子 寛弥（海洋圏科学）

サンマの産卵場と回遊経路の違いがサンマの成長をどのように変化させるかについての考察 内芝 洋貴（海洋圏科学）

北太平洋中高緯度域における渦位フロントの変動 大江 光穂（海洋圏科学）

サロマ湖海底の底生微細藻類の時空間分布と低次生物生産への寄与 角田 聡（海洋圏科学）

風蓮湖における微細藻類の基礎生産量推定と低次生産系における役割の評価 辻 泰世（海洋圏科学）

北太平洋東部亜熱帯域における水温逆転構造 手倉森 司（海洋圏科学）

オホーツク海北海道沿岸域における地まきホタテガイの成長と環境要因の関係 照本 昂之（海洋圏科学）

サロマ湖におけるホタテガイ(*Mizuhopecten yessoensis*)の浮遊幼生期における餌資源推定 松尾 俊（海洋圏科学）

日本および中国のハスカップの多様性に関する研究 石山 知美（耕地圏科学）

アスパラガス伏せこみ栽培用根株の養成および炭水化物蓄積に関する研究 二階堂 華那（耕地圏科学）

自然エネルギーを活用したチョコレート生産に関する研究 山川 梨奈（耕地圏科学）

標高傾度に沿ったチシマザサの光合成特性と生産性 青島 佑太（植物生態学）

冷温帯広葉樹林における主要構成種の稚樹動態に及ぼす林冠・林床構造の影響 玉川 聖也（植物生態学）

The relationships between animal seed dispersal and germination of *Gaultheria miqueliana* (Ericaceae) on Mount Koma, northern Japan (北海道渡島駒ヶ岳におけるシラタマノキの動物種子散布と種子発芽との関係) 野村 七重 (植物生態学)

Improving aboveground biomass estimation using LiDAR remote sensing to reduce the negative effects of topography, stand type and tree density (地形、森林タイプ、立木の混み合い度の影響を考慮したLiDARによる地上部バイオマス推定の改善) 埋金 宏光 (森林圏環境学)

ササ搔き起し地におけるミズナラ実生の定着パターンとその要因 朝田 一平 (森林圏環境学)

天然生針広混交林に及ぼす台風攪乱の長期的な影響 -攪乱後8年間の残存木の枯死パターン- 佐藤 剛 (森林圏環境学)

Effects of temperature, predators, and competitors on geographic variation in morphology of the large Japanese field mouse (アカネズミの形態の地理的変異への気温、捕食者、競争者の影響) 永井 朋子 (森林圏環境学)

地理空間統計とクラスター分析を用いた気仙沼近海マグロはえ縄船団操業効率化のための最適戦略 伊藤 健人 (水圏生物学)

Spatiotemporal analysis of kelp forests distribution characteristics in sea desertification areas using acoustic and direct sensing methods(音響および直接計測手法を用いた磯焼け海域におけるコンブ林の分布特性の時空間解析) 邵 花梅 (水圏生物学)

白尻漁港防堤防におけるアイナメの繁殖生態 入江 雄一郎 (水圏生物学)

Distribution of baleen whales in the northern Bering and the Chukchi Seas (ベーリング海北部およびチュクチ海におけるヒゲクジラ類の分布について) 岩原 由佳 (水圏生物学)

- Characteristics of marine mammal vocalizations recorded using passive acoustic methods off Rausu, Shiretoko (知床・羅臼沖における海棲哺乳類の鳴音に関する研究) 大槻 真友子 (水圏生物学)
- Re-synthesis of hybridogenesis and inheritance pattern in the Hexagrammos hybrids by artificial fertilization (人為交雑によるアイナメ属雑種発生の再現と遺伝様式) 風間 香澄 (水圏生物学)
- Flagellar movement and flagellar apparatus ultrastructure in brown algal swarmers (褐藻遊泳細胞における鞭毛運動解析と鞭毛装置の微細構造について) 木ノ下 菜々 (水圏生物学)
- Genetic study on karyotypes of hemiclinal hybrids among hexagrammid species (アイナメ属半クローン系統における核型の遺伝学的研究) 鈴木 将太 (水圏生物学)
- Molecular biological studies on the NMDA receptor in the brain of chum salmon during imprinting and homing (シロザケの母川記銘・回帰時における脳内NMDA受容体に関する分子生物学的研究) 土田 茂雄 (水圏生物学)
- 知床半島沿岸海域におけるシロザケ*Oncorhynchus keta*の漁獲変動要因に関する研究 山口 紘 (水圏生物学)
- Sequence analysis of the agouti signaling protein gene (Asip) showing a potential causative mutation for melanism and a novel phylogeographic structure in the *Rattus rattus* species complex (クマネズミにおける毛色遺伝子Asipの塩基配列解析に基づく黒色責任変異と遺伝的集団構造の解明) 笹森 翔一 (生態遺伝学)
- Soldier-specific morphogenesis in the damp-wood termite: expressions of toolkit genes and role of presoldier cuticle (オオシロアリにおける兵隊特異的形態形成：ツールキット遺伝子の発現とプレソルジャーにおけるクチクラの役割) 杉目 康広 (生態遺伝学)
- Evolutionary patterns of gene sequences and natural history in the two Japanese wood mouse species (日本産アカネズミ類2種の遺伝子配列の進化パターンと自然史) 鈴木 祐太郎 (生態遺伝学)
- Phylogenetic analyses of duplication of olfactory genes and amino acid replacement of the coat color gene *Mc1r* in the *Rattini* tribe (クマネズミ 属群における嗅覚受容体遺伝子の重複と毛色遺伝子*Mc1r*のアミノ酸置換に関する系統学的解析) 高梨 脩 (生態遺伝学)
- Assessment of fitness costs of resistance against the parasitoid *Leptopilina victorae* in *Drosophila bipectinata* (フタクシシヨウジョウバエにおける、寄生蜂*Leptopilina victorae*に対する抵抗性のコストの査定) 滝ヶ平 智博 (生態遺伝学)
- Qualitative assessment of habitat fragmentation on populations of the understory perennial herb, *Trillium camschatcense*, with special reference to genetic diversities of different life history stages (生育地の分断化が林床性多年生草本オオバノエンレイソウ個体群に及ぼす影響の定量的評価 —異なる生活史段階における遺伝的多様性に着目して—) 渡辺 崇史 (生態遺伝学)
- 季節変化に対応したカラマツの葉の生理的応答 石森 和佳 (生態系生物学)
- 湖沼環境中のメタン酸化細菌の多様性と分布 小暮 耕平 (生態系生物学)
- 外来ニジマスの柔軟な生息地利用：河川内における回遊多型 金澤 友紀代 (動物生態学)
- Influence of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake on population dynamics of rocky intertidal barnacles: cause and consequence of alternation in larval recruitment (東北地方太平洋沖地震が岩礁潮間帯におけるフジツボの個体群動態に与えた影響：幼生加入量の変化の原因と帰結) 阪口 勝行 (動物生態学)
- Does dispersal shape spatiotemporal patterns in distribution of rocky intertidal gastropods? (分散様式は岩礁潮間帯性腹足類の分布の時空間パターンに影響するか?) 佐原 良祐 (動物生態学)
- 外来アライグマの遺伝的集団構造：ペット放棄に由来するパターン 高屋 浩介 (動物生態学)
- Primary sex ratio of Japanese tit is related to clutch size in the early breeding season (繁殖初期にみられるシジュウカラのクラッチサイズと性比の関係) 乃美 大佑 (動物生態学)
- Molecular mechanisms and physiological roles of boron-dependent expression of a boron transporter BOR1 in *Arabidopsis thaliana* (シロイヌナズナにおけるホウ酸輸送体 BOR1のホウ素依存的な発現の分子機構と生理学的意義) 相原 いづみ (分子生物学)
- アミロイド様細胞外タンパク curliが起因するバイオフィルムの水処理膜への影響評価 石川 寛恭 (分子生物学)
- Growth promotion of an aquatic plant, *Lemna minor*, by its associated bacteria (コウキクサ由来細菌による水生植物の成長

促進) 尾島 拓也 (分子生物学)

バイオオーグメンテーションに関する基礎研究: 有効性の向上と鉱物油分解菌群の冷凍保存性 倉地 公美子 (分子生物学)

海浜の原油汚染を想定した原地性バイオオーグメンテーション法の改良の試み 高橋 麻里奈 (分子生物学)

ガラクトロン酸転移酵素変異による植物におけるハウ素利用効率の向上 福岡 健 (分子生物学)

NMR法を用いた酢酸菌の代謝経路の精密解析及び連続培養の試み 村上 雄二郎 (分子生物学)

有用物質生産を行うウキクサ表在細菌の探索およびその利用 森 庄平 (分子生物学)

エストロゲン分解細菌の探索とウキクサ共生浄化の試み 森本 洋輔 (分子生物学)

System for directed evolution of polypeptides (ポリペプチドの指向的進化のシステム)

Laurynas VANAGAS (分子生物学)

環境物質科学専攻

P-Mo系ヘテロポリ酸触媒の還元挙動とメタクロレイン選択酸化反応特性との関連性の解明 田澤 篤 (ナノ環境材料)

ポリビニルピリジン薄膜への金属粒子の分散 石川 雅也 (ナノ環境材料)

実試料測定を目指した単分子層修飾電気化学バイオセンサの開発 大森 徹 (ナノ環境材料)

有機機能団で修飾したサブナノ金クラスターの機能開拓 小林 直貴 (ナノ環境材料)

炭素基板上に酸化還元種を固定化した新しい蓄電デバイスの開発 野澤 裕介 (ナノ環境材料)

炭素材料へのシクロデキストリン単分子層の構築と包接特性 松本 拓弥 (ナノ環境材料)

水中硝酸イオン還元反応を選択的に促進する担持ニッケル触媒の開発 丸山 司羽佐 (ナノ環境材料)

白金電極上へのシクロデキストリン単分子層の構築 三塚 麻里奈 (ナノ環境材料)

金属酸化物に担持したH₄SiW₁₂O₄₀の構造と酸性質 宮城 裕一 (ナノ環境材料)

芳香環連結化合物を導入したシクロデキストリン型蛍光分析試薬の合成とその応用 宮佐 穂奈未 (ナノ環境材料)

活性炭への吸脱着を利用した水中からのリン酸イオンの回収 宮里 利輝 (ナノ環境材料)

分子認識部位を導入した半導体性クラスターの設計とゲスト応答性 鷲尾 達也 (ナノ環境材料)

白金電極に吸着した水素のPt-H振動数の電位依存性 石野 嵩弥 (環境触媒化学)

Keggin型ヘテロポリ酸中性塩触媒による過酸化水素を酸化剤とした液相酸化反応 藤田 千春 (環境触媒化学)

希土類フタロシアニンダブルデッカー型錯体/金ナノ粒子集積体の合成と伝導性 荒木 瑞揮 (光電子科学)

超分子カチオンにおける分子回転およびプロトン移動に基づく誘電応答の開拓 大島 雄 (光電子科学)

有機超伝導物質λ-(BETS)2Fe0.45Ga0.55Cl4の光励起による電気伝導度変化の時間分解測定 遠藤 方 (光電子科学)

CX₃SO₃⁻ (X=H, F) アニオンが共存した二次元銅錯体の合成とガス吸着特性 石橋 秀規 (光電子科学)

単座ピリジン誘導体配位子を有する多孔性二次元亜鉛金属錯体の合成と性質 長谷川 啓 (光電子科学)

DABCOのプロトン化度による結晶構造変化と誘電性 宮原 正樹 (光電子科学)

含フッ素アニオンを利用した柔軟性二次元層状水酸化銅の合成と吸着特性 武藤 雄一 (光電子科学)

新規スルホキシド供与体を用いたマルチアンテナ構造を持つN型糖鎖の合成研究 廣瀬 允康 (生体物質科学)

Secondary-faced シクロデキストリン二量体の合成とその性質に関する研究 大條 郁生 (生体物質科学)

黄金色藻オクロモナス科由来のクロロスルホリピド類に関する研究 小笠原 望巳（生体物質科学）

*Pandoraea pulmonicola*由来のリボ多糖O抗原三糖ユニットの合成研究 近藤 広隆（生体物質科学）

ポリアミノポリカルボン酸型キレート樹脂を用いる環境水中の鉛の定量と鉛同位体比による汚染源の推定に関する研究 那須 葵（生体物質科学）

ラン藻*Anabaena heterospora*由来の酵素阻害物質に関する研究 早坂 政寛（生体物質科学）

トリオール型糖受容体を用いたβ-グルカンフラグメント合成法の開発 樋口 政泰（生体物質科学）

Vinigrolの合成研究 毛利 昌孝（生体物質科学）

Omaezalleneの全合成 山崎 翔平（生体物質科学）

1 1-3 修業年限修業学位取得率

博士後期課程

	入学者数	平成25年度までの修了者	
		標準年限内 修了者数	取得率 (%)
平成23年4月 入学者	25	18	72.0

※ 修士（博士前期）課程は省略（概ね年限内で取得している）

1 2 研究成果発表状況

1 2-1 査読有り論文

平成25年度に受理された査読有り論文を専攻毎にまとめた。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員、括弧内は受理日（年／月／日）を表しており、受理された年度（4月1日-3月31日）で分けている。なお、教員のための業績については各部署の報告等に所載するため掲載していない。

環境起学専攻

- Arase, T., Liu, J., *Watanabe, T.*, 2013. Degeneration of alpine steppe vegetation around Sary-Tash Village, Kyrgyz Republic. *Geographical Studeis*, 88(2), 60-69. (2013/8/29)
- Begum, P., Ikhtiar, R., *Fugetsu, B.*, 2014. Potential impact of multi-walled carbon nanotubes exposure to the seedling stage of selected plant species. *Nanomaterials*, 4(2), 203-221. (2014/3/22)
- Honjo, K., *Satake, A.*, 2013. N-player mosquito net game: Individual and social rationality in the misuse of insecticide-treated nets. *Journal of Theoretical Biology* Volume 342 2014, 39-46. (2013/12/5)
- Horio, Y., Sun, Y., Liu, C., Saito, T., *Kurasaki, M.*, 2014. Aspartame-induced apoptosis in PC12 cells. *Environmental Toxicology and Pharmacology*, 37(1), 158-165. (2013/11/20)
- Hoshiba, Y., *Yamanaka, Y.*, 2013. Along-coast shifts of plankton blooms driven by riverine inputs of nutrients and fresh water onto the coastal shelf: A model simulation. *Journal of Oceanography*, 69, 753-767. (2013/10/10)
- Ikhtiar, R., Begum, P., Watari, F., *Fugetsu, B.*, 2013. Toxic effect of multiwalled carbon nanotubes on Lettuce (*Lactuca Sativa*). *Nano Biomedicine*, 5(1), 18-24. (2013/6/25)
- Ishikawa, K., Hachiya, N., Aikoh, T., Shoji, Y., Nishinari, K., *Satake, A.*, 2013. A decision support model for traffic congestion in protected areas: A case study of Shiretoko National Park. *Tourism Management Perspectives* October 2013, 8, 18-27. (2013/5/4)
- Kaneko, K., *Washio, K.*, *Umezawa, T.*, *Matsuda, F.*, *Morikawa, M.*, *Okino, T.*, 2014. cDNA cloning and characterization of vanadium-dependent bromoperoxidases from the red alga *Laurencia nipponica*. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 78, 1310-1319. (2014/3/3)
- Kuboki, Y., Furusawa, T., Sato, M., Sun, Y., Unuma, H., Abe, S., Fujisawa, R., Akasaka, T., Watari, F., Takita, H., Sammons, R., 2014. Bone enhancing effect of titanium-binding proteins isolated from bovine bone and implanted into rat calvaria with titanium scaffold. *Biomedical Materials and Engineering*, 24(3), 1539-1548. (2013/8/29)
- Lim, C., *Toyoda, K.*, Ikehara, K., Peate, D.W., 2013. Late Quaternary teprostratigraphy of Baegdusan and Ulleung volcanoes using marine sediments in the Japan Sea/East Sea. *Quaternary Research*, 80, 76-87. (2013/4/9)
- Lim, C., Lee, I., Ikehara, K., 2013. Geochemical identification of cryptotephra using INAA from Late Quaternary hemipelagic sediments, southwest Japan. *Marine Geology*, 346, 233-245. (2013/9/23)
- Liu, J., *Watanabe, T.*, 2013. Assessment of the current grazing intensity and slope status of pastures in the Alai Valley, Kyrgyzstan. *Geographical Studeis*, 88(2), 70-79. (2013/9/25)
- Magdaong, E.T., *Fujii, M.*, Yamano, H., Licuanan, W.Y., Maypa, A., Campos, W.L., Alcala, A.C., White, A.T., Apistar, D., Martinez, R., 2014. Long-term change in coral cover and the effectiveness of marine protected areas in the Philippines: a meta-analysis. *Hydrobiologia*, 733, 5-17. (2013/10/19)
- Masuma, R., Kashima, S., *Kurasaki, M.*, Okuno, T., 2013. Effects of UV wavelength on cell damages caused by UV irradiation in PC12 cells. *Journal of Photochemistry and Photobiology B: Biology*, 125, 202-208. (2013/6/10)
- Masuma, R., Okuno, T., Choudhuri, M.S.K., Saito, T., *Kurasaki, M.*, 2014. Effect of *Tinospora cordifolia* on the reduction of ultraviolet radiation-induced cytotoxicity and DNA damage in PC12 cells. *Journal of Environmental Science and Health, Part B: Pesticides, Food Contaminants, and Agricultural Wastes*, 49(6), 416-421. (2014/1/16)
- Mihara, Y., *Tanaka, S.*, 2013. Development of a new type of adsorbent that can be collected easily on the surface of water after adsorption at the bottom of water. *J. Environmental Chemistry*, 23, 187-194. (2013/9/4)
- Negishi, J.N.*, Katsuki, K., Nagayama, S., Kume, M., Kayaba, Y., 2014. Terrestrialization alters organic matter dynamics and habitat quality for freshwater mussels (Unionoida) in floodplain backwaters. *Freshwater Biology*, 59(5), 1026-1038. (2013/12/25)
- Nioka, T.*, Ohnuki, S., 2013. Individual noise responses and task performance and their mutual relationships. *The International*

- Nishimura, A., Tsuyuzaki, S., 2014. Effects of water level via controlling water chemistry on revegetation patterns after peat mining. *Wetlands*, 34, 117-127. (2013/10/2)
- Orencio, P., Fujii, M., 2013. A spatiotemporal approach for determining disaster-risk potential based on damage consequences of multiple hazard events. *Journal of Risk Research*, 17, 815-836. (2013/5/30)
- Shirasaka, S., Watanabe, T., Song, F., Liu, J., Miyahara, I., 2013. Transhumance in the Kyrgyz Pamir, Central Asia. *Geographical Studeis*, 88(2), 80-101. (2013/12/25)
- Sikder, M.T., Islam, M.S., Kikuchi, T., Suzuki, J., Saito, T., Kurasaki, M., 2014. Removal of copper ions from water using epichlorohydrin cross-linked β -cyclodextrin polymers. *Water Environment Research*, 86(4), 296-304. (2013/7/19)
- Sikder, M.T., Mihara, Y., Islam, M.S., Saito, T., Tanaka, S., Kurasaki, M., 2014. Preparation and characterization of chitosan-caboxymethyl- β -cyclodextrin entrapped nano zero-valent iron composite for Cu (II) and Cr (IV) removal from wastewater. *Chemical Engineering Journal*, 236, 378-387. (2013/9/25)
- Sikder, M.T., Tanaka, S., Saito, T., Kurasaki, M., 2014. Application of zerovalent iron impregnated chitosan-caboxymethyl- β -cyclodextrin composite beads as arsenic sorbent. *Journal of Environmental Chemical Engineering*, 2(1), 370-376. (2014/1/9)
- Sun, L., Fugetsu, B., 2013. Graphene oxide captured for green use: Influence on the structures of calcium alginate and macroporous alginic beads and their application to aqueous removal of acridine orange. *Chemical Engineering Journal*, 240, 565-573. (2013/10/28)
- Sun, L., Fugetsu, B., 2013. Mass production of graphene oxide from expanded graphite. *Materials letters*, 109, 207-210. (2013/7/20)
- Sun, Y., Liu, C., Song, Y., Hosokawa, T., Saito, T., Kurasaki, M., 2014. Changes in the expression of epigenetic factors during copper-induced apoptosis in PC12 cells. *Journal of Environmental Science and Health, Part A: Toxic/Hazardous Substance & Environmental Engineering*, 49(9):1023-1028. (2014/1/24)
- Sun, Y., Mukai, Y., Sato, S., Tanaka, M., Saito, T., Kurasaki, M., 2013. Green tea extract increases mRNA expression of enzymes which influence epigenetic marks in newborn female offspring from undernourished pregnant mother. *PloS ONE*, 8(8), e74559. (2013/8/2)
- Takeshima, T., Sun, L., Wang, Y., Yamada, Y., Nishi, N., Yonezawa, T., Fugetsu, B., 2013. Salmon milt DNA as a template for the mass production of Ag nanoparticles. *Polymer Journal*, 46, 36-41. (2013/5/1)
- Tanaka, A., Sato, T., Nemoto, M., Yamanaka, Y., 2013. Sensitivity of cool summer-induced sterility of rice to increased growing-season temperatures: A case study in Hokkaido. Japan. *Journal of Agricultural Meteorology*, 70 (1), 25-40. (2013/10/14)
- Tanaka, M., Miyajima, M., Hishioka, N., Nishimura, R., Kihara, Y., Hosokawa, T., Kurasaki, M., Tanaka, S., Saito, T., in press. Humic acid induces the endothelial nitric oxide synthase phosphorylation at Ser1177 and Thr495 via Hsp90 α and Hsp90 β upregulation in human umbilical vein endothelial cells. *Environmental Toxicology*. (2013/6/6)
- Umezawa, T., Oguri, Y., Matsuura, H., Yamazaki, S., Suzuki, M., Yoshimura, E., Furuta, T., Nogata, Y., Serisawa, Y., Matsuyama, S.K., Abe, T., Matsuda, F., Suzuki, M., Okino, T., 2014. Omaezallene from red alga *Laurencia* sp.: Structure elucidation, total synthesis, and antifouling activity. *Angewandte Chemie International Edition*, 53, 3909-3912. (2014/3/11)
- Vipin, A.K., Hu, B., Fugetsu, B., 2013. Prussian blue caged in alginate/calcium beads as adsorbents for removal of cesium ions from contaminated water. *Journal of Hazardous Materials*, 258-259, 93-101. (2013/4/17)
- Wang, Y., Sun, L., Fugetsu, B., 2013. Morphology-controlled synthesis of sunlight-driven plasmonic photocatalysts Ag@AgX (X = Cl, Br) with graphene oxide template. *J. Mater. Chem. A*, 1, 12536-12544. (2013/8/15)
- Wang, Y., Fugetsu, B., 2013. A Polyelectrolyte-stabilized Approach for Massive Production of AgCl/Graphene Nanocomposites. *Chemistry Letters*, 42, 438-440. (2013/4/5)
- Watanabe, T., Anarbaev, M., Liu, Y., Sawagaki, T., Izumiyama, S., Miyahara, I., Komatsu, T., 2013. Place names as an ecotourism resource for the Alai valley of the Kyrgyz Pamir. *Geographical Studeis*, 88(2), 102-116. (2013/9/20)
- Yukawa, S., Yustiawati, Syawal, M.S., Kobayashi, K., Hosokawa, T., Saito, T., Tanaka, S., Kurasaki, M., 2014. Contents of hepatic and renal metallothioneins in *Hyposarcus pardalis*: For construction of biomarker for heavy metal contamination in environments. *Environmental Earth Sciences*, 71(4), 1945-1952. (2013/6/5)
- Eko, S., Tanaka, S., 2013. Development of Eco-adsorbent based on solid waste of paper industry to adsorb cadmium ion in water.

J. of Clean Energy Technologies, 1, 198-201.

Eko, S., Endo, N., Mihara, Y., Tanaka, S., 2014. 171. Encapsulated adsorbent in agar based on leaf of *Platanus* sp. to adsorb cadmium ion in water. Water Science & Technology.

Kubo, K., Yamaguchi, K., Ishinazaka, T., Yamada, W., Hattori, K., Tanaka, S., 2014. Maternal-to-fetal transfer and concentration profiles of PCB congeners for Steller sea lions (*Eumetopias jubatus*) from Hokkaido, Japan. Marine Pollution Bulletin, 78, 165-172.

Kubo, K., Yamaguchi, K., Mitsuhashi, M., Hattori, K., Tanaka, S., 2013. Concentration profiles of PCB congeners in the blubber and liver of Steller sea lions (*Eumetopias jubatus*) from the coast of Hokkaido, Japan. Marine Pollution Bulletin, 69, 228-232

澤柿教伸, 山口悟, 阿部洋祐, 2014. 氷河の形状復元と流動モデルの融合による平衡線高度決定モデルの構築. 雪氷, 76(1), 19-32. (2013/12/5)

澤柿教伸, 山口悟, 阿部洋祐, 2014. 平衡線決定モデルを用いた後期更新世日高山脈の氷河の平衡線高度の再現. 雪氷, 76(1), 33-44. (2013/12/5)

夏目奏, 澤柿教伸, 白岩孝行, 2014. 土地利用・土地被覆の違いが河川水質成分および沿岸の磯焼けに与える影響評価. 経済学論叢, 65(3), 347-369. (2014/2/15)

地球圏科学専攻

Aoki, S., Kitade, Y., Shimada, K., Ohshima, K.I., Tamura, T., Bajish, C.C., Moteki, M., Rintoul, S.R., 2013. Widespread freshening in the Seasonal Ice Zone near 140°E off the Adélie Land Coast, Antarctica, from 1994 to 2012. Journal of Geophysical Research, 118(11), 6046-6063. (2013/10/19)

Ignatev, A., Velivetchkaia, T., Sugimoto, A., Ueta, A., 2013. A soil water distillation technique using He-purging for stable isotope analysis. Journal of Hydrology, 498, 265-273. (2013/6/18)

Iizuka, Y., Delmonte, B., Oyabu, I., Karlin, T., Maggi, V., Albani, S., Fukui, M., Hondoh, T., Hansson, M., 2013. Sulphate and chloride aerosols during Holocene and last glacial periods preserved in the Talos Dome Ice Core, a peripheral region of Antarctica. Tellus B, 2013, 65, 20197. (2013/4/29)

Inai, Y., Hasebe, F., Fujiwara, M., Shiotani, M., Nishi, N., Ogino, S. Y., Voemel, H., Iwasaki, S., Shibata, T., 2013. Dehydration in the tropical tropopause layer estimated from the water vapor match. Atmos. Chem. Phys., 13, 8623-8642. (2013/7/18)

Kameyama, S., Tanimoto, H., Inomata, S., Yoshikawa, I.H., Tsunogai, U., Tsuda, A., Uematsu, M., Ishii, M., Sasano, D., Suzuki, K., Nosaka, Y., 2013. Strong relationship between dimethyl sulfide and net community production in the western subarctic Pacific. Geophysical Research Letters, 40, 3986-3990. (2013/6/12)

Kameyama, S., Yoshida, S., Tanimoto, H., Inomata, S., Suzuki, K., Yoshikawa-Inoue, H., 2014. High-resolution observation of dissolved isoprene in surface seawater in the Southern Ocean during austral summer 2010-2011. Journal of Oceanography, 70(3), 225-239. (2014/3/7)

Kanaya, Y., Akimoto, H., Wang, Z.-F., Pochanart, P., Kawamura, K., Liu, Y., Li, J., Komazaki, Y., Irie, H., Pan, X.-L., Taketani, F., Yamaji, K., Tanimoto, H., Inomata, S., Kato, S., Suthawaree, J., Okuzawa, K., Wang, G., Aggarwal, S. G., Fu, P.Q., Wang, T., Gao, J., Wang, Y., Zhuang, G., 2013. Overview of the Mt. Tai Experiments (MTX2006) in central East China in June 2006: studies of significant regional air pollution. Atmos. Chem. Phys., 13, 8265-8283. (2013/8/22)

Kawamura, K., Okuzawa, K., Aggarwal, S.G., Irie, H., Kanaya, Y., Wang, Z., 2013. Determination of gaseous and particulate carbonyls (glycolaldehyde, hydroxyacetone, glyoxal, methylglyoxal, nonanal and decanal) in the atmosphere at Mt. Tai. Atmos. Chem. Phys., 13, 5369-5380. (2013/5/28)

Kawamura, K., Tachibana, E., Okuzawa, K., Aggarwal, S.G., Kanaya, Y., Wang, Z.F., 2013. High abundances of water-soluble dicarboxylic acids, ketocarboxylic acids and α -dicarbonyls in the mountaintop aerosols over the North China Plain during wheat burning season. Atmos. Chem. Phys., 13, 8285-8302. (2013/8/22)

Kunwar, B., Kawamura, K., 2014. One-year observations of carbonaceous and nitrogenous components and major ions in the aerosols from subtropical Okinawa Island, an outflow region of Asian dusts. Atmos. Chem. Phys., 14, 1819-1836. (2014/2/17)

Nishimura, D., Sugiyama, S., Bauder A., Funk, B., 2013. Changes in ice-flow velocity and surface elevation from 1874 to 2006 in Rhonegletscher, Switzerland. Arctic, Antarctic, and Alpine Research, 45(4), 552-562. (2013/6/16)

Nomura, D., Yoshikawa-Inoue, H., Kobayashi S., Nakaoka, S., Hashida, G., 2014. Winter to summer evolution in surface

- water and air-sea CO₂ flux in the seasonal ice zone in the Indian Sector of the Southern Ocean. *Biogeosciences Discussion*, 11, 657-690. (2013/12/23)
- Nosaka, Y., Isada, T., Kudo, I., Saito, H., Hattori, H., Tsuda, A., Suzuki, K., 2014. Light utilization efficiency of phytoplankton in the Western Subarctic Gyre of the North Pacific during summer. *Journal of Oceanography*, 70, 91-103. (2013/12/22)
- Nowicki, S., Bindschadler, R.A., Abe-Ouchi, A., Aschwanden, A., Bueler, E., Choi, H., Fastook, J., Granzow, G., Greve, R., Gutowski, G., Herzfeld, U.C., Jackson, C., Johnson, J., Khroulev, C., Larour, E., Levermann, A., Lipscomb, W.H., Martin, M.A., Morlighem, M., Parizek, B.R., Pollard, D., Price, S.F., Ren, D., Rignot, E., Saito, F., Sato, T., Seddik, H., Seroussi, H., Takahashi, K., Walker, R., Wang, W.L., 2013. Insights into spatial sensitivities of ice mass response to environmental change from the SeaRISE ice sheet modeling project I: Antarctica. *Journal of Geophysical Research: Earth Surface*, 118(2), 1002-1024. (2013/4/23)
- Nowicki, S., Bindschadler, R.A., Abe-Ouchi, A., Aschwanden, A., Bueler, E., Choi, H., Fastook, J., Granzow, G., Greve, R., Gutowski, G., Herzfeld, U.C., Jackson, C., Johnson, J., Khroulev, C., Larour, E., Levermann, A., Lipscomb, W.H., Martin, M.A., Morlighem, M., Parizek, B.R., Pollard, D., Price, S.F., Ren, D., Rignot, E., Saito, F., Sato, T., Seddik, H., Seroussi, H., Takahashi, K., Walker, R., Wang, W.L., 2013. Insights into spatial sensitivities of ice mass response to environmental change from the SeaRISE ice sheet modeling project II: Greenland. *Journal of Geophysical Research: Earth Surface*, 118(2), 1025-1044. (2013/4/23)
- Omori, Y., Tanimoto, H., Inomata, S., Kameyama, S., Takao, S., Suzuki, K., 2013. Evaluation of using unfiltered seawater for underway measurement of dimethyl sulfide in the ocean by online mass spectrometry. *Limnology and Oceanography: Methods*, 11, 549-560. (2013/10/3)
- Ono, J., Ohshima, K.I., Uchimoto, K., Ebuchi, N., Mitsudera, H., Yamaguchi, H., 2013. Particle-tracking simulation for the drift/diffusion of spilled oils in the Sea of Okhotsk with a three-dimensional, high-resolution model. *Journal of Oceanography*, 69(4), 413-428. (2013/5/16)
- Ono, K., Ohshima, K.I., Kono, T., Katsumata, K., Yasuda, I., Wakatsuchi, M., 2013. Distribution of vertical diffusivity in the Bussol' Strait: a mixing hot spot in the North Pacific. *Deep Sea Research I*, 79, 62-73. (2013/5/13)
- Sakazaki, T., Fujiwara, M., Zhang, X., 2013. Interpretation of the vertical structure and seasonal variation of the diurnal migrating tide from the troposphere to the lower mesosphere. *Journal of Atmospheric and Solar-Terrestrial Physics*, 105-106, 66-80. (2013/7/27)
- Sato, T.Y., Hamasaki, K., Suzuki, K., 2014. Photosynthetic competence of the marine aerobic an oxygenic phototrophic bacterium *Roseobacter* sp. under organic substrate limitation. *Microbes and Environments*, 29, 100-103. (2013/12/5)
- Sato, T., Shiraiwa, T., Greve, R., Seddik, H., Edelmann, E., Zwinger, T., 2014. Accumulation reconstruction and water isotope analysis for 1736-1997 of an ice core from the Ushkovsky volcano, Kamchatka, and their relationships to North Pacific climate records. *Climate of the Past*, 10(1), 393-404. (2014/1/14)
- Shaari, H.B., Yamamoto, M., Irino, T., Oba, T., 2014. Nutricline shoaling in the eastern Pacific warm pool during the last two glacial maxima. *Journal of Oceanography*, 70(1), 25-34. (2013/11/21)
- Shigemitsu, M., Nishioka, J., Watanabe, Y.W., Yamanaka, Y. et al., 2013. Fe/Al ratios of suspended particulate matter from intermediate water in the Sea of Okhotsk: Implications for long-distance lateral transport of particulate Fe. *Marine Chemistry*, 157, 41-48. (2013/7/31)
- Sugidachi, T., Fujiwara, M., 2013. Impact of a new temperature-dependence correction on historical Meisei radiosonde humidity data. *Scientific Online Letters on the Atmosphere*, 9, 179-182. (2013/10/24)
- Sugie, K., Endo, H., Suzuki, K., Nishioka, J., Kiyosawa, H., Yoshimura, T., 2013. Synergistic effects of pCO₂ and iron availability on nutrient consumption ratio of the Bering Sea phytoplankton community. *Biogeosciences*, 10, 6309-6321. (2013/8/28)
- Sugiyama, S., Fukui, K., Fujita, K., Tone, K., Yamaguchi, S., 2013. Changes in ice thickness and flow velocity of Yala Glacier, Langtang Himal in Nepal, from 1982 to 2009. *Annals of Glaciology*, 54(64), 157-162. (2013/5/20)
- Sugiyama, S., Sakakibara, D., Matsuno, S., Yamaguchi, S., Matoba, S., Aoki, T., 2014. Initial field observations on Qaanaaq Ice Cap in northwestern Greenland. *Annals of Glaciology*, 55(66), 25-33. (2013/9/23)
- Suzuki, K., Hattori, S.A., Sekiguchi, Y., Nishioka, J., Shigemitsu, M., Isada, T., Liu, H., McKay, R.M.L., 2014. Spatial variability in iron nutritional status of large diatoms in the Sea of Okhotsk with special reference to the Amur River discharge. *Biogeosciences*, 11, 2503-2517. (2014/3/22)

- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Ohta, T., Maximov, T.C., Growth and physiological responses of larch trees to climate changes deduced from tree-ring widths and $\delta^{13}\text{C}$ at two forest sites in eastern Siberia. *Polar Science*, 8, 183-195. (2013/4/4)
- Ueta, A., Sugimoto, A., Iijima, Y., Yabuki, H., Maximov, T.C., 2013. Contribution of transpiration to the atmospheric moisture in eastern Siberia estimated with isotopic composition of water vapor. *Ecohydrology*, 7, 197-208. (2013/5/3)
- Watanabe, Y.W., Shigemitsu, M. et al., 2014. Decadal shift of biogenic sinking particle flux in the western North Pacific subpolar region. *Geophysical Research Letters*, 41, 513-518. (2014/1/6)
- Yamamoto, M., Ohira, F., Kumon, F., 2014. Late Pleistocene variation in lignin and fatty acids from core TKN-2004 in a small mountain basin in central Japan. *Quaternary International*, 48, 207-217. (2013/12/4)
- Yamamoto, M., Sai, H., Chen, M.T., Zhao, M., 2013. The East Asian winter monsoon variability in response to precession during the past 150,000 years. *Climate of the Past*, 9, 2777-2788. (2013/11/7)
- Yamashita, Y., Nosaka, Y., Suzuki, K., Ogawa, H., Takahashi, K., Saito, H., 2013. The photobleaching as a factor controlling spectral characteristics of chromophoric dissolved organic matter in open ocean. *Biogeosciences*, 10, 7207-7217. (2013/10/11)
- Ohira, F., Yamamoto, M., Takemura, K., Hayashida, A., 2014. Response of vegetation in central Japan to precession during the last 147,000 years: A lignin record from Lake Biwa core BIW08-B. *Quaternary International*, 349, 59-67.
- Yamamoto, M., Kishizaki, M., Oba, T., Kawahata, H., 2013. Intense winter cooling of the surface water in the northern Okinawa Trough during the last glacial period. *Journal of Asian Earth Science*, 69, 86-92.
- Yamamoto, M., Kobayashi, D., 2014. Surface ocean cooling in the subarctic North Pacific during the late Pliocene suggests an atmospheric reorganization prior to extensive Northern Hemisphere glaciation. *Deep-Sea Research*, in press.

生物圏科学専攻

- Aguilos, M., Takagi, K., Liang, N., Watanabe, Y., Teramoto, M., Goto, S., Takahashi, Y., Mukai, H., Sasa, K., 2013. Sustained large stimulation of soil heterotrophic respiration rate and its temperature sensitivity by soil warming in a cool-temperate forested peatland. *Tellus B*, 65, 20792. (2013/6/27)
- Alam, A.K.M.R., Hagino, T., Fukaya, K., Okuda, T., Nakaoka, M., Noda, T., 2013. Early phase of the invasion of *Balanus glandula* along the coast of eastern Hokkaido: changes in abundance, distribution and recruitment. *Biological Invasions*, 16, 1699-1708. (2013/11/27)
- Atikah, T.D., Rahajoe, J.S., Kohyama, T.S., 2014. Differentiation in architectural properties and functional traits of forest-floor saplings among heath, peat swamp, and mixed dipterocarp forests. *Tropics*, 22, 157-167. (2013/12/25)
- Aya, F.A., Hidaka, Y., Kudo, I., 2013. Clearance rates and ingestion efficiency of the Japanese scallop *Patinopecten yessoensis*. *Plankton Benthos Research*, 8, 134-140. (2013/5/29)
- Boonmak, C., Takahashi, Y., Morikawa, M., 2013. Draft genome sequence of *Geobacillus thermoleovorans* B23. *Genome A*, 1(6), e00944-13. (2013/10/10)
- Boonmak, C., Takahashi, Y., Morikawa, M., 2014. Cloning and expression of three *ladA*-type alkane monooxygenase genes from an extremely thermophilic alkane-degrading bacterium *Geobacillus thermoleovorans* B23. *Extremophiles*, 18, 515-523. (2014/2/19)
- Fukaya, K., Amano, M., Ueda, H., 2013. Diurnal changes in salmon GnRH secretion in the brain of masu salmon (*Oncorhynchus masou*). *General and Comparative Endocrinology*, 192, 77-80. (2013/10/1)
- Fukaya, K., Okuda, T., Nakaoka, M., Noda, T., 2014. Effects of spatial structure of population size on the population dynamics of barnacles across their elevational range. *Journal of Animal Ecology*, 83, 1334-1343. (2013/8/24)
- Gotoh, H., Miyakawa, H., Ishikawa, A., Ishikawa, Y., Sugime, Y., Emlen, D.J., Lavine, L.C., Miura, T., 2014. Developmental link between sex and nutrition: *doublesex* regulates sex-specific mandible growth via juvenile hormone signaling in stag beetles. *PLoS Genetics*, 10, e1004098. (2013/11/26)
- Hanya, G., Fuse, M., Aiba, S., Hino, T., Tsujino, R., Agetsuma, N., Chapman, C.A., Ecosystem impacts of folivory and frugivory by Japanese macaques in two temperate forests in Yakushima. *American Journal of Primatology* 76(6): 596-607. (2013/12/1)
- Hashimoto, S., Koizumi, I., Takai, K., Higashi, S., 2013. Different habitat salinity between two divergent groups of a worm-like goby *Luciogobius guttatus*: an indication of cryptic species. *Environmental Biology of Fishes*. (2013/11/7)
- Honda, K., Kagiwada, H., Takahashi, N., Miyashita, K., 2014. Movement patterns of adult Sakhalin taimen, *Parahucho*

- perryi*, between stream habitats of the Bekanbeushi River system, eastern Hokkaido, Japan. Ichthyological Research, 61, 142-151. (2013/12/23)
- Iida, I., Poorter, L., Sterck, F.J., Kassim, A.R., Potts, M.D., Kubo, T., Kohyama, T.S., 2014. Linking size-dependent growth and mortality with architectural traits across 145 co-occurring tropical tree species. Ecology, 95, 353-363. (2013/4/1)
- Ishibashi, Y., Zenitani, J., Saitoh, T., 2013. Male-biased dispersal causes intersexual differences in the subpopulation structure of the gray-sided vole. Journal of Heredity 2013, 104(5), 718–724. (2013/5/1)
- Ishioka, R., Mullar, O., Hiura, T., Kudo, G., 2013. Responses of leafing phenology and photosynthesis to soil warming in forest-floor plants. Acta Oecologica, 51, 34-41. (2013/5/30)
- Itoh, Y., Sakagami, K., Uchino, Y., Boonmak, C., Oriyama, T., Tojo, F., Matsumoto, M., Morikawa, M., 2013. Isolation and characterization of a thermotolerant ammonia-oxidizing bacterium *Nitrosomonas* sp. JPCCT2 from a thermal power station. Microbes Environ, 28(4), 432-435. (2013/8/5)
- Kaneko, K., Washio, K., Umezawa, T., Matsuda, F., Morikawa, M., Okino, T., 2014. cDNA cloning and characterization of vanadium-dependent bromoperoxidases from the red alga *Laurencia nipponica*. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 78, 1310-1319. (2014/3/3)
- Kawauchi, Y., Chimura, M., Mutoh, T., Watanobe, M., Shirakawa, H., Miyashita, K., 2014. Effect of environmental factors and prey species on daytime and nighttime vertical distribution of juvenile walleye pollock in and around Funka Bay. Fisheries Science, 80, 139–149. (2013/12/24)
- Kazahari, N., 2014. Maintaining social cohesion is a more important determinant of patch residence time than maximizing food intake rate in a group-living primate, Japanese macaque (*Macaca fuscata*). Primates 55:179–184. (2014/1/23)
- Kobayashi, F., Toyama, M., Koizumi, I., 2013. Potential resource competition between an invasive mammal and native birds: overlap in tree cavity preferences of feral raccoons and Ural owls. Biological Invasions, 16, 1453-1464. (2013/11/12)
- Kojima, H., Watanabe, T., Iwata, T., Fukui, M., 2014. Identification of major planktonic sulfur oxidizers in stratified freshwater lake. PLoS ONE, e93877. (2014/3/10)
- Komorita, T., Kajihara, R., Tsutsumi, H., Yamada, T., Shibanuma, S., Montani, S., 2014. Food sources for *Ruditapes philippinarum* in a coastal lagoon determined by mass balance and stable isotope approaches. PLoS ONE, 9(1), e86732. (2014/1/28)
- Kurachi, K., Okamoto, R., Takahashi, M., Okuyama, H., 2014. The potential of glycerol in freezing preservation of turbine oil-degrading bacterial consortium and the ability of the revised consortium to degrade petroleum wastes. International Biodeterioration & Biodegradation, Volume 88, March 2014, Pages, 77–82. (2013/12/11)
- Maeda, T., Yotsukura, N., 2013. Development of microsatellite markers for *Saccharina japonica* by dual-suppression PCR. Algal Resources, 6, 67-71. (2013/11/26)
- Miwa, K., Aibara, I., Fujiwara, T., 2014. *Arabidopsis thaliana* *BOR4* is upregulated under high boron conditions and confers tolerance to high boron. Soil Science and Plant Nutrition, 60, 349-355. (2013/11/13)
- Miyakawa, H., Gotoh, H., Sugimoto, N., Miura, T., 2013. Effect of juvenoids on predator-induced polyphenism in the water flea, *Daphnia pulex*. Journal of Experimental Zoology Part A: Ecological Genetics and Physiology, 319A, 440-450. (2013/5/6)
- Miyakawa, H., Iguchi, T., Miura, T., 2013. Developmental process of defensive morph in *Daphnia pulex*. In: El-Doma M (ed.) Daphnia: Biology and Mathematics Perspectives. Nova Science Publishers. (2013/4/25)
- Miyazaki, S., Okada, Y., Miyakawa, H., Tokuda, G., Cornette, R., Koshikawa, S., Maekawa, K., Miura, T., 2014. Sexually dimorphic body color is regulated by sex-specific expression of yellow gene in ponerine ant, *Diacamma* sp. PLoS ONE, 9, e92875. (2014/2/26)
- Morimoto, H., Kuwano, M., Kasahara, Y., 2013. Gene expression profiling of *Pseudomonas putida* F1 after exposure to aromatic hydrocarbon in soil by using proteome analysis. Archives of Microbiology, 195, 805–813. (2013/10/7)
- Murata, Y., Novkovic, B., Suwito, A., Kimura, M.T., 2013. Diapause and cold tolerance of Asian species of the parasitoid *Leptopilina* (Hymenoptera: Figitidae). Physiological Entomology, 38, 211-218., (2013/4/11)
- Nagasato, C., Kajimura, N., Terauchi, M., Mineyuki, Y., Motomura, T., 2014. Electrtomographic analysis of cytokinesis in the brown alga *Silvetia babingtonii* (Fucales, Phaeophyceae). Protoplasma, 251, 1347-1357. (2014/1/13)
- Negishi, J.N., Soga, M., Ishiyama, N., Suzuki, N., Yuta, T., Sueyoshi, M., Yamazaki, C., Koizumi, I., Mizugaki, S., Hayashida, K., Nunokawa, M., Yoshimura, N., 2014. Geomorphic legacy controls macrophyte distribution within and

- across disconnected floodplain lakes. *Freshwater Biology*, 59, 942-954. (2013/4)
- Nomano, F.Y., Browing, L.E., Rollins, L.A., Nakagawa, S., Griffith, S.C., Russell, A.F., 2013. Feeding nestlings does not function as a signal of social prestige in cooperatively breeding chestnut-crowned babblers. *Animal Behavior*, 86, 2, 277-289. (2013/4/17)
- Nosaka, Y., Isada, T., Kudo, I., Saito, H., Hattori, H., Tsuda, A., Suzuki, K., 2013. Light utilization efficiency of phytoplankton in the Western Subarctic Gyre of the North Pacific during summer. *Journal of Oceanography*, 70, 91-103. (2013/12/17)
- Nunome, M., Kinoshita, G., Tomozawa, M., Torii, H., Matsuki, R., Yamada, F., Matsuda, Y., Suzuki, H., 2014. Lack of association between winter coat colour and genetic population structure in the Japanese hare, *Lepus brachyurus* (Lagomorpha: Leporidae). *Biological Journal of the Linnean Society*, 111, 461-776. (2013/12/11)
- Nunome, M., Suzuki, H., Moriwaki, K., 2013. Historical introduction of Japanese wild mice, *Mus musculus*, from South China and the Korean Peninsula. *Animal Systematics, Evolution and Diversity*, 29, 267-271. (2013/8/31)
- Ogawa, K., Miura, T., 2013. Two developmental switch points for the wing polymorphisms in the pea aphid *Acyrtosiphon pism*. *EvoDevo*, 4, 30. (2013/11/1)
- Ogawa, K., Miura, T., 2014. Aphid polyphenisms: trans-generational developmental regulation through viviparity. *Frontiers in Physiology*, 5, 1. (2014/1/1)
- Ohmori, Y., Inui, Y., Kajikawa, M., Nakata, A., Sotta, N., Kasai, K., Uruguchi, S., Tanaka, N., Nishida, S., Hasegawa, T., Sakamoto, T., Kawara, Y., Aizawa, K., Fujita, H., Li, K., Sawaki, N., Oda, K., Futagoishi, R., Tsusaka, T., Takahashi, S., Takano, J., Wakuta, S., Yoshinari, A., Uehara, M., Takada, S., Nagano, H., Miwa, K., Aibara, I., Ojima, T., Ebana, K., Ishikawa, S., Sueyoshi, K., Hasegawa, H., Mimura, T., Mimura, M., Kobayashi, N.I., Furukawa, J., Kobayashi, D., Okouchi, T., Tanoi, K., Fujiwara, T., 2014. Cultivar-difference in cesium accumulation in rice grown in the paddy field in the Fukushima-city in the years of 2011 and 2012. *Journal of Plant Research*, 127, 1, 57-66. (2013/9/26)
- Ohta, T., Niwa, S., Hiura, T., 2014. Calcium concentration in leaf litter affects the abundance and survival of crustaceans in streams draining warm-temperate forests. *Freshwater Biology*, 59, 748-760. (2013/11/22)
- Sahashi, G., Morita, K., 2013. Fall-winter collection of two salmonid species: seasonal changes in population densities in four tributaries of the Kushiro river system. *Ichthyological Research*, 61, 189-192. (2013/10/24)
- Sahashi, G., Morita, K., 2013. Migration costs drive convergence of threshold traits for migratory tactics. *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*. 280(1773): 20132539. (2013/10/8)
- Saito, R., Yamaguchi, A., Yasuda, I., Ueno, H., Ishiyama, H., Onishi, H., Imai, I., 2014. Influences of mesoscale anticyclonic eddies on the zooplankton community south of the western Aleutian Islands during the summer of 2010. *Journal of Plankton Research*, 36, 1, 117-128. (2013/8/9)
- Sakai, T., Sugita, H., Yone, Y., Hiura, T., 2014. Instability on steep slopes mediates tree species co-existence in a warm-temperate mixed forest. *Plant Ecology*, 215, 121-31. (2013/11/19)
- Sato, M., Honda, K., Bolisay, K.O., Nakamura, Y., Fortes, M.D., Nakaoka, M., 2013. Factors affecting the local abundance of two anemonefishes (*Amphiprion frenatus* and *A. perideraion*) around a semi-closed bay in Puerto Galera, the Philippines. *Hydrobiologia*, 733, 1, 63-69. (2013/11/16)
- Sato, M., Kurokuchi, H., Tan, E., Asakawa, S., Honda, K., Bolisay, K.O., Nakamura, Y., Lian, C., Fortes, M.D., Nakaoka, M., 2014. Fifteen novel microsatellite markers for two Amphiprion species (*Amphiprion frenatus* and *Amphiprion perideraion*) and cross-species amplification. *Conservation Genetics Resources*, 6, 685-688. (2014/3/27)
- Sato, M., Nishijima, S., Miyashita, T., 2013. Differences in refuge function for prey and tolerance to crayfish among macrophyte species. *Limnology*, 15, 27-35. (2013/5/7)
- Sato, T., Nagasato, C., Hara, Y., Motomura, T., 2014. Cell cycle and nucleomorph division in *Pyrenomonas helgolandii* (Cryptophyta). *Protist*, 165(2), 113-22. (2014/1/18)
- Sekiguchi, K., Onishi, H., Sasaki, H., Haba, S., Iwahara, Y., Mizuguchi, D., Otsuki, M., Saijo, D., Nishizawa, B., Mizuno, H., Hoshi, N., Kamito, T., 2014. Sightings of the western stock of North Pacific right whales (*Eubalaena japonica*) in the far southeast of the Kamchatka Peninsula. *Marine Mammal Science*, 30, 1199-1209. (2013/9/25)
- Shibata, H., Hasegawa, Y., Watanabe, T., Fukuzawa, K., 2013. Impact of snowpack decrease on net nitrogen mineralization and nitrification in forest soil of northern Japan. *Biogeochemistry*, 116(1-3), 69-82. (2013/6/11)
- Sugihara, Y., Ueno, H., Hirata, T., Araki, H., 2014. Hairy vetch derived-N uptake by tomato grown in a pot containing fast- and slow-release N fertilizer. *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science*, 83 (2). (2014/1/29)

- Suzuki, H., Nunome, M., Kinoshita, G., Aplin, K.P., Vogel, P., Kryukov, A.P., Jin, M.L., Han, S.H., Maryanto, I., Tsuchiya, K., Ikeda, H., Shiroishi, T., Yonekawa, H., Moriwaki, K., 2013. Evolutionary and dispersal history of Eurasian house mice *Mus musculus* clarified by more extensive geographic sampling of mitochondrial DNA. *Heredity*, 111, 375–390. (2013/4/24)
- Suzuki, W., Sugawara, M., Miwa, K., Morikawa, M., 2014. Plant growth-promoting bacterium *Acinetobacter calcoaceticus* P23 increases the chlorophyll content of the monocot *Lemna minor* (duckweed) and the dicot *Lactuca sativa* (lettuce). *Journal of Bioscience and Bioengineering*, 118, 41-44. (2013/12/6)
- Terasaki, E., Morita, K., Yasuda, K., Maekawa, K., Montani, S., 2013. Biogeochemical characterization of surface sediments in the subarctic Lake Saroma influenced by scallop culture (Hokkaido, Japan). *La mer*, 51, 107-116. (2013/11/14)
- Watanabe, D., Gotoh, H., Miura, T., Maekawa, K., 2014. Social interactions affecting caste development through physiological actions in termites. *Frontiers in Physiology*, 5, 127. (2014/3/14)
- Watanabe, T., Kojima, H., Takano, Y., Fukui, M., 2013. Diversity of sulfur-cycle prokaryotes in freshwater lake sediments investigated using *aprA* as functional marker gene. *Systematic and Applied Microbiology*, 36, 436-443. (2013/4/27)
- Yamazaki, A., Markevich, A., Munehara, H., 2013. Molecular phylogeny and zoogeography of marine sculpins in the *Gymnocanthus* (Teleostei: Cottidae) based on mitochondrial DNA sequences. *Marine Biology*, 160, 2581-2589. (2013/4/18)
- Safruddin, Kawauchi, Y., Ito, Y., Minami, K., Itaya, K., Maeda, K., Matsukura, R., Abe, K., Yasuma, H., Miyashita, K., 2013. Tilt angle and theoretical target strength of the Japanese sandeel, *Ammodytes personatus*, captured on the northern coast of Hokkaido. *Journal of the Marine Acoustical Society of Japan*, 40, 329-338.
- Shao, H., Ito, Y., Minami, K., Yasuma, H., Miyashita, K., 2013. Spatial estimation of the kelp forest (*Laminaria* spp.) distributions in coastal waters of Otsu, Hokkaido, Japan, using acoustic method and geographic information system. *GIS/Spatial Analyses in Fishery and Aquatic Sciences*, 5, 133-150.
- 井上太樹, 飯島勇人, 2013. 倒木上での樹木の更新における蘚苔類群集の影響. *日本生態学会誌*, 63, 341-348. (2013/8/1)
- 神戸嘉一, 鈴木莊介, 矢部辰男, 中田勝士, 前園泰徳, 阿部慎太郎, 石田健, 谷川力, 橋本琢磨, 武田美加子, 土屋公幸, 吉松組子, 鈴木仁, 2013. Mc1r 変異に基づくクマネズミ外来系統の日本列島における移入と浸透交雑の把握. *哺乳類科学*, 53(2), 289-299. (2013/8/22)

環境物質科学専攻

- Abe, R., Shinmei, K., Koumura, N., Hara, K., Ohtani, B., 2013. Visible-light-induced water splitting based on two-step photoexcitation between dye-sensitized layered niobate and tungsten oxide photocatalysts in the presence of triiodide/iodide shuttle redox mediator. *Journal of the American Chemical Society*, 135, 45, 16872-16884. (2013/10/15)
- Casford, M., Ge, A., Kett, P., Ye, S., Davies, P., 2014. The structure of lipid bilayers adsorbed on activated carboxy terminated monolayers investigated by sum frequency generation spectroscopy. *The Journal of Physical Chemistry B*, 2014, 118, 3335–3345. (2013/10/21)
- Ge, A., Peng, Q., Wu, H., Liu, H., Tong, Y., Nishida, T., Yoshida, N., Suzuki, K., Sakai, T., Osawa, M., Ye, S., 2013. Effect of functional group on the monolayer structures of biodegradable quaternary ammonium surfactants. *Langmuir*, 2013, 29, 14411-14420. (2013/9/11)
- Ge, A., Wu, H., Darwish, T., James, M., Osawa, M., Ye, S., 2013. Structure and lateral interaction in mixed monolayers of dioctadecyldimethylammonium chloride (DOAC) and stearyl alcohol. *Langmuir*, 2013, 29, 5407-5417. (2013/4/1)
- Hirayama, J., Abe, R., Kamiya, Y., 2014. Combinational effect of Pt/SrTiO₃/Rh photocatalyst and SnPd/Al₂O₃ non-photocatalyst for photocatalytic reduction of nitrate to nitrogen in water under visible light irradiation. *Applied Catalysis B*, 144, 721-729. (2013/8/6)
- Hossain, Md. M., Nakata, K., Kawaguchi, T., Shimazu, K., 2013. Reduction of nitrate on electrochemically pre-reduced tin-modified palladium electrodes. *Journal of Electroanalytical Chemistry*, 707, 59. (2013/8/14)
- Hsu, Y.H., Chiang, C.H., Hu, Y.J., Awasthi, K., Mai, L.C., Yeh, Y.C., Ohta, N., Diao, G.W.E., 2013. Field-induced fluorescence quenching and enhancement of porphyrin sensitizers on TiO₂ films and in PMMA films. *Journal of Physical Chemistry C*, 117(47), 24761-24766. (2013/11/7)
- Ichikawa, S., Lina Mahardiani., Kamiya, Y., 2014. Catalytic oxidation of ammonium ion in water with ozone over metal oxide catalysts. *Catalysis Today*, 232, 192-197. (2013/9/23)

- Kobayashi, N., Kamei, Y., Shichibu, Y., Konishi, K., 2013. Protonation-induced chromism of pyridylethynyl-appended [core+exo]-type Au₈ clusters. Resonance-coupled electronic perturbation through π -conjugated group. J. Am. Chem. Soc., 135, 16078-16081. (2013/10/15)
- Liu, Z., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013. Design of crystalline spaces for molecular rotations in crystals. Crystal Growth & Design, 14, 537-543. (2013/12/16)
- Nakabayashi, T., Islam, M.S., Li, L., Yasuda, M., Ohta, N., 2014. Studies on external electric field effects on absorption and fluorescence spectra of NADH. Chemical Physics Letters, 595-596(1-6), 25-30. (2014/1/25)
- Noda, Y., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2014. Gold nanoparticle assemblies stabilized by bis(phthalocyaninato)lanthanide(III) complexes through van der Waals interactions. Scientific Reports, 4, 3758. (2013/12/20)
- Noro, S., Hasegawa, K., Kubo, K., Nakamura, T., 2014. Finite winding (H₂O)₁₂ chain stabilized by one-dimensional coordination polymer. Bulletin of the Chemical Society of Japan, 87, 623-625. (2014/2/15)
- Qiao, L., Ge, A., Osawa, M., Ye, S., 2013. Structure and stability studies of mixed monolayers of saturated and unsaturated phospholipids under low-level ozone. Physical Chemistry Chemical Physics, 15, 17775-17785. (2013/6/14)
- Umezawa, T., Oguri, Y., Matsuura, H., Yamazaki, S., Suzuki, M., Yoshimura, E., Furuta, T., Nogata, Y., Serisawa, Y., Matsuyama, S.K., Abe, T., Matsuda, F., Suzuki, M., Okino, T., 2014. Omaezallene from red alga *Laurencia* sp.: Structure elucidation, total synthesis and antifouling activity. Angewandte Chemie, International Edition, 53, 3909-3912. (2014/1/21)
- Yan, Y., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2014. Crystal structure and physical properties of a dithiolene complex crystal with adamantane supramolecular rotator. Bulletin of the Chemical Society of Japan, 87(3), 417-419. (2013/12/2)
- Ye, H.Y., Zhang, Y.I., Noro, S., Kubo, K., Yoshitake, M., Liu, Z.Q., Cai, H.L., Fu, D.W., Yoshikawa, H., Awaga, K., Xiong, R.G., Nakamura, T., 2013. Molecule-displacive ferroelectricity in organic supramolecular solids. Scientific Reports, 3, 2249. (2013/7/4)
- 叶深, 葛愛民, 2014. 和周波発生(SFG)振動分光法 (最新表面科学講座) . 色材協会誌, 87, 64-71. (2013/5/9)

1 2-2 査読無し論文

平成25年度に発表された査読無し論文を専攻毎にまとめる。下線の氏名は環境科学院学生（修了者も学院所属時の発表ならば含む）、イタリックの氏名は学院教員を示す。なお、教員のための業績については、各部署の報告等に所載するため掲載していない。査読無し論文（その他論文・著書）に関しては発表年（1月1日-12月31日）で年毎に分けている。

環境起学専攻

無し

地球圏科学専攻

- Inai, Y., *Hasebe, F., Fujiwara, M., Shiotani, M., Nishi, N., Ogino, S.Y., Voemel, H., Iwasaki, S., Shibata, T.*, 2013. Dehydration in the tropical tropopause layer estimated from the water vapor matchin the Tropical Pacific. *Atmos. Chem. Phys. Discuss.*, 13, 633-688.
- Ito, M., *Ohshima, K.I., Fukamachi, Y., Simizu, D., Iwamoto, K., Matsumura, Y.*, Mahoney, A.R., Eicken, H., 2014. A study of formation processes of supercooled water and frazil ice in a coastal polynya. *Proceedings of the 29th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea Ice*, 138-141.
- Iwamoto, K., *Ohshima, K.I., Tamura, T.*, 2013. Mapping of sea ice production in the Arctic Ocean using AMSR-E thin ice thickness algorithm. *Proceedings of the 28th International Symposium on Okhotsk Sea and Sea Ice*, 208-211.
- Levermann, A., Winkelmann, R., Nowicki, S., Fastook, J.L., Frieler, K., *Greve, R.*, Hellmer, H.H., Martin, M.A., Mengel, M., Payne, A.J., Pollard, D., Sato, T., Timmermann, R., Wang, W.L., Bindshadler, R.A., 2013. Projecting Antarctic ice discharge using response functions from SeaRISE ice-sheet models. *Earth System Dynamics Discussions*, 4(2), 1117-1168.
- Suzuki, K., Hattori, S.A., Sekiguchi, Y., Nishioka, J.*, Shigemitsu, M., Isada, T., Liu, H., McKay, R.M.L., 2013. Spatial variability in iron nutritional status of large diatoms in the Sea of Okhotsk with special reference to the Amur River discharge. *Biogeosciences Discussions*, 11, 373-415.
- Yamashita, Y., Nosaka, Y., Suzuki, K., Ogawa, H., Takahashi, K., Saito, H.*, 2013. The photobleaching as a factor controlling spectral characteristics of chromophoric dissolved organic matter in open ocean. *Biogeosciences Discussions*, 10, 9989-10019.
- 鄭峻介, 2013. 樹木年輪から東シベリアタイガ林の過去を探る. 北海道立北方民族博物館友の会・季刊誌「アークティック・サークル」, 6月号, 14-17.

生物圏科学専攻

- Bin Haji Mohd Taha, A.I., Ahmed, R.Z., Motoigi, T., Watanabe, K., Kurosawa, N., *Okuyama, H.*, 2013. Lipids in cold-adapted microorganisms. *Cold-Adapted Microorganisms*. Ed. By I. Yumoto, In, Caister Academic Press, UK.
- Murase, H., Fukuda, Y., Nakatsuka, S., Katsumata, N., Shinohara, A., Okazaki, M., Inagake, D., Matsuoka, K., Bando, T., 2013. Cruise report of the whale prey survey conducted in the offshore component of the JARPNII in 2013. *International Whaling Commission*.
- 吉田磨仁, 奥山英登志, 折笠善文, 2013. 細菌の長鎖多価不飽和脂肪酸合成酵素遺伝子. *オレオサイエンス* 第13 巻第5 号.

環境物質科学専攻

無し

1 2-3 学会発表

環境起学専攻

- Akemoto, Y., Kan, M., Tanaka, S., 2013年6月23日, Electrokinetic Remediation for Removal of Alkali Metal Ions from Contaminated Soil by Tsunami, 12th International Symposium on Electrokinetic Remediation, アメリカ・ボストン, ポスター
- Dashtseren, A., Ishikawa, M., Iijima, Y., Jambaljav, Y., Jargaltulga, T., 2013年12月20日, The effect of vegetation cover on the ground temperatures and solar radiation distribution at the southern edge of Eurasian permafrost in Mongolia, 2013 International Workshop on Terrestrial Change in Mongolia, 東京, 口頭
- Dublin, D., 2013年11月5日, Peasants to Royalty: The Internationalization of Satoyama-Satoumi Sustainable Agricultural Development, SW2013:The Fifth Hokkaido University Sustainability Research Poster Contest, 札幌, ポスター
- Dublin, D., Tanaka, N., 2013年11月26日-28日, Satoyama-Satoumi Ecosystem management in the ancient world of the Ainu peoples of Japan, Presentation at the International Symposium on the CoHHO: Integrated Ecosystem Management from Hill to Ocean, 京都, ポスター
- Dublin, D., Tanaka, N., 2014年1月24日-25日, The Origin and Meaning of Satoyama: A Peoples Perspective from citizens of Suzu City, Japan, International Conference on Agriculture, Veterinary and Life Sciences. International Multidisciplinary Research Foundation (IMRF), インド・ヴィジャヤワダ, 口頭
- Harisoa, R., 小林真, 露崎史朗, 2013年9月13日, Annual fluctuations of soil properties after fire and response of white birch trees, 日本植物学会, 札幌, ポスター
- Harisoa, R., 露崎史朗, 2014年2月21日, The recovery processes after an experimental forest fire: growth of *Betula platyphylla* var. *japonica* relative to biomass recovery of *Sasa senanensis* and soil characteristics, 日本生態学会地区会, 札幌, 口頭
- Hirota, S., Fugetsu, B., 2013年10月31日, Preparation of silver nanoparticles using sodium alginate for photocatalyst, The 6th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health, 名古屋, ポスター
- Hoshiba, Y., Yamanaka, Y., 2014年2月23日-28日, Along-coast shifts of phytoplankton blooms driven by riverine inputs of nutrients and fresh water, Ocean Sciences Meeting 2014, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Iijima, Y., Dashtseren, A., Jargaltulga, T., Jambaljav, Y., Ishikawa, M., 2013年12月20日, Water cycle and frozen ground interaction in northern Mongolian Mountain, 2013 International Workshop on Terrestrial Change in Mongolia, 東京, 口頭
- Islam, S. M., Kurasaki, M., 2013年12月12日-13日, Phytofiltration mechanism of cadmium from the water environment using *Micranthemum Umbrosum*, The Impact of Aging population on the future of Asia: The experience of Korea and Japan`-Satellite Session: Toward understanding of our Environment, 韓国・ソウル, ポスター
- Kaneko, K., Washio, K., Umezawa, T., Morikawa, M., Matsuda, F., Okino, T., 2013年9月15日-20日, Vanadium dependent bromoperoxidase from the red alga *Laurencia nipponica*, 14th International Symposium 8th European Conference on Marine Natural Products, スペイン・ラトローハ, ポスター
- Kobayashi, Y., Hirakawa, K., Komatsu, T., Obata, T., Watanabe, T., 2013年8月6日, Understanding the pattern of mountain trail erosion, based on the construction of geomorphological maps in 12 mountains of Hokkaido, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, ポスター
- Komatsu, T., Watanabe, T., 2013年7月13日, GLOF and glacier-related hazards and risk in Tajikistan, Glacial Flooding and Disaster Risk Management Knowledge Exchange and Field Training, ペルー・ワラス, 口頭
- Kuramitz, H., Sazawa, K., Yustiawati., Kurasaki, M., Gumiri, S., Ardianor, Saito, T., Hosokawa, T., Syawal, S. M., Tanaka, S., 2013年9月24日-26日, Effect of fire on properties of organic matter in tropical soil, 4th International Workshop on "Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia", インドネシア・パランカラヤ, 口頭
- Kwon, T., Tsuyuzaki, S., 2014年3月18日, Nitrogen status of *Salix reinii* and *Larix kaempferi* in relation to mycorrhizal N transfer on Mt. Koma, northern Japan, 日本生態学会, 広島, 口頭
- Liu, J., 2013年10月1日, Land degradation study for sustainable use of pasture resources in the Alai valley, Sary-Tash AO Workshop II, キルギスタン・サリタシュ, 口頭
- Liu, J., 2013年8月27日, Changes of vegetation-covered area and grazing intensity in the Alai Valley, the southern Kyrgyz Republic, 8th IAG/International Conference on Geomorphology, フランス・パリ, 口頭
- Liu, J., 2014年3月20日, Changes of vegetation-covered area under different pasture-use seasonality in the Alai Valley in the post-Soviet time, GLP 2nd Open Science Meeting, ドイツ・ベルリン, 口頭
- Liu, J., Song, F., Watanabe, T., 2013年8月6日, A study of grazing intensity on the pasture slopes in the Kyrgyz Pamir, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, 口頭
- Liu, J., Watanabe, T., 2013年10月22日, Examining pastures by grazing intensity in the Kyrgyz Pamir, Bilateral seminar, Lanzhou University, China, 中国・蘭州, 口頭
- Liu, J., Watanabe, T., 2013年10月24日, Examining pastures by grazing intensity in the Kyrgyz Pamir, Bilateral seminar, Xi'an Jialtong University, China, 中国・西安, 口頭
- Liu, Y., 2013年8月6日, Current status and proposal for the sustainable tourism in the Lenin Peak area, southern Kyrgyz Republic, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, 口頭
- Masuma, R., 奥野勉, 蔵崎正明, 2013年7月12日-13日, Effects of *Tinospora cordifolia*, a medicinal herb, on Ultraviolet

- radiation-induced cytotoxicity and DNA damage in PC12 cells (UV照射による細胞毒性およびDNA損傷に対する *Tinospora cordifolia* (葉草) のPC12細胞における影響), 第35回日本光医学・光生物学会, 浜松, 口頭
- Miyahara, I., Watanabe, T., Shirasaka, S., Liu, J., 2013年8月6日, Pattern of travel behavior on foreign tourists in the Pamirs, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, 口頭
- Natalia, F., Tanaka, N., Osaki, M., 2013年12月24日・25日, Sustainability Index for REDD-PLUS Implementation in Central Kalimantan, Indonesia, WASET: World Academy of Science, Engineering and Technology, タイ・バンコク, ポスター
- Niioaka, T., Ohnuki, S., 2013年9月26日, Individual noise responses and task performance and their mutual relationships, XIII Mediterranean Conference on Medical and Biological Engineering and Computing 2013, スペイン・セビリヤ, ポスター
- Niioaka, T., Yamamoto, K., 2014年3月29日, Effect of L-theanine on cognitive-task performance varies individually, 2014 The International Neuroscience Conference, 東京, ポスター
- Orencio, P. M., Fujii, M., 2013年10月9日・10日, Analytic and dynamic approach to knowledge co-production in developing a multi-criteria decision-support tool for local coastal and fisheries management, 5th BFAR- NFRDI Scientific Conference, フィリピン・マニラ, ポスター
- Saito, T., Tanaka, M., Hishioka, N., Sun, Y., Hosokawa, T., Kurasaki, M., 2013年9月10日・11日, The interactions of hydrophobic polyphenol with metal ions have biological effects involving anti-cancer properties, 7th International Workshop on Anthocyanins, ポルトガル・ポルト, ポスター
- Sawagaki, T., Komazawa, K., 2013年11月12日, Preliminary results of the detection of the marginal fluctuation of the Antarctic ice sheet by multi- temporal stereo images in the vicinity of the Syowa Station, The 4th Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Shirasaka, S., Watanabe, T., Liu, J., Song, F., Miyahara, I., 2013年8月6日, Transhumance in the northern part of the Pamirs, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, 口頭
- Siswoyo, E., Endo, N., Mihara, Y., Tanaka, S., 2013年11月8日, Encapsulated Adsorbent in Agar Based on Leaf of *Platanus* sp. to Adsorb Cadmium Ion in water, International Conference of International Water Association (IWA): IWA Metals 2013 "Health Protection&Sustainability through Technical Innovation, 中国・上海, 口頭
- Siswoyo, E., Mihara, Y., Tanaka, S., 2013年5月18日, Development of low cost adsorbent based on sludge of paper industry to adsorb heavy metal ions in water, Annual meeting of Japan analytical chemistry society, 函館, 口頭
- Siswoyo, E., Tanaka, S., 2013年12月13日, Remediation of heavy metal contaminations in water with low cost adsorbent based on solid waste materials, Joint Symposium Hokkaido University-Seoul National University, 韓国・ソウル, 口頭
- Song, F., 2013年10月1日, Characteristics of Kezuu in Sary-Tash for ecotourism, Sary-Tash AO Workshop II, キルギスタン・サリタシュ, 口頭
- Song, F., Liu, J., Shirasaka, S., Miyahara, I., Anaebae, M., Watanabe, T., 2013年8月6日, Characteristics of summer grazing in the Alai valley, southern Kyrgyzstan, before and after the 1991 independence, IGU (国際地理学連合) Kyoto Regional Conference, 京都, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., 2013年4月7日, Warm water and life beneath the grounding zone of an Antarctic outlet glacier, EGU General Assembly 2013, オーストリア・ウィーン, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., Aoki, S., Imura, S., 2013年11月12日, Exploring Antarctic subglacial environment using hot water drilling, The 4th Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Sugiyama, S., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Sawagaki, T., Matsuno, S., Minowa, M., Maruyama, M., Saito, J., Matoba, S., Yamaguchi, S., 2013年11月12日, Mass loss of glaciers and ice caps in northwestern Greenland, The 4th Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Sun, Y., Saito, T., Hosokawa, T., Kurasaki, M., 2013年9月10日・11日, Effects of green tea-derived catechin on epigenetic factors in female infants of pregnancy rats with low-protein diet, 7th International Workshop on Anthocyanins, ポルトガル・ポルト, ポスター
- Tanaka, S., Sasaki, T., Yamashita, A., Terui, N., Hattori, T., 2013年12月10日, Removal of Cesium Ion from Soil by Magnetic Separation using Prussian Blue Modified Magnetite, The 4th International Conference of Science and Engineering (ICSE) 2013, ミャンマー・ヤンゴン, 口頭
- Thapa, B., 2013年10月22日, Effects of the Seti River Disaster (5 May 2012) on downstream communities, Pokhara Nepal, Bilateral seminar, Lanzhou University, China, 中国・蘭州, 口頭
- Thapa, B., 2013年10月24日, Effects of the Seti River Disaster (5 May 2012) on downstream communities, Pokhara Nepal, Bilateral seminar, Xi'an Jialtong University, China, 中国・西安, 口頭
- Tsutaki, S., Sugiyama, S., Sakakibara, D., Sawagaki, T., Maruyama, M., 2013年11月12日, Ice surface elevation change of Bowdoin Gletscher, Greenland, The 4th Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Vipin, A. K., Hu, B., Fugetsu, B., 2013年10月31日, Prussian blue caged in alginate/calcium beads for removal of cesium and strontium ions from water, The 6th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health, 名古屋, 口頭
- Wang, Y., Fugetsu, B., 2013年10月31日, Graphene oxide sheets modulated Ag@AgX@Graphene (X=Cl, Br) nanocomposites, The 6th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health, 名古屋, 口頭
- Watanabe, T., Komatsu, T., Sawagaki, T., Obata, T., Kobayashi, Y., Hirakawa, K., Izue, T., Nogawa, H., Osawa, T., Hirose, Y., 2013年11月27日・28日, Archiving and utilizing existing publications in Daisetsuzan National Park, Japan, Joint

- Symposium on Environmental Science 2013, Bridging Finland and Japan, フィンランド・ヘルシンキ, ポスター
- Yamahashi, I., Ishikawa, M., Jambaljav, Y., Westermann, S., Etzelmueller, B., 2013年12月20日, Probability mapping of Mongolian permafrost, 2013 International Workshop on Terrestrial Change in Mongolia, 東京, 口頭
- Yustiwati., Kihara, Y., Kuramitz, H., Sazawa, K., Kurasaki, M., Saito, T., Hosokawa, T., Syawal, M. S., Wulandari, L., Hendri, I., Tanaka, S., 2013年9月25日, The Effects of Burning Process on Chemical and Pyrolysis Properties of Humic Acid Extracted from Peat Soil in Central Kalimantan, Indonesia, International Symposium on Wild Fire and Carbon Management in Peat-Forest in Indonesia, インドネシア・パランカラヤ, 口頭
- Yustiwati., Kihara, Y., Kurasaki, M., Saito, T., Hosokawa, T., Syawal, M. S., Wulandari, L., Hendri, I., Tanaka, S., 2013年9月2日, Effects of Forest Fire on Characteristics of Humic Acid, Extracted from Peat Soil in Central Kalimantan, Indonesia, The SWS European Chapter meeting International Conference “Wetland System: ecology, Functioning and Management”, イタリア・パドバ, ポスター
- Yustiwati., Yulianti, N., Hayasaka, H., Tanaka, S., 2013年9月2日, Peat fire and air pollution in Indonesia, case study in Mega Rice Project in Central Kalimantan, Indonesia, The SWS European Chapter meeting International Conference “Wetland System: ecology, Functioning and Management”, イタリア・パドバ, 口頭
- Zulayat, K., Arai, S., 2013年12月12日-14日, Assessment of the Effectiveness of Air Quality Policies in Urumqi, China, 第16回ソウル大学・北海道大学 ジョイントシンポジウム 分科会2 Toward understanding of our environment, 韓国・ソウル, 口頭
- 尹春英, 古川雄大, 中村一樹, 山中康裕, 田中大介, 2013年5月19日-24日, 北海道の自然資源「雪」を通じた環境教育, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 幕張, 口頭
- 澤柿教伸, 駒沢皓, 三浦英樹, 2014年3月27日, 南極・昭和基地周辺の空中写真アーカイブデータ発掘とステレオペア画像を用いた氷床表面標高変化の検出, 日本地理学会春季学術大会, 東京, 口頭

地球圏科学専攻

- Fujiyoshi, R., Sugimoto, A., 2013年5月20日-23日, Comparative research on nitrogen dynamics with nitrogen isotope ratio of plant and soil among ecosystems, 日本地球惑星科学連合 2013年度連合大会, 千葉, ポスター
- Fukamachi, Y., Simizu, D., Ohshima, K. I., Iwamoto, K., Eicken, H., and Mahoney, A. R., 2014年3月13日, Characteristics of sea-ice draft revealed by a moored ice-profiling sonar in the Chukchi Sea off Barrow, Alaska, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Greve, R., Sato, T., Galton-Fenzi, B., 2013年12月11日, Simulations of the Antarctic ice sheet in past and future climates with the model SICOPOLIS, using a simple parameterisation of ice-shelf basal melting, AGU Fall Meeting, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Ito, K., and Nakamura, T., 2014年2月24日, Vortex and internal waves interactions, 2014 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Ito, M., Ohshima, K. I., Fukamachi, Y., Simizu, D., Iwamoto, K., Matsumura, Y., Mahoney, A. R. and Eicken, H., 2014年2月19日, A study of formation processes of supercooled water and frazil ice in a coastal polynya, The 29th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea Ice, 紋別, 口頭
- Ito, M., Ohshima, K. I., Fukamachi, Y., Simizu, D., Iwamoto, K., Matsumura, Y., Mahoney, A. R. and Eicken, H., 2014年3月10日, A study of formation processes of supercooled water and frazil ice in a coastal polynya, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Kanna, N., Toyota, T., Nishioka, J., 2014年2月26日, The impact of sea ice melting on the macro- and micro-nutrient conditions and on the community composition of phytoplankton, Ocean Science meeting, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Koda, H., and Toyota, T., 2014年2月19日, The formation process of granular ice of the seawater in laboratory experiments, The 29th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea Ice, 紋別, 口頭
- Kusahara, K., Sato, T., Hasumi, H., Greve, R., 2013年11月13日, 最終氷期における南極棚氷底面融解に関する数値モデリング, Fourth NIPR Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Kusahara, K., Sato, T., Hasumi, H., Greve, R., 2014年3月10日, Modeling sea-ice extent and basal melting of Antarctic ice shelves at the Last Glacial Maximum, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, ポスター
- Liang, M., Sugimoto, A., Tei, S., Maximov, T. C., Kiyashko, S., Velivetskaya, T. A., Ignatiev, A. V., 2013年5月21日, Nitrogen as a controlling factor of larch growth in taiga-tundra ecotone in arctic region, northeastern Siberia, Japan Geoscience Union Meeting 2013 0519-0524, 千葉, ポスター
- Mahoney, A. R., Eicken, H., Fukamachi, Y., Ohshima, K. I., Simizu, D., Kambhamettu, C., MV, R., Hendricks, S. and Jones, J., 2014年3月13日, Taking a look at both sides of the ice: comparing ice thickness and drift speed as observed from above and below sea ice near Barrow, Alaska, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Matsuda, J., Mitsudera, H., Nakamura, T., Hasumi, H., and Sasajima, Y., 2014年2月26日, Thermohaline circulation system from the Bering Sea to the North Pacific via the Sea of Okhotsk, 2014 Ocean Sciences Meeting, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Nakata, K., Ohshima, K. I., Nihashi, S., Kimura, N., and Tamura, T., 2014年3月13日, Variability mechanism and ice production budget of the Ross Ice Shelf polynya, Antarctica, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing

- Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Nihashi, S., and Ohshima, K. I., 2014年3月10日, Mapping of Antarctic coastal polynyas and landfast sea ice from AMSR-E, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Nomura, D., Yoshikawa-Inoue, H., Nakaoka, S., Kobayashi, S., and Hashida, G., 2013年6月3日-7日, CO₂ dynamics of seawater in the seasonal ice zone, 9th International Carbon Dioxide Conference, 中国・北京, ポスター
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., and Hansson, M., 2014年1月20日-23日, Chemical compositions of soluble aerosols in Greenland, CRAICC workshops, Helsinki/Finland, フィンランド・ヘルシンキ, 口頭
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T., Leuenberge, D., Fischer, H., Schupbach, S., Gfeller, G., Mulvaney, R., and Hansson, M., 2013年11月12日-13日, Chemical compositions of soluble aerosols around the last termination in the NEEM (Greenland) ice core, Third Annual Assembly Top Level Research Initiative (TRI) Interaction between Climate Change and the Cryosphere (ICCC), スウェーデン・ルンド, 口頭
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T., Leuenberge, D., Fischer, H., Schupbach, S., Gfeller, G., Mulvaney, R., and Hansson, M., 2013年4月8日-12日, Chemical compositions of soluble aerosols around the last termination in the NEEM (Greenland) ice core, EGU General Assembly 2013, オーストリア・ウィーン, 口頭
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T., Leuenberge, D., Fischer, H., Schupbach, S., Gfeller, G., Mulvaney, R., and Hansson, M., 2013年8月21日-23日, Soluble aerosols compositions reconstructed from NEEM (Greenland) deep ice core, CRAICC annual meeting 2013, オーフス・デンマーク, 口頭
- Oyabu, I., Iizuka, Y., Karlin, T., Fukui, M., Hondoh, T., Leuenberge, D., Fischer, H., Schupbach, S., Gfeller, G., Mulvaney, R., and Hansson, M., 2013年8月25日-30日, Chemical compositions of soluble aerosols around the last termination in the NEEM (Greenland) ice core, goldschmidt 2013, イタリア・フィレンツェ, 口頭
- Park, Y. H., Yamamoto, M., Nam, S. I., Polyak, L., 2013年12月11日, The Holocene records of glycerol dialkyl glycerol tetraethers from the northern Chukchi Sea, American Geophysical Union Fall Meeting 2013, アメリカ・サンフランシスコ, ポスター
- Pokhrel, A., 河村公隆, 関幸, 白岩孝行, 2014年3月5日-6日, Climate signals recorded in dicarboxylic acids, ketocarboxylic acids and α -dicarbonyls from the Kamchatka-Peninsula ice core (1500-1996): Implications for climate change, 研究集会「極域における過去の気候・環境変動」, 札幌, 口頭
- Sato, T., 2014年2月13日, Sub-ice-shelf melt rate parameterization and its implication on mass balance of the Antarctic ice shelves, JSPS Project Workshop on Simulation of the Evolution and Dynamics of the Antarctic Ice Sheet in Past and Future Climates, 札幌, 口頭
- Sato, T., Galton-Fenzi, B., Greve, R., 2013年7月8日, A simple parameterisation of ice shelf basal melting and its implementation in the ice sheet model SICOPOLIS, DACA-13 (Davos Atmosphere and Cryosphere Assembly), スイス・ダボス, 口頭
- Sato, T., Galton-Fenzi, B., Greve, R., 2014年3月13日, A simple parameterization of sub-ice-shelf melting constrained by results from the ocean model ROMS, and its implementation in the ice sheet model SICOPOLIS, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, ポスター
- Sato, T., Greve, R., 2013年11月13日, 南極氷床・棚氷末端での融解、カービングによる質量損失が棚氷・氷床に与える影響, Fourth NIPR Symposium on Polar Science, 東京, ポスター
- Sato, T., Greve, R., Galton-Fenzi, B., Warner, R., 2013年5月18日, 棚氷底面融解量のパラメタリゼーションによる氷床海洋相互作用の研究, 日本雪氷学会北海道支部・支部研究発表会, 札幌, 口頭
- Sato, T., Greve, R., Galton-Fenzi, B., Warner, R., 2013年9月18日, 海洋モデル結果を考慮した棚氷融解量のパラメタリゼーションと南極氷床変動への影響, 日本雪氷学会・雪氷研究大会, 北見, 口頭
- Shingubara, R., Iwahana, G., Takano, S., Nakamura, M., Maximov, T., Sugimoto, A., 2013年5月20日-23日, Vegetation distribution along environmental gradient at Taiga-Tundra boundary ecosystem in Eastern Siberia, 日本地球惑星科学連合 2013年度連合大会, 千葉, ポスター
- Sugidachi, T., Arai, T., Fujiwara, M., Shimizu, K., Ibata, K., Kanai, Y., Okumura, S., Sagara, K., Hayashi, M., 2013年12月13日, Development of a Peltier-based chilled-mirror hygrometer and cloud particle counter for balloon-born TTL observation, AGU Fall Meeting 2013, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Sugimoto, F., Shimoda, H., Simizu, D., Uto, S., Tateyama, K., Hoshino, S., Ozeki, T., Tamura, T., Fukamachi, Y., Ushio, S., and Ohshima, K. I., 2014年3月10日, Distribution and interannual variability of sea-ice thickness in the pack-ice zone off Lützow-Holm Bay, Antarctica, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, ポスター
- Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., Aoki, S., 2013年4月7日-12日, Warm water and life beneath the grounding zone of an Antarctic outlet glacier, 欧州地球科学連合大会, オーストリア・ウィーン, 口頭
- Sugiyama, S., Sawagaki, T., Fukuda, T., Aoki, S., Imura, S., 2013年11月12日-15日, Exploring Antarctic subglacial environment using hot water drilling, 第4回極域科学シンポジウム, 東京, 口頭
- Sugiyama, S., Tsutaki, S., Sakakibara, D., Sawagaki, T., Matsuno, S., Minowa, M., Maruyama, M., Saito, J., Matoba, S., Yamaguchi, S., 2013年11月12日-15日, Mass loss of glaciers and ice caps in northwestern Greenland, 第4回極域科学シンポジウム, 東京, 口頭
- Suzuki, K., 2014年2月15日, Surface ocean current and ice drift in the Northwind and Chukchi basins in the western Arctic Ocean during the last 76,000 years, International Joint Workshop: Recent developments in Paleoenvironmental studies, 札幌, ポスター

- Suzuki, K., Endo, H., Sugie, K., Yoshimura, T., 2013年10月3日-4日, Responses of spring diatom assemblages in Oyashio waters of the western subarctic Pacific to CO₂ availability as estimated from molecular markers, The 6th China-Japan-Korea IMBER Symposium, 東京, 口頭
- Tamura, T., Ohshima, K., Lieser, J., Toyota, T., Tateyama, K., Nomura, D., Nakata, K., Fraser, A., Jansen, P., Newbery, K., Massom, R. and Ushio, S., 2014年3月11日, Helicopter-borne observation with portable microwave radiometer in the Southern Ocean and the Sea of Okhotsk, IGS International Symposium on Sea Ice in a Changing Environment, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Tanaka, K., Kuma, K., Hamasaki, K., Nagata, T., Yamashita, Y., 2013年10月3日-4日, Accumulation of humic-like fluorescent dissolved organic matter in the Japan Sea Proper Water, The 6th China-Japan-Korea IMBER symposium, 東京, 口頭
- Tanimoto, Y., Muranaka, R., Igari, Y., 2013年10月24日, Vertical structures in temperature and momentum in the atmospheric boundary layer along SST front, Sixth China-Korea-Japan Joint Conference, 中国・南京, 口頭
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Maximov, T. C., 2013年5月20日-23日, 過去100年の気候変動に対する東シベリアタイガ林の応答の変化, 日本地球惑星科学連合 2013年度連合大会, 千葉, ポスター
- Tei, S., Sugimoto, A., Yonenobu, H., Maximov, T. C., 2013年11月12日-15日, Tree-ring delta-13C and tree growth over the past 150 years at two larch forests in eastern Siberia, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- Toyota, T., and Kimura, N., 2014年3月13日, On the validity of Hibler's sea-ice rheology for the seasonal sea ice evaluated from ice-drift pattern and SAR-derived ice thickness distribution, 国際雪氷学会, オーストラリア・ホバート, 口頭
- Wang, K., Tada, R., Zheng, H., Irino, T., Sugisaki, S., and Saito, K., 2013年11月12日, Preliminary result of provenance study of quartz in the sediments from the Yangtze River Delta, 4th Annual Symposium of IGCP-581 on "Evolution of Asian river systems - Tectonics, landscape and the river systems of Asia," , ベトナム・ハノイ, ポスター
- Wang, K., Zheng, H., Tada, R., and Irino, T., 2013年5月21日, Variation in the Yangtze River discharge during the Holocene based on sedimentological records from the East China Sea, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 千葉, 口頭
- Yamamoto, M., Nam, S. I., Kobayashi, D., Irino, T., Park, Y. H., 2013年12月12日, Changes in the Bering Strait Inflow during the Holocene, American Geophysical Union Fall Meeting 2013, アメリカ・サンフランシスコ, 口頭
- Zhang, W., Fukumachi, Y., and Ebuchi, Y., 2013年7月4日, Estimation of wind drift current in the Soya Strait, 研究集会「宗谷暖流を始めとした対馬暖流系の変動メカニズム」, 札幌, 口頭
- Zhang, W., Fukumachi, Y., and Ebuchi, N., 2013年12月18日, Estimation of wind drift current in the Soya Strait, 研究集会「海洋レーダーを用いた海況監視システムの開発と応用」, 春日, 口頭
- Zhang, W., Fukumachi, Y., and Ebuchi, N., 2013年9月18日, Estimation of wind drift current in the Soya Strait, 日本海洋学会, 札幌, 口頭
- Zhu, C., Yoshikawa-Inoue, H., and Tohjima, Y., 2013年6月3日-7日, Temporal variations in atmospheric CO₂ on Rishiri Island in 2006-2012, 9th International Carbon Dioxide Conference, 中国・北京, ポスター
- 青木邦弘, 久保川厚, 古恵亮, McCreary, J., 佐々木英治, 2013年9月18日, 密度座標系での層厚重み付け平均における渦度フラックスの準地衡流近似, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, ポスター
- 阿部祥子, 中村知裕, 三寺史夫, 2014年3月28日, 海底上ジェットの不安定, 2014年度 日本海洋学会 春季大会, 東京, 口頭
- 新井徹, 杉立卓治, 藤原正智, 清水健作, 奥村聡, 林真由美, 2013年5月15日-18日, 花粉センサを利用した雲粒子ゾンドの開発, 日本気象学会2013年度春季大会, 東京, ポスター
- 猪狩義貴, 谷本陽一, 2013年10月27日, 水温前線によって変調された海上風が海洋に与える影響, 2013年大気海洋相互作用に関する研究会, 京都, 口頭
- 猪狩義貴, 谷本陽一, 2014年1月10日, 水温前線によって変調された海上風が海洋に与える影響, 2013年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議, 東京, ポスター
- 猪狩義貴, 谷本陽一, 2014年3月29日, 水温前線によって変調された海上風が海洋混合層に与える影響, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, ポスター
- 伊藤薫, 中村知裕, 2013年9月18日, 渦と内部波の相互作用, 2013年度 日本海洋学会 秋季大会, 札幌, 口頭
- 伊藤優人, 大島慶一郎, 深町康, 清水大輔, 岩本勉之, 松村義正, Mahoney A. R., Eicken, H., 2013年9月20日, 沿岸ポリニヤにおける過冷却水およびフラジリアイス生成過程についての研究, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭
- 伊藤優人, 大島慶一郎, 深町康, 清水大輔, 岩本勉之, 松村義正, Mahoney, A. R., Eicken, H., 2013年11月12日, 沿岸ポリニヤにおける過冷却水およびフラジリアイス生成過程についての研究, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター
- 伊藤昌雅, 渡辺豊, 重光雅仁, 田中伸一, 西岡純, 2013年9月17日-21日, オホーツク海における地球化学トレーサーを用いた脱窒の定量化に向けての試み, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭
- 伊東素代, 菊地隆, 深町康, Pickart, R., 大島慶一郎, 清水大輔, Arrigo, K., Vagle, S., He, J., Ashjian, C., 2013年9月20日, 2010年夏季北極海パロー海底谷における熱輸送, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭
- 伊藤素代, 菊地隆, 深町康, Pickart, R., 大島慶一郎, 清水大輔, Arrigo, K., Vagle, S., He, J., Ashjian, C., 2013年9月20日, 2010年夏季北極海パロー海底谷における熱輸送, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭
- 江淵直人, 阿部泰人, 2013年10月22日, Aquariusによって観測された海面塩分の精度評価(II), 海洋理工学会, 京都, 口頭
- 遠藤寿, 杉江恒二, 神村章子, 鈴木光次, 2013年9月4日-5日, Ion PGMアンプリコンシーケンシングを用いた海洋植物プランクトン群集の多様性解析, NGS現場の会 第三回研究会, 神戸, ポスター
- 大島慶一郎, 深町康, Williams, G. D., 二橋創平, 北出裕二郎, 平野大輔, 田村岳史, 青木茂, 若土正暁, 2013年9月19日, 第4の南極底層水: Cape Danley Bottom Water, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

大橋良彦, 杉山慎, 2013年9月17日-21日, グリーンランド氷床沿岸の海洋におけるChl-a濃度, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 北見, ポスター

小野数也, 大島慶一郎, 河野時廣, 安田一郎, 勝又勝郎, 若土正暁, 2013年9月18日, ブッソル海峡における鉛直拡散係数の鉛直構造, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平, 2013年11月12日, 夏季北極海の海水融解に対するice-ocean albedo feedbackの効果, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター

柏瀬陽彦, 大島慶一郎, 二橋創平, 2013年9月20日, 夏季北極海の海水融解に対するice-ocean albedo feedbackの効果, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

唐木達郎, 三寺史夫, 黒田寛, 2014年3月29日, 北海道沿岸海洋の縦に立った密度構造と、それに伴うジェットについて, 日本海洋学会2014年春季大会, 東京, 口頭

漢那直也, 村山愛子, 豊田威信, Volkov, Y. N., 西岡純, 2014年3月29日, オホーツク海表層への鉄の輸送及び植物プランクトンの増殖に海水が果たす役割, 2014年日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

漢那直也, 豊田威信, 西岡純, 2014年3月29日, 海水融解が海洋表層の栄養環境と植物プランクトンの増殖に与える影響, 日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

北出裕二郎, 嶋田啓資, 田村岳史, 深町 康, 青木茂, 牛尾収輝, 大島慶一郎, 2013年9月19日, ビンセネス湾ポリニヤにおける高密度陸棚水の生成について, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

草原和弥, 大島慶一郎, 2013年9月19日, 南極周りのケルビン波, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

幸田笹佳, 豊田威信, 2013年11月15日, 室内実験における海水granular iceの生成過程, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター

斉藤潤, 榊原大貴, 箕輪昌紘, 津滝俊, 澤柿教伸, 杉山慎, 2013年9月17日-21日, グリーンランド北西部における氷河・氷帽の表面高度変化, 日本雪氷学会全国大会, 北見, ポスター

佐伯立, 三寺史夫, 藤崎歩美, 豊田威信, 木村詞明, 浮田甚郎, 2014年3月27日, アイスバンド形成に関する理論と衛星観測の比較, 日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

榊原大貴, 杉山慎, 2013年11月12日-15日, グリーンランド北西部におけるカービング氷河の末端変動と流動変化, 第4回極域科学シンポジウム, 東京, ポスター

榊原大貴, 杉山慎, 2013年9月17日-21日, グリーンランド北西部におけるカービング氷河の末端変動と流動変化, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 北見, ポスター

榊原大貴, 杉山慎, 2013年9月17日-21日, 南パタゴニア氷原におけるカービング氷河の末端変動と流動変化, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 北見, 口頭

朱春茂, 吉川久幸, 入野智久, 遠嶋康徳, 2013年9月11日, 利尻で観測したBlack Carbon の変動について, 日本地球化学会第60回年会, つくば, ポスター

新宮原諒, 杉本敦子, 村瀬潤, 鄭峻介, 鷹野真也, 両角友喜, 岩花剛, Maximov, T., 2013年11月12日-15日, 炭素・水素安定同位体比から見たインディギルカ川下流タイガ-ツンドラ境界域におけるメタン放出過程, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター

杉江恒二, 鈴木光次, 2013年9月17日-21日, 北太平洋外洋域における珪藻群集の細胞サイズと多様性, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

杉立卓治, 新井徹, 藤原正智, 清水健作, 井端一雅, 金井良之, 奥村聡, 相良一生, 林真由美, 2013年6月24日, 高精度水蒸気ゾンデおよび雲ゾンデの開発, 日本気象学会北海道支部 平成25年度 第1回研究発表会, 札幌, 口頭

杉立卓治, 藤原正智, 清水健作, 井端一雅, 金井良之, 2013年5月15日-18日, 気候監視のためのラジオゾンデ用水蒸気センサの開発 (第2報), 日本気象学会2013年度春季大会, 東京, ポスター

杉立卓治, 藤原正智, 清水健作, 井端一雅, 金井良之, 2013年5月20日, 気候監視のためのラジオゾンデ用鏡面冷却式露点計の開発, 日本地球惑星科学連合2013年大会, 千葉, 口頭

杉本風子, 下田春人, 清水大輔, 宇都正太郎, 館山一孝, 星野聖太, 尾関俊浩, 田村岳史, 深町康, 牛尾収輝, 大島慶一郎, 2013年9月19日, 昭和基地沖流水域での海水厚観測, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

杉山慎, 澤柿教伸, 内藤望, 榊原大貴, 箕輪昌紘, 武藤みなみ, 2013年9月17日-21日, 南パタゴニア氷原の3つのカービング氷河における短期流動変化の同時測定, 日本雪氷学会全国大会, 北見, 口頭

鈴木健太, 2014年3月5日, 過去76,000年間の西部北極海海流変動, 低温研究所研究集会「極域における過去の気候・環境変動」, 札幌, 口頭

鈴木健太, 山本正伸, 南承一, 入野智久, 2014年1月7日, 西部北極海最終氷期以降の古環境復元, 2013年古海洋シンポジウム, 柏, 口頭

鈴木光次, 神村章子, 杉江恒二, 遠藤寿, 平田貴文, 齊藤宏明, 2014年3月26日-30日, 秋季九州南部黒潮域におけるハプト藻類の組成の特徴, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

鈴木光次, 杉江恒二, 平田貴文, 神村章子, 中村翠珠, 遠藤寿, 齊藤宏明, 2013年9月17日-21日, 秋季九州南部黒潮域における植物プランクトン群集構造の特徴, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

関宰, 河村公隆, 伊澤祐介, 白岩孝行, 藤井理行, 2014年3月5日-6日, 北半球のアイスコアから復元した過去数百年間の有機エアロゾル濃度の変動, 研究集会「極域における過去の気候・環境変動」, 札幌, 口頭

関宰, 三上裕, 長尾誠也, Bendle, J., Kim, V. I., Shesterkin, V. P., Makinov, A. N., 福島正己, 2013年12月1日, オホーツク海に供給される陸起源粒状有機物の起源, 陸域と大洋間における縁辺海の自然科学的な機能と人間活動への役割に関する研究集会, 札幌, 口頭

鷹野真也, 岩花剛, Bragin, I., 鄭峻介, 新宮原諒, 杉本敦子, Maximov, T. C., 2013年11月12日-15日, 水安定同位体比を用い

た東シベリア北極圏における凍土の氷の起源と形成過程, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター

鷹野真也, 岩花剛, 鄭峻介, 新宮原諒, 杉本敦子, 2013年5月20日-23日, 東シベリアタイガーツンドラ境界における凍土及び表面水の氷安定同位体比の観測, 日本地球惑星科学連合 2013年度連合大会, 千葉, ポスター

田中和樹, 久万健志, 浜崎恒二, 永田俊, 山下洋平, 2013年12月5日-6日, 日本海の観測から評価できた溶存有機物動態, 低温研萌芽研究シンポジウム「縁辺海の自然科学的な機能と人間活動への役割」, 札幌, 口頭

田中和樹, 久万健志, 浜崎恒二, 永田俊, 山下洋平, 2013年9月17日-21日, 日本海における蛍光性溶存有機物の分布, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, ポスター

谷平洋介, 上野洋路, 細田滋毅, 2013年9月18日, 北太平洋中高緯度域における混合層熱収支, 北太平洋中央部における冬季混合層特性の時空間変動, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, ポスター

田村岳史, 大島慶一郎, Lieser, J. L., 豊田威信, 舘山一孝, 野村大樹, 中田和輝, Fraser, A. D., Jansen, P., Newbery, K., Massom, R. A., 牛尾収輝, 2013年11月15日, ヘリ搭載型マイクロ波放射計を用いた南大洋・オホーツク海での海水観測, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭

豊田威信, 野村大樹, 2014年1月24日, 海水コアサンプルから見た昭和基地周辺の定着氷の特性, 昭和基地周辺の海水変動特性の解析に関する研究集会, 立川, 口頭

二橋創平, 大島慶一郎, 2013年11月15日, AMSER-Eデータを用いた南極海の沿岸ポリニヤと定着氷のマッピング, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, 口頭

二橋創平, 大島慶一郎, 2013年9月19日, AMSER-Eデータを用いた南極海の沿岸ポリニヤと定着氷のマッピング, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

野坂裕一, 鈴木光次, 山下洋平, 2013年9月17日-21日, 親潮産珪藻株 *Thalassiosira nordenskiöldii* の溶存態有機炭素 (DOC) 生産と透明細胞外重合体粒子 (TEP) の形成, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

野村大樹, Delille, B., Tison, J.-L., Dieckman, G. S., 吉川久幸, 大島慶一郎, 田村岳史, 2014年3月27日, 厳冬期南極海における海水-大気間の二酸化炭素フラックス測定, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

林侑斗, 藤吉康志, 2014年2月20日, Formation mechanism and structure of snow bands developed from Hokkaido coast of the Sea of Okhotsk, 28th International Symposium on Okhotsk Sea & Sea ice, 紋別, 口頭

平田貴文, Hardman-Mountford, N., Aiken, J., Barlow, R., Bernard, S., 増田良帆, 杉江恒二, Fishwick, J., Martinez-Vicente, V., Brewin, R. W. J., 鈴木光次, 山中康裕, 村上浩, 2013年9月17日-21日, 海色観測による植物プランクトン群集別モード粒径の推定, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, ポスター

平田貴文, 杉江恒二, 鈴木光次, 齊藤宏明, 日高清隆, 廣江豊, 小松幸生, 長井健容, 岡崎雄二, 宮本洋臣, 2014年3月26日-30日, 水色衛星リモートセンシングによる黒潮域の植物プランクトングループ別一次生産速度の推定, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

深町康, 大島慶一郎, 清水大輔, 伊藤優人, 岩本勉之, 松村義正, Eicken, H., Mahoney, A. R., 2014年3月26日, アラスカバロー沖チャクチ海ポリニヤにおける海水・海洋の係留観測, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, 口頭

深町康, 大島慶一郎, 清水大輔, 伊藤優人, 岩本勉之, 松村義正, Eicken, H., Mahoney, A. R., 2014年3月26日, アラスカバロー沖チャクチ海ポリニヤにおける海水・海洋の係留観測, 日本海洋学会2014年度春季大会シンポジウム「北極海における海洋海水変動とその将来予測」, 東京, 口頭

福田武博, 杉山慎, 澤柿教伸, 中村和樹, 2013年9月17日-21日, 南極・ラングホブデ氷河の末端位置・流動速度・表面標高の変化, 日本雪氷学会全国大会, 北見, 口頭

松田淳二, 笹島雄一郎, 三寺史夫, 中村知裕, 羽角博康, 若土正暁, 2013年9月18日, 高解像度モデルによって見えてきたオホーツク海熱塩循環システムの描像, 2013年度日本海洋学会 秋季大会, 札幌, 口頭

丸山未妃呂, 津滝俊, 杉山慎, 松野智, 澤柿教伸, 榊原大貴, 2013年9月17日-21日, グリーンランド北西部カナック氷帽における現地観測, 日本雪氷学会 雪氷研究大会, 北見, 口頭

三島翼, 服部寛, 遠藤寿, 本川正三, 飯田高大, 栗原晴子, 橋田元, 鈴木光次, 西岡純, 田口哲, 佐々木洋, 2013年9月17日-21日, 南極海の酸性化が珪藻類におよぼす影響評価, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

箕輪昌紘, 榊原大貴, 杉山慎, 澤柿教伸, Skvarca, P., 2013年5月17日-18日, 南パタゴニア氷原ペリート・モレノ氷河とアメギノ氷河における近年の末端変動と氷厚変化, 日本雪氷学会 北海道支部 研究発表会, 札幌, 口頭

箕輪昌紘, 杉山慎, Skvarca, P., 2013年9月17日-21日, 南パタゴニア氷原ペリート・モレノ氷河における氷河末端位置の季節変動, 日本雪氷学会全国大会, 北見, 口頭

箕輪昌紘, 杉山慎, 澤柿教伸, 内藤望, 榊原大貴, 武藤みなみ, Skvarca, P., 2013年9月17日-21日, 南パタゴニア氷原ヴィエドマ氷河前縁湖における観測, 日本雪氷学会全国大会, 北見, ポスター

宮崎真, 鄭峻介, ブラギン, I., 鷹野真也, 新宮原諒, 両角友喜, 杉本敦子, マキシモフ, T., 2013年9月17-21日, GRENE-TEA シベリア北東部タイガ・ツンドラ境界域フラックス観測, 日本雪氷学会, 北見, ポスター

村瀬潤, 杉本敦子, 新宮原諒, トロフィーム, C, マキシモフ, 2013年11月12日-15日, 北東シベリアタイガ-ツンドラ境界域湿地土壌のメタン酸化ポテンシャル, 第4回極域科学シンポジウム, 立川, ポスター

森文洋, 下山宏, 渡辺力, 2014年3月21日, 可視化技術を用いた地表面近傍における乱流観測, 日本農業気象学会2014年全国大会, 札幌, 口頭

山本正伸, 小林大祐, 入野智久, 朴惟賢, 南承一, Leonid, Polyak., 原田尚美, 長島佳奈, 知北和久, 2013年5月21日, チュクチ海コアの鉱物組成からみた最終氷期以降の北極海海流変動, 地球惑星科学連合, 千葉, ポスター

山本正伸, 南承一, 小林大祐, 入野智久, 2014年1月7日, ベーリング海峡通過流の完新世変動, 2013年古海洋シンポジウム, 柏, 口頭

吉川久幸, 遠嶋康徳, 入野智久, 朱春茂, 2013年11月12日, 北海道利尻島で観測された大気中のCO₂、CH₄、COとBlack Carbon

の変動, 第4回極域科学シンポジウム, 東京, ポスター

吉田 悦, 亀山 宗彦, 谷本浩志, 奥沢和浩, 猪俣 敏, 鈴木 光次, 吉川 久幸, 2013年9月13日, 南大洋インド洋区における海洋表層中イソプレン濃度の高分解能測定, 日本地球化学会第60回年会, つくば, 口頭

吉村 志穂, 谷本 陽一, 2013年10月26日, 熱帯域の対流活動による気圧場への遠隔作用とそれに伴う大気と海洋の長期変動, 2013年大気海洋相互作用に関する研究会, 京都, 口頭

吉村 志穂, 谷本 陽一, 2014年1月10日, 熱帯域の対流活動による気圧場への遠隔作用とそれに伴う大気と海洋の長期変動, 2013年度新学術領域「中緯度海洋と気候」全体会議, 東京, ポスター

吉村 志穂, 谷本 陽一, 2014年3月29日, ENSOに伴うインド洋の対流活動と亜熱帯西北部太平洋の大気変動との関係, 2014年度日本海洋学会春季大会, 東京, ポスター

渡辺 豊, 重光 雅仁, 2013年9月17日-21日, 海洋における人間活動起源窒素の見積り, 2013年度日本海洋学会秋季大会, 札幌, 口頭

生物圏科学専攻

Aibara, I., 2013年11月27日-28日, Boron-dependent post-transcriptional regulations of boron transporter BOR1 in *Arabidopsis thaliana*, Joint Symposium on Environmental Science 2013—Bridging Finland and Japan—, フィンランド・ヘルシンキ, ポスター

Aibara, I., Hirai, T., Miwa, K., 2013年8月17日-18日, Role of 5'UTR in boron-dependent translation of BOR1, a boron transporter in *Arabidopsis thaliana*, BORON2013, トルコ・イスタンブール, 口頭

Aibara, I., Hirai, T., Miwa, K., 2013年8月19日-22日, Role of 5'UTR in boron-dependent translation of BOR1, a boron transporter in *Arabidopsis thaliana*, XVII. International Plant Nutrition Colloquium, トルコ・イスタンブール, ポスター

Aibara, I., Hirai, T., Miwa, K., 2014年3月18日-20日, Upstream open reading frames regulate boron-dependent translation of a boron transporter BOR1, 第55回日本植物生理学会年会, 富山, 口頭

Araki H., Fujiwara, S., Jishi, T., Fujii, M., Yokota, T., and Nishida, T., 2013年10月7日, Winter production of green asparagus by using surplus heat from machinery room and used hot water from hotel's spa, Greensys 2013, 韓国・済州, 口頭

Araki H., Jishi, T., and Nakano, H., 2013年10月16日, Green asparagus productivity of matured plants in 3rd IACT in Hokkaido, cool and snow cover region in Japan, 13th International Asparagus Symposium, 中国・江西, ポスター

Araki H., Jishi, T., Fujiwara, S., Fujii, M., Yokota, T., and Nishida, T., 2013年10月16日, Green asparagus production by used hot water from hotel's spa, 13th International Asparagus Symposium, 中国・江西, ポスター

Araki H., Nakano, H., Ichikawa, S., Kawai, T., Jishi, T., Yamagata, S., and Kamide, M., 2013年10月16日, Winter asparagus production with hot water heated by pellets boiler, 13th International Asparagus Symposium, 中国・江西, 口頭

Araki H., Nakano, H., Ichikawa, S., Kawai, T., Jishi, T., Yamagata, S., and Kamide, M., 2013年10月16日, Pellet production from asparagus fern residue and its combustion in the boiler, 13th International Asparagus Symposium, 中国・江西, ポスター

Bin, Haji, Mohd, Taha, A.I., Okuyama, H., 2013年12月13日, Studies on the practical production of docosaheptaenoic acid using thraustochytrid microorganisms, 第16回ソウル大学・北海道大学合同シンポジウム, 韓国・ソウル, 口頭

Ernest, Y. C., Marcus, W., and Ueda, H., 2014年3月27日, Chum salmon (*Oncorhynchus keta*) homing behavior towards dissolved free amino acids of the Ishikari River watershed, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

Fan, M., Shibata, H., 2014年3月20日, Optimal conservation planning of multiple ecosystem services under land use and climate changes in Teshio river watershed, northernmost of Japan, The 2nd Open Science Meeting of Global Land Project, ドイツ・ベルリン, ポスター

Fukuma, K., Fujiwara, T., Miwa, K., 2013年8月17日-18日, Identification of a novel gene to reduce boron requirement in *Arabidopsis thaliana*, BORON2013, トルコ・イスタンブール, 口頭

Fukuma, K., Fujiwara, T., Miwa, K., 2013年8月19日-22日, A novel strategy for identification of genes to improve boron use efficiency in *Arabidopsis thaliana*, XVII. International Plant Nutrition Colloquium, トルコ・イスタンブール, 口頭

Hakuman, T., Takahashi, N., Takaishi, M., Miyazawa, N., Hirosaki, Y., Katakura, S., Miyashita, K., Mitani, Y., 2013年12月10日, Movements and diel changes in diving behaviour of rehabilitated spotted seal pups in the Sea of Okhotsk, 20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, ニュージーランド・ダニーデン, ポスター

Hayashida, K., Miyoshi, K., Yabe, H., and Ueda, H., 2013年7月16日, Functional evaluation of two fish passages at the kyu-Hanazono Headworks, Hokkaido, Japan, 2nd International Conference on Fish Telemetry, 南アフリカ・グラハムズタウン, ポスター

Hayashida, K., Nii, H., Miyoshi, K., Hayama, H., and Ueda, H., 2013年8月17日, Biotelemetry studies on the upstream migratory behavior of masu salmon along the Pirika Dam in Hokkaido, Japan, 9th International Workshop on Salmonid Smoltification, アイスランド・ホウラル, ポスター

Honda, K., Uy, W. H., Baslot, D. I., Pantallano, A. D. S., Nakamura, Y., Nakaoka, M., 2013年11月26日-27日, Movements of several commercial fishes between coral reef and seagrass bed inside and outside a marine protected area in the Philippines, International Symposium on Connectivity of Hills, Humans and Oceans, 京都, ポスター

Ishiyama, H., Ueno, H., Inatsu, M., 2014年2月, GLOBAL DISTRIBUTION OF MERGERS AND SPLITS OF MESOSCALE EDDIES, 2014 Ocean Science Meeting, アメリカ・ホノルル, 口頭

- Iwahara, Y., Matsuno, K., Sekiguchi, K., Yamaguchi, A., Uyama, T., *Miyashita, K., Mitani, Y.*, 2013年12月12日, Baleen whale aggregations related with Euphausiids distributions in the Chukchi Sea, 20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, ニュージーランド・ダニーデン, ポスター
- Iwahara, Y., Nishizawa, B., Sekiguchi, K., Watanuki, Y., *Miyashita, K.*, and *Mitani, Y.*, 2013年11月5日, Spatial relationship between gray whale and zooplankton in the Bering and Chukchi Seas in early summer of 2013 using a quantitative echosounder. The Seventh Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustics Society, 東京, 口頭
- Kaneko, K., *Washio, K., Umezawa, T., Matsuda, F., Morikawa, M., Okino, T.*, 2013年9月16日, Vanadium dependent bromoperoxidase from the red alga *Laurencia nipponica*, 14th International Symposium on Marine Natural Products, スペイン・ガルシア, ポスター
- Kao, W. Y., Tomiyasu, M., Takahashi, R., Ogawa, M., Hirose, T., Kurosaka, K., Tsuru, S., Sanada, Y., Minami, K., and *Miyashita, K.*, 2013年11月5日-6日, Spatial and temporal distribution of hairtail (*Trichiurus lepturus*) in Bungo Channel, Japan, The Seventh Annual Meeting of Asian Fisheries Acoustic Society (AFAS2013), 東京, 口頭
- Konoshita, N., Fu, G., Ito, T., *Nagasato, C., Motomura, T.*, 2013年8月8日, Ultrastructural Study of Flagellar Apparatus and Analysis of Flagellar Motion in Brown Algae, 10th International phycological congress, アメリカ・フロリダ, ポスター
- Konoshita, N., Fu, G., Ito, T., *Nagasato, C., Motomura, T.*, 2014年3月29日, Analysis of flagellar motion in brown algal swimmers, *Ectocarpus* 2014, 神戸, ポスター
- Lee, Jin., *Nakamura, M., Hiura, T.*, 2014年3月16日, The effects of N addition on the interaction between leaf traits and herbivore insects, 日本生態学会第61回大会, 広島, ポスター
- Leopardas, V., Uy, W., *Nakaoka, M.*, 2013年11月7日, Variation in benthic macrofaunal assemblages in multispecific seagrass meadows in the southern Philippines: effects of different seagrass species on epifauna and infauna, Coastal and Estuarine Research Federation 22nd Biennial Conference, アメリカ・サンディエゴ, 口頭
- Maeda, T., Kawai, T., *Nakaoka, M., Yotsukura, N.*, 2013年4月2日, An approach to pinpoint the geographic origin of samples of *Saccharina japonica* by DNA fingerprinting, 21st International Seaweeds Symposium, インドネシア・バリ, ポスター
- Mitani, Y.*, Iwahara, Y., Sekiguchi, K., Matsuno, K., Yamaguchi, A., *Miyashita, K.*, 2013年11月12日, Gray whale distribution in relation to the benthos in the northern Bering Sea and the Chukchi Sea in the early summer, The Fourth Symposium on Polar Science, 東京, 口頭
- Mitani, Y.*, Hakuman, T., Sakaguchi, K., *Miyasita, K.*, 2014年2月2日, Feeding ecology and foraging behavior of harbor seal (*Phoca vitulina*) in-situ and ex-situ: Systematic conservation and management planning for the coexistence of harbor seals and fisheries along the coast of Oyashio, International Symposium "Dolphin acoustics, behavior and cognition", 静岡, 口頭
- Nagasato, C.*, Inoue, A., Terauchi, M., *Motomura, T.*, 2014年3月29日, Ultrastructure and proteomic analysis on the effect of calcium to the brown algal cell wall, *Ectocarpus* 2014, 神戸, ポスター
- Nagasato, C.*, Terauchi, M., *Motomura, T.*, 2013年8月8日, Contribution of Calcium to the Cell Wall Structure in the Brown Alga, *Ectocarpus siliculosus*, 10th International phycological congress, アメリカ・フロリダ, ポスター
- Nakaoka, M.*, Momota, K., Leopardas, V. E., Shoji, J., Hori, M., 2014年3月11日, Spatial variation in ecosystem functions and services of seagrass beds among the Pacific Rim regions, ZEN Conference, アメリカ・ワシントンD.C., 口頭
- Nikaido K., Jishi, T., maeda, T., Suzuki, T., Yokota, T., and *Araki, H.*, 2013年10月16日, Utilization of snow cooling for preservation of asparagus spears, 13th International Asparagus Symposium, 中国・江西, 口頭
- Otsuki, M., Akamatsu, T., Abe, K., Nobetsu, T., *Mitani, Y.*, Sakurai, Y., *Miyashita, K.*, 2013年12月12日, Diel and seasonal changes in the acoustical presence of marine mammals off Rausu, northern Japan, 20th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals, ニュージーランド・ダニーデン, ポスター
- Otsuki, M., Amakasu, K., Kitamura, M., Nishino, S., Kikuchi, T., *Mitani, Y.*, and *Miyashita, K.*, 2013年10月11日-20日, The presence of fin whale vocalizations is corrected with zooplankton abundance in the southern Chukchi Sea, PICES (North Pacific Marine Science Organization) Annual Meeting 2013, カナダ・ナナイモ, 口頭
- Saito, R., Yamaguchi, A., Yasuda, I., *Ueno, H., Ishiyama, H.*, Onishi, H., Imai, I., 2013年10月, Influences of mesoscale anticyclonic eddies on the zooplankton community south of the western Aleutian Islands during the summer of 2010, PICES 2013 Annual Meeting, カナダ・ナナイモ, 口頭
- Sasa, C., Miyazaki, S., Higashi, S., *Miura, T.*, 2013年11月28日, Genetic control of antennal sexual differentiation in the ponerine ant, The 4th International Symposium on Life Science in Toyama, 富山, ポスター
- Sato, M., Honda, K., Bolisay, K. O., Nakamura, Y., *Nakaoka, M.*, Fortes, M.D., 2013年6月25日, Factors affecting the occurrence patterns of two anemonefishes: an application of metapopulation model to marine organisms, 9th Indo-Pacific Fish Conference, 宜野湾, 口頭
- Shao, H., Morita, Y., Sonoki, S., Minami, K., *Yotsukura, N., Nakaoka, M.*, and *Miyashita, K.*, 2013年10月11日-20日, Spatiotemporal analysis of kelp forests distribution characteristics in sea desertification areas using acoustic and direct sensing methods, PICES (North Pacific Marine Science Organization) Annual Meeting 2013, カナダ・ナナイモ, 口頭
- Shao, H., Morita, Y., Sonoki, S., Minami, K., *Yotsukura, N., Nakaoka, M.*, and *Miyashita, K.*, 2013年5月27日-29日, Spatial estimation of the kelp forests (*Saccharina* spp.) distributions in coastal waters of Aomori, Japan, using acoustic method, An International Research Meeting: Front of Diversity Research on Kelp in the North Pacific, 札幌, ポスター

- Shao, H., Morita, Y., Sonoki, S., Minami, K., Yotsukura, N., Nakaoka, M., Miyashita, K., 2013年10月17日, Spatiotemporal analysis of kelp forest distribution characteristics in sea desertification areas using acoustic and direct sensing methods, PIECES annual meeting 2013, カナダ・ナナイモ, 口頭
- Suzuki, W., Sugawara, M., Miwa, K., Morikawa, M., 2013年7月22日, *Acinetobacter calcoaceticus* P23 increased chlorophyll contents of duckweed and lettuce leading to their growth promotion, FEMS2013, ドイツ・ライプツィヒ, ポスター
- Tekuramori, t., Ueno, H., 2014年2月, Temperature inversions in the eastern subtropical north pacific, 2014 Ocean Science Meeting, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Terauchi, M., Ito, T., Nagasato, C., and Motomura, T., 2014年3月29日, Ultrastructural study of cell wall in the brown alga *Ectocarpus siliculosus*, Ectocarpus 2014, 神戸, 口頭
- Ueno, A., Shimizu, S., Yoshida, K., Okuyama H., 2013年11月1日, Possible involvement of polyunsaturated lipids in the evolutionary adaptation of anaerobic bacteria against oxidative stress, The International Biogeoscience Conference Nagoya 2013, 名古屋, 口頭
- Ueno, H., Yasui, K., 2014年2月, DISTRIBUTION AND SEASONAL VARIATION OF HALOCLINE IN THE WORLD OCEAN, 2014 Ocean Science Meeting, アメリカ・ホノルル, ポスター
- Wakahama, T., Yoshida, K., Laza-Martínez A, Kawachi, M., Okuyama, H., 2013年11月2日, Significance of long-chain polyunsaturated fatty acids as a possible biomarker of photosynthetic dinoflagellate symbiosis in marine invertebrates, The International Biogeoscience Conference Nagoya 2013, 名古屋, ポスター
- Watanabe, M., Kojima, H., and Fukui, M., 2013年11月22日-25日, Characteristics of Alicyclobacillaceae bacterium strain skLN1, a novel thermophilic bacterium isolated from freshwater lake sediment, 第29回日本微生物生態学会, 鹿児島, ポスター
- Watanabe, M., Kojima, H., and Fukui, M., 2013年7月20日-27日, *Desulfotomaculum* sp. SR45T, a novel sulfate reducer possessing multiple copies of 16S rRNA gene with sequence variation, 第5回ヨーロッパ微生物学連合大会, ドイツ・ライプツィヒ, ポスター
- Watanabe, T., Kojima, H., and Fukui, M., 2013年7月20日-27日, Comparative genomic analysis of two betaproteobacterial sulfur oxidizers, *Sulfuricella denitrificans* skB26 and *Sulfuritalea hydrogenivorans* sk43H, isolated from the same freshwater lake, 第5回ヨーロッパ微生物学連合大会, ドイツ・ライプツィヒ, ポスター
- Yamaguchi, A., Katayama, N., Kishida, O., 2013年10月11日-13日, Antagonistic indirect interactions between large and small frog tadpoles via larval salamander predator, 個体群生態学会, 大阪, ポスター
- Yamaguchi, A., Katayama, N., Kishida, O., 2014年3月14日-18日, Antagonistic indirect interactions between large and small conspecific prey via heterospecific predator: experimental study using amphibian predator-prey system, 日本生態学会, 広島, ポスター
- Yamakawa R., Kumano, T., Yokota, T., and Aaraki, H., 2013年10月7日, Chicory (*Cichorium intybus*) production of using local snow and terrestrial heat energy in mid-summer, Greensys 2013, 韓国・済州, ポスター
- 相原いづみ, 2013年11月13日-15日, ホウ素の恒常性におけるホウ酸輸送体BOR1の転写後制御の役割, 新学術領域「植物細胞壁機能」第2回若手ワークショップ・第7回細胞壁ネットワーク研究会, つくば, 口頭
- 朝田一平, 吉田俊也, 2014年3月16日, ミズナラ実生の表層土壌攪乱地における空間分布と定着条件, 第61回日本生態学会大会, 広島, ポスター
- 足立敏成, 橋岡香織, 工藤勲, 2013年9月20日, 有光層内における硝化活性と新生産の再評価, 日本海洋学会, 札幌, 口頭
- 雨谷教弘, 工藤岳, 佐藤謙, 2014年3月16日, 大雪山における高山植物群落構造の40年間の変化, 日本生態学会大会, 広島, ポスター
- 荒木肇, 二階堂華那, 2013年12月2日, 中国におけるアスパラガス生産事情, 北海道園芸研究談話会平成25年度研究発表会, 札幌, 口頭
- 石森和佳, 小野清美, 長谷川成明, 隅田明洋, 原登志彦, 2014年3月16日, 生育環境の変化に対するカラマツの葉の生理的応答, 第61回日本生態学会大会, 広島, ポスター
- 石山宙夢, 上野洋路, 稲津将, 2013年9月, 北太平洋における海洋中規模渦の合併と分裂, 日本海洋学会2013年度 秋季大会, 札幌, 口頭
- 磯部美優, 布目三夫, 森脇和郎, 鈴木仁, 2013年9月19日, 北日本ハツカネズミ野生集団における5S ribosomal DNAの進化的動態, 日本遺伝学会第85回大会, 横浜, 口頭
- 伊藤慶造, 高橋菜里, 服部薫, 後藤陽子, 中野渡拓也, 大島慶一郎, 三谷曜子, 宮下和士, 2014年3月30日, トドのメス個体の成熟度による夏季利用上陸場への回遊行動の差異, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭
- 井上貴央, 福澤加里部, 吉田俊也, 渡辺恒大, 柴田英昭, 2013年5月24日, 森林土壌における窒素動態の空間的不均質性とその形成要因, 日本地球惑星科学連合大会2013年大会, 千葉, 口頭
- 今関到, 山本圭一, 伊東隆臣, 倉松明男, 入野浩之, 白川北斗, 篠原陽, 三谷曜子, 宮下和士, 2014年3月28日, 加速度ロガーを用いたエイラクブカの採餌行動の検出手法の構築, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭
- 入江雄一郎, 鈴木将太, 三宅翔太, 宗原弘幸, 2014年3月28日, 臼尻漁港におけるアイナメの繁殖生態, 日本水産学会, 函館, ポスター
- 入江雄一郎, 鈴木将太, 宗原弘幸, 2013年9月21日, アイナメは水温降下で産卵が誘発される, 日本水産学会, 津, ポスター
- 岩崎藍子, 大平昌史, 金森由妃, 阪口勝行, 佐原良祐, 萩野友聡, 相澤章仁, 奥田武弘, 辻野昌広, 深谷肇一, 野田隆史, 2014年3月17日, 東北地方太平洋沖地震後の岩礁潮間帯生物群集における帯状分布の変化とそのプロセス, 第61回日本生態学

会全国大会, 広島, ポスター

岩原由佳, 関口圭子, 松野孝平, 中野翼, 西沢文吾, 鶴山貴司, 山口篤, 綿貫豊, 宮下和士, 三谷曜子, 2014年3月30日, ベーリング海北部・チュクチ海におけるコクジラの分布要因, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

内田健太, 鈴木圭, 寫本樹, 濱田瑞穂, 柳川久, 小泉逸郎, 2014年2月21日, 都市化がエゾリスの行動に与える影響: 都市部と郊外における逃避行動の違い, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, 口頭

内田健太, 濱田瑞穂, 寫本樹, 柳川久, 小泉逸郎, 2014年3月16日, 都市化がエゾリスの行動に与える影響: 都市部と郊外における逃避行動の違い, 日本生態学会, 広島, ポスター

大江光穂, 上野洋路, 2013年9月, 北太平洋中高緯度域における渦位フロントの経年変動 -Argoデータを用いた解析-, 日本海洋学会2013年度秋季大会, 札幌, ポスター

大久保隆, 庄司隆行, Ernest. C., 佐藤信洋, 安藤雅規, 上田宏, 2013年12月20日, シロザケの母川回帰時の河川水に対する嗅覚応答, 平成25年度日本水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

大久保隆, 庄司隆行, Ernest. C., 佐藤信洋, 安藤雅規, 上田宏, 2014年3月30日, シロザケ親魚の母川回帰時の河川水に対する嗅覚応答, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

太田民久, 松永壮, 日浦勉, 2014年3月16日, 多様性-生態系機能の関係-Stoichiometryの理論を用いて検証, 日本生態学会第61回大会, 広島, ポスター

太田直紀, 上野洋路, 伊東素代, 菊地隆, 2013年9月, チュクチ海における太陽放射加熱の時空間変動, 日本海洋学会2013年度秋季大会, 札幌, 口頭

大槻真友子, 2013年8月6日, 海棲ほ乳類の知床沖での観察, 第一回海洋生物の遠隔判別技術ワークショップ, 函館, ポスター

大槻真友子, 赤松友成, 安部幸樹, 野別貴博, 桜井泰憲, 三谷曜子, 宮下和士, 2014年3月30日, 知床羅臼沖における海棲哺乳類の受動式音響モニタリング, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

大平昌史, 岩崎藍子, 金森由紀, 阪口勝行, 佐原良祐, 萩野友聡, 相澤章仁, 奥田武弘, 辻野昌広, 深谷肇一, 仲岡雅裕, 野田隆史, 2014年3月16日, キタアメリカフジツボの分布と個体群サイズの長期変動: 北日本3地域間の比較, 第61回日本生態学会全国大会, 広島, ポスター

小川浩太, 重信秀治, 三浦徹, 2013年8月9日-10日, LCM RNA-seq 法を用いたエンドウヒゲナガアブラムシの繁殖多型に関わるトランスクリプトーム解析, 日本アブラムシ研究会第3回研究集会, 愛知, 口頭

尾島拓也, 菅原雅之, 三輪京子, 森川正章, 2014年3月29日, コウキクサ由来細菌による水生植物の成長促進, 農芸化学会, 仙台, 口頭

大日向佑介, 山内直樹, 中丸純平, 上野修一郎, 笠井宏朗, 三輪京子, 森川正章, 2013年5月31日, 高度好熱菌Geobacillus thermoleovorans B23株を用いた重油汚染土壌浄化の試み, 環境バイオテクノロジー学会, 北九州, 口頭

折山徹郎, 坂上景子, 三輪京子, 森川正章, 2013年9月11日, アンモニア酸化細菌を活性化化する微生物因子の同定, 日本生化学会, 横浜, ポスター

風間香澄, 宗原弘幸, 2014年3月30日, 人為交雑によるアイナメ属雑種発生の再現と遺伝様式, 日本水産学会, 函館, ポスター

片平浩孝, 山崎千登勢, 福井翔, 小泉逸郎, 2014年3月17日, 魚類寄生性ヒル「エゾビル」のメタ個体群構造: ソースは湧水河川!?, 日本生態学会, 広島, ポスター

加藤雄大, 漆畑亘, 三輪京子, 森川正章, 2013年5月30日, 海底油田から単離した高度好熱菌Coprothermobacter sp. PM9-2株の諸特性解析, 環境バイオテクノロジー学会, 北九州, ポスター

金澤友紀代, 山崎千登勢, 田中友樹, 高屋浩介, 小泉逸郎, 2013年12月15日, 外来ニジマスの流域内分布パターン-生活史との関係, 魚類系統研究会, 恵庭, 口頭

金澤友紀代, 山崎千登勢, 田中友樹, 高屋浩介, 小泉逸郎, 2014年2月21日, 外来ニジマスの流域内分布パターン-生活史との関係, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, 口頭

金澤友紀代, 山崎千登勢, 田中友樹, 高屋浩介, 小泉逸郎, 2014年3月18日, 外来ニジマスの柔軟な生息地利用一性・サイズ特異的な季節移動, 日本生態学会, 広島, 口頭

金森由紀, 深谷肇一, 岩崎藍子, 野田隆史, 2014年3月16日, 群集パターンとプロセスの類似性: 岩礁潮間帯固着生物群集における推移行列を用いた解析, 第61回日本生態学会全国大会, 広島, ポスター

金子賢介, 鷲尾健司, 梅澤大樹, 松田冬彦, 森川正章, 沖野龍文, 2013年6月1日, 紅藻ウラボソ Laurencia nipponica 由来バナジウム依存型プロモペルオキシダーゼの性状解析, 第15回大会マリンバイオテクノロジー学会大会, 那覇, 口頭

金子賢介, 鷲尾健司, 梅澤大樹, 松田冬彦, 森川正章, 沖野龍文, 2014年3月30日, 紅藻ウラボソ Laurencia nipponica 由来バナジウム依存型プロモペルオキシダーゼの性状解析, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

川内陽平, 2014年3月4日, 餌生物転換周辺時期におけるスケトウダラ太平洋系群稚魚の分布と生残に影響を与える環境要因に関する研究, 平成25年度北海道音響資源調査研究情報交換会, 札幌, ポスター

喜多千穂海, 南憲史, 富安信, 澤井雅幸, 宮下和士, 2014年3月28日, 音響手法を用いた山田湾におけるアカモクの分布と現存量推定, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

木下豪太, 佐藤淳, 細田徹治, 鈴木仁, 2013年9月6日, 第四紀の環境変動に伴ったクロテンの集団史と北海道を中心とした島嶼での多様性創出, 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会, 岡山, ポスター

熊野貴宏, 荒木肇, 2013年9月20日, カリウム施用がチコリーの根株, 可食部それぞれの収量, 品質, ミネラル成分含量に与える影響, 園芸学会平成25年秋季大会, 岩手, ポスター

熊野貴宏, 山川梨奈, 横田富男, 荒木肇, 2013年3月29日, 牛糞由来堆肥発酵熱を利用したチコリー(Cichorium intybus L. var. Vintor)伏込栽培技術の検討, 園芸学会平成26年春季大会, つくば, 口頭

小暮耕平, 小島久弥, 福井学, 2013年11月22日-25日, 汽水性部分循環湖におけるメタン酸化細菌の群集構造解析, 第29回日本微生物生態学会, 鹿児島, ポスター

午来博, 地子立, 園田高広, 荒木肇, 2013年12月2日, 美幌町における11月出荷を目指した1年半養成根株によるグリーンアスパラガス伏せこみ促成栽培 (第2報) 新品種‘大宝早生’を用いたとりくみ, 北海道園芸研究談話会平成25年度研究発表会, 札幌, 口頭

西條大輔, 宮下和士, 三谷曜子, 2014年3月30日, 摂餌回遊期におけるキタゾウアザラシメスの分布と海洋環境に関する研究, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, ポスター

齊藤隆, 山田敏也, 菅家恵未, 銭谷純平, 石橋靖幸, de Guia APO., 2013年8月18日-23日, A mechanism underlying high genetic diversity in the grey-sided vole: a role of male-biased dispersal and spatial genetic structure, The 11th INteCOL (International Ecological Congress), イギリス・ロンドン, 口頭

阪口勝行, 岩崎藍子, 佐原良祐, 大平昌史, 金森由妃, 萩野友聡, 深谷肇一, 相澤章仁, 辻野昌広, 奥田武弘, 野田隆史, 2014年3月16日, 東北地方太平洋沖地震がフジツボ個体群における幼生加入量と底生個体群サイズ, 及びその関係性に与えた影響, 第61回日本生態学会全国大会, 広島, ポスター

笹千舟, 宮崎智史, 岡田泰和, 東正剛, 三浦徹, 2013年9月13日-16日, トゲオオハリアリにおける雌雄誘導系の確立と核型解析, 日本昆虫学会第73回大会, 札幌, 口頭

笹森翔一, 中田勝士, 鈴木仁, 2013年9月6日, Asip遺伝子の変異に基づく沖縄産クマネズミの系統地理学的位置づけ, 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会, 岡山, ポスター

佐藤剛, 吉田俊也, 2014年3月16日, 北海道の天然生林における台風攪乱が引き起こした森林構造の変化に対する残存木の応答, 第61回日本生態学会大会, 広島, ポスター

佐藤允昭, 2014年3月19日, 野外調査・海流モデル・遺伝解析の統合による熱帯性魚類のメタ個体群存続機構の解明, 環境科学院RA成果発表会, 札幌, ポスター

佐藤允昭, Bernardo, L. P. C., 黒河内寛之, 本多健太郎, Bolisay, K. O., 中村洋平, 練春蘭, 灘岡和夫, Fortes, M. D., 仲岡雅裕, 2013年11月5日, Evaluating the effect of geographic distance on the local abundance and genetic connectivity of two anemonefishes in Puerto Galera, the Philippines, 第5回北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト, 札幌, ポスター

佐藤允昭, Bernardo, L. P. C., 黒河内寛之, 本多健太郎, Bolisay, K. O., 中村洋平, 練春蘭, 灘岡和夫, Fortes, M. D., 仲岡雅裕, 2014年3月18日, 遺伝解析と幼生分散モデルの統合によるクマノミ属魚類の幼生分散プロセスの解明, 第61回日本生態学会大会, 広島, 口頭

佐橋玄記, 芳山拓, 2014年3月14日-18日, カラフトマスの二次性徴形質にみられた河川間変異, 第61回日本生態学会大会, 広島, ポスター

佐原良祐, 深谷肇一, 岩崎藍子, 仲岡雅裕, 山本智子, 相澤章仁, 奥田武弘, 野田隆史, 2014年3月16日, 岩礁潮間帯性腹足類における初期発生様式と個体群サイズの時空間パターンとの関係, 第61回日本生態学会全国大会, 広島, ポスター

塩寺さとみ, 甲山隆司, 2014年3月15日, 熱帯泥炭湿地林とヒース林における樹木の個葉と水利用特性の比較, 第61回日本生態学会大会, 広島, ポスター

篠原陽, 2014年2月7日, 沿岸域でのサケの漁獲量変動要因と遊泳行動の研究結果, 平成25年度網走地区サケ・マス調査報告会, 網走, 口頭

篠原陽, 本多健太郎, 野別貴博, 宮下和士, 2013年12月22日, カラフトマス(*Oncorhynchus gorbusha*)の沿岸域における遊泳環境の検証, 第7回サケ学研究会, 札幌, 口頭

篠原陽, 本多健太郎, 野別貴博, 宮下和士, 2014年3月29日, 知床半島沿岸域に回帰したカラフトマス(*Oncorhynchus gorbusha*)の鉛直・水平移動パターン, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

菅原雅之, 倉科光紀, 鈴木和歌子, 三輪京子, 遠山忠, 森川正章, 2013年6月1日, *Acinetobacter* sp. P23によるウキクサの成長促進と持続的なフェノール分解, 環境バイオテクノロジー学会, 北九州, 口頭

杉目康広, 越川滋行, 三浦徹, 2014年3月26日-28日, Dachshund によるシロアリ兵隊の大顎伸長制御, 第58回日本応用動物昆虫学会, 高知, ポスター

杉目康広, 小川浩太, 渡邊大, 三浦徹, 2013年9月13日-16日, オオシロアリの前兵隊特異的なクチクラ形質と頭部伸長現象, 日本昆虫学会第73回大会, 札幌, 口頭

鈴木将太, 荒井克俊, 宗原弘幸, 2014年3月28日, アイナメ属半クロン系統における核型とその遺伝様式, 日本水産学会, 函館, 口頭

鈴木仁, 2013年8月11日-16日, ntroggression among species of northern Asian hares (*Lepus*) inferred from nuclear and mitochondrial DNA, 11th International Mammalogical congress, 北アイルランド・ベルファルト, ポスター

鈴木仁, 児玉紗也香, 桑山崇, 森脇和郎, 2013年9月19日, インド亜大陸における野生ハツカネズミの遺伝的分化と浸透交雑, 日本遺伝学会第85回大会, 横浜, 口頭

鈴木祐太郎, 友澤森彦, 小泉有希, 土屋公幸, 鈴木仁, 2013年9月19日, 北海道産ヒメネズミの集団史とミトコンドリアDNAの分子進化速度, 日本遺伝学会第85回大会, 横浜, 口頭

鈴木和歌子, 菅原雅之, 三輪京子, 森川正章, 2013年9月19日, ウキクサ由来根圏細菌 *Acinetobacter* sp. P23による野菜成長促進の可能性, 日本生物工学会, 広島, ポスター

須田昌宏, 前田高志, 四ツ倉典滋, 阿部剛史, 能登谷正浩, 2013年6月, 隠岐諸島中ノ島産カタソゾ *Chondrophycus* の1新種, 日本応用藻類学会第12回大会, 東京, ポスター

須田昌宏, 前田高志, 四ツ倉典滋, 阿部剛史, 能登谷正浩, 2014年3月1日, 隠岐諸島中ノ島沿岸で採集されたソゾ属 *Laurencia* の1種, 日本藻類学会第38回大会, 東京, ポスター

園木詩織, 盛田祐加, 堀正和, 南憲史, 小路淳, 宮下和士, 2013年9月21日, 音響計測手法を用いたアマモ場分布の季節変動の定量化, 平成26年度日本水産学会秋季大会, 三重, 口頭

高津邦夫, 片山昇, 岸田治, 2013年10月11日-13日, 捕食者のストイキオメトリーの二型化: 共食いをするサンショウウオを使って, 個体群生態学会, 大阪, ポスター

高津邦夫, 片山昇, 岸田治, 2014年3月14日-18日, Ecological impacts of predator cannibalism on prey community, 日本生態学会, 広島, ポスター

高梨脩, 土屋公幸, Aplin Ken, 鈴木仁, 2013年9月6日, クマネズミ類における環境適応に関連する遺伝子の進化的動態, 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会, 岡山, ポスター

高屋浩介, 高田雄三, 小泉逸郎, 2014年2月21日, 外来アライグマの起源解析および遺伝的集団構造の解明, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, 口頭

高屋浩介, 高田雄三, 小泉逸郎, 2014年3月18日, 外来アライグマの起源解析および遺伝的集団構造の解明, 日本生態学会, 広島, 口頭

滝ヶ平智博, 木村正人, 2014年3月15日-18日, 宿主の違いは寄生蜂の体サイズ・成長速度にどのような影響を及ぼすか?, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

田中幹展, 中村誠宏, 2014年3月18日, シカ樹皮剥ぎが創出する葉形質の空間的異質性がヤナギ上の昆虫群集に与える影響, 第61回日本生態学会, 広島, 口頭

谷平洋介, 上野洋路, 細田滋毅, 2013年9月, 北太平洋中高緯度域における混合層熱収支, 日本海洋学会2013年度 秋季大会, 札幌, ポスター

土田茂雄, 今野幸太郎, 渡辺雅彦, 井尻成保, 平間美信, 新居久也, 上田宏, 2013年12月20日, シロザケのNMDA受容体に関する分子生物学的研究, 平成25年度日本水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

手倉森司, 上野洋路, 2013年9月, 北太平洋東部亜熱帯域における水温逆転構造の形成過程, 日本海洋学会2013年度 秋季大会, 札幌, ポスター

寺田千里, 齊藤隆, Bonenfant, C., 2013年3月14日-18日, ヤクシカにとって適切な管理ユニットとは? 一島内の遺伝的空間構造に着目して, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

照本昂之, 工藤勲, 宮園章, 三好晃治, 品田晃良, 2013年9月20日, オホーツク海北海道沿岸域における春期ブルームと沈降粒子フラックスの関係, 日本海洋学会, 札幌, 口頭

湯曉蓉, 金子賢介, 鷲尾健司, 森川正幸, 沖野龍文, 2013年7月20日, 紅藻ミツデソソ *Laurencia okamurae* のバナジウム依存型プロモベロオキシダーゼの性質, 日本化学会北海道支部2013年夏季研究発表会, 北見, 口頭

永井朋子, 齊藤隆, 2013年3月14日-18日, アカネズミの尾長の地理的変異と環境要因との関係, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

二階堂華那, 地子立, 園田高広, 荒木肇, 2013年12月2日, アスパラガス1年生株の生育に及ぼす亜リン酸葉面散布時期の影響, 北海道園芸研究談話会平成25年度研究発表会, 札幌, 口頭

二階堂華那, 鈴木卓, 市川伸次, 河合孝雄, 荒木肇, 2013年9月20日, アスパラガス伏せ込み促成栽培用2年生株の充実過程, 園芸学会平成25年秋季大会, 岩手, 口頭

二階堂華那, 鈴木卓, 市川伸次, 河合孝雄, 荒木肇, 2014年3月29日, 秋季の外気温がアスパラガス伏せ込み促成栽培用根株の炭水化物蓄積に与える影響, 園芸学会平成26年春季大会, つくば, 口頭

乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2014年2月21日, 繁殖初期にみられるシジュウカラのクラッチサイズと性比の関係, 日本生態学会北海道地区会, 札幌, 口頭

乃美大佑, 油田照秋, 小泉逸郎, 2014年3月16日, シジュウカラにおけるクラッチサイズの緯度勾配ーヨーロッパとアジアの個体群を比較してー, 日本生態学会, 広島, ポスター

野坂恵, 片山昇, 岸田治, 2013年10月11日-13日, ふ化タイミングのずれはサイズ依存の捕食被食関係の強さを左右する, 個体群生態学会, 大阪, ポスター

野坂恵, 片山昇, 岸田治, 2014年3月14日-18日, ふ化フェノロジーはサイズ依存の捕食-被食関係を左右する, 日本生態学会, 広島, ポスター

白曼大翔, 高橋菜里, 高石雅枝, 宮澤奈月, 岡崎雅子, 廣崎芳次, 片倉靖次, 宮下和士, 三谷耀子, 2014年3月30日, 北海道オホーツク海沿岸で保護されたゴマフアザラシ(*Phoca largha*)新生獣における放獣後の回遊行動, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, ポスター

濱崎真克, 守屋開, 志賀健司, 野田隆史, 2014年3月16日, 石狩湾沿岸におけるキタホウネンエビ個体群の消長, 第61回日本生態学会全国大会, 広島, ポスター

林田寿文, 有賀誠, 篠原陽, 高橋緑, 山口紘, 渡邊和好, 矢部浩規, 上田宏, 2013年12月20日, 石狩川流域におけるシロザケの産卵遡上行動, 平成25年度水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

林田寿文, 有賀誠, 篠原陽, 高橋緑, 山口紘, 渡邊和好, 矢部浩規, 上田宏, 2013年12月22日, 石狩川流域におけるシロザケの産卵遡上行動, 第7回サケ学研究会, 札幌, 口頭

林田寿文, 有賀誠, 篠原陽, 高橋緑, 山口紘, 渡邊和好, 矢部浩規, 上田宏, 2014年3月28日, 石狩川流域におけるシロザケの産卵遡上行動, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

速水将人, 細川一実, 木村耕, 大原雅, 2014年3月15日, オオバキスミレ種内に見られる繁殖戦略の二型の遺伝的分化, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

兵頭夏海, 吉田俊也, 2014年3月28日, 択伐施業による林分構造の変化が鳥類の生息環境に与える影響, 第125回日本森林学会大会, さいたま, ポスター

付剛, 木ノ下菜々, 長里千香子, 本村泰三, 2013年9月13日, 褐藻の受精 ~走光性、走化性、雌雄認識について~, 第77回日本植物学会, 札幌, 口頭

福井翔, 片平浩孝, McNally, M. S., 北野聡, 小泉逸郎, 2013年12月15日, 外来カワマスへの減少!? 在来アメマスを含めた10

年前との分布比較, 魚類系統研究会, 恵庭, 口頭

福井翔, 片平浩孝, McNally, M. S., 北野聡, 小泉遼郎, 2013年12月20日, 在来アメマスと外来カワマスの種間交雑—10年間の分布変化—, 水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

福井翔, 片平浩孝, McNally, M. S., 北野聡, 小泉遼郎, 2014年3月16日, 外来カワマスの減少!? 在来アメマスを含めた10年前との分布比較, 日本生態学会, 広島, ポスター

福岡健, 2013年11月13日-15日, ガラクツロン酸転移酵素変異によるホウ素欠乏条件における生育改善, 新学術領域「植物細胞壁機能」第2回若手ワークショップ・第7回細胞壁ネットワーク研究会, つくば, 口頭

船川寛矢, 2013年11月13日-15日, ラムノガラクトン I I 合成に関与する新規分子の同定を目指したシロイヌナズナ高ホウ素要求性株の解析, 新学術領域「植物細胞壁機能」第2回若手ワークショップ・第7回細胞壁ネットワーク研究会, つくば, 口頭

船川寛矢, 三輪京子, 2014年3月18日-20日, ラムノガラクトン II のホウ酸架橋形成が低下したシロイヌナズナ変異株の探索, 第55回日本植物生理学会年会, 富山, ポスター

船川寛矢, 平井達也, 三輪京子, 2013年12月4日, ホウ素過剰条件下におけるホウ酸トランスポーターBOR4高発現トマトの生育特性, 2013年度日本土壌肥科学会北海道支部秋季支部大会, 札幌, 口頭

古川直大, 水野伸也, 阿部邦夫, 平間美信, 飯郷雅之, 上田宏, 2013年12月23日, ベニザケの母川記銘期における脳-下垂体-甲状腺系ホルモンの変化, 第7回サケ学研究会, 札幌, 口頭

古川直大, 水野伸也, 平間美信, 新居久也, 飯郷雅之, 上田宏, 2013年12月20日, シロザケ稚魚の降河回遊に伴う脳-下垂体-甲状腺系ホルモンの変化, 平成25年度日本水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

古川直大, 土田茂雄, 水野伸也, 平間美信, 新居久也, 飯郷雅之, 上田宏, 2014年3月30日, シロザケ稚魚の降河回遊に伴う脳-下垂体-甲状腺系ホルモンおよびNMDA受容体の変化, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

ブーンマク・チャニター, 2013年11月27日-28日, Analysis of ladA alkane monooxygenase-like homologus from an extremely thermophilic *Geobacillus thermoleovorans* B23, Joint Symposium on Environmental Science 2013 -Bridging Finland and Japan -, フィンランド・ヘルシンキ, 招待講演

本多健太郎, Uy, W. H., Baslot, D. I., Pantallano, A. D. S., 佐藤允昭, 中村洋平, 仲岡雅裕, 2014年3月28日, フィリピン南部サンゴ礁域における水産有用魚種の礁斜面付近の鉛直利用様式, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館市, 函館, 口頭

本多健太郎, 鍵和田 玄, 高橋伸幸, 篠原 陽, 宮下和士, 2013年12月20日, 道東別寒辺牛川水系各流域におけるイトウ成魚の行動特性およびその季節性, 平成25年度日本水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

水永優紀, 工藤岳, 2014年3月16日, 高山植物群落の開花フェノロジーと結実成功: マルハナバチ媒とハエ媒の比較, 日本生態学会大会, 広島, ポスター

三谷曜子, 岩原由佳, 関口圭子, 松野孝平, 山口篤, 宮下和士, 2013年11月12日, 初夏のベーリング海北部・チュクチ海におけるコクジラと底生生物の分布, 第4回極域シンポジウム, 東京, 口頭

箕浦るん, 渡邊大, 三浦徹, 2013年9月13日-16日, オオシロアリにおける兵隊特異的な唾液腺分化と発現タンパクの同定, 日本昆虫学会第73回大会, 札幌, 口頭

宮下智弥, 星野洋一郎, 2013年9月21日, 北海道におけるキイチゴ属野生種の自生地調査およびベニバナイチゴの花粉を用いた種間交雑, 平成25年度園芸学会秋季大会, 盛岡, ポスター

宗原弘幸, 入江雄一朗, 鈴木将太, 三宅翔太, 2014年3月28日, アイナメの産卵生態—なわばり雄の回帰, 日本水産学会, 函館, 口頭

村上玲一, 佐藤俊平, 平間美信, 天野勝文, 上田宏, 2013年12月20日ベニザケ脳内における性成熟に伴うキスペプチンおよびGnRH遺伝子の発現動態, 平成25年度日本水産学会北海道支部大会, 札幌, 口頭

村上玲一, 佐藤俊平, 平間美信, 天野勝文, 上田宏, 2013年12月23日, ベニザケ脳内における性成熟に伴うキスペプチンおよびGnRH遺伝子の発現動態, 第7回サケ学研究会, 札幌, 口頭

村上玲一, 佐藤俊平, 平間美信, 天野勝文, 上田宏, 2014年3月30日, ベニザケ脳内における性成熟に伴うキスペプチン・GnRH遺伝子の発現動態, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

村野宏樹, 小川浩太, 梶智就, 渡邊大, 三浦徹, 2014年3月26日-28日, エンドウヒゲナガアブラムシにおける卵生メス特異的なフェロモン線の発生と性, 第58回日本応用動物昆虫学会, 高知, ポスター

目黒裕佳, 午来博, 西田忠雄, 三浦信一, 松山倫也, 地子立, 荒木肇, 園田高広, 2013年12月2日, 亜リン酸および2価鉄イオン資材の葉面散布がアスパラガスに及ぼす影響, 北海道園芸研究談話会平成25年度研究発表会, 札幌, 口頭

百田恭輔, 北村武文, 濱岡秀樹, 仲岡雅裕, 2014年3月16日, 厚岸湖におけるアマモ葉上生物群集の季節的な相互関係強度の変異, 第61回 日本生態学会大会, 広島, ポスター

森庄平, 倉科光紀, 菅原雅之, 三輪京子, 森川正章, 2013年9月19日, 有用物質生産を行うウキクサ根圏細菌の探索および諸特性解析, 日本生物工学会, 広島, ポスター

安井桂, 上野洋路, 2013年9月, 全球塩分躍層の季節変動, 日本海洋学会2013年度 秋季大会, 札幌, 口頭

安酸国起, 村上峻, 三輪京子, 森川正章, 2013年5月30日, アゾ色素分解性 *Elizabethkingia* 属細菌由来アゾ還元酵素の遺伝子探索及び酵素特性解析, 環境バイオテクノロジー学会, 北九州, ポスター

山川梨奈, 熊野貴宏, 横田富男, 荒木肇, 2013年9月20日, 異なる貯蔵方法におけるチョコレート根株の長期保存と春季栽培, 園芸学会平成25年秋季大会, 岩手, 口頭

山口紘, 宮腰靖之, 青山智哉, 篠原陽, 白川北斗, 三谷曜子, 宮下和士, 2014年3月28日, 鉛直的な水温環境がサケの遊泳行動と漁獲量に及ぼす影響, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館, 口頭

山崎彩, アレキサンダーマルケビッチ, 宗原弘幸, 2013年6月26日, Molecular phylogeny and zoogeography of marine sculpins in the *Gymnocanthus* (Teleost Cottidae) based on mitochondrial DANN sequences, インド・太平洋国際魚類学会議,

那覇, 口頭

山崎彩, アレキサンダーマルケビッチ, 宗原弘幸, 2014年3月28日, 生物地理および分岐年代より推定するカジカ科魚類の太平洋から北極海への新種過程, 日本水産学会, 函館, 口頭

山崎千登勢, 小泉逸郎, 2013年12月14日, 乱婚のヤツメウナギにおける多様な繁殖行動: 個体レベルの交配成功と造巣行動産卵床間移動の関係, 魚類系統研究会, 恵庭, 口頭

山崎千登勢, 小泉逸郎, 2014年3月16日, 乱婚のヤツメウナギにおける個体レベルの繁殖行動: 交配成功と造巣行動・産卵床間移動の関係に着目して, 日本生態学会, 広島, ポスター

山崎遥, 吉田俊也, 2014年3月28日, 表土を残す地拵えがウダイカンバの定着と植生の回復に与える影響, 第125回日本森林学会大会, さいたま, ポスター

山田敏也, 杉木 学, 石橋 靖幸, 齊藤 隆, 2013年8月18日-23日, Annual changes of spatial genetic structure in a grey-sided vole population, The 11th INteCOL (International Ecological Congress), イギリス・ロンドン, ポスター

山田敏也, 齊藤隆, 2013年8月12日-16日, Assessment and improvement of the accuracy of assignment test to identify immigrant in a grey-sided vole population in a continuous habitat, The 11th International Mammalogical Congress, イギリス・ベルファスト, ポスター

油田照秋, 乃美大佑, 小泉逸郎, 2014年3月17日, 浮気の子はオスが多いか? シジウカラのつがい外父性における雛の性比, 日本生態学会, 広島, ポスター

頼末武史, 仲岡雅裕, 本多健太郎, Leopardas, V., 田中義幸, 中村洋平, 宮島利宏, Fortes, M. D., Go, G. A., Bolisay, K., Paciencia, Jr. F., Edralin, M., Sarceda, M., Uy, W. H., Pantallano, A., 2014年3月28日, フィリピン・ボリナオにおけるサバヒー養殖漁業が沿岸生態系に与える影響, 平成26年度日本水産学会春季大会, 函館市, 函館, ポスター

李昂, 宗原弘幸, 2013年6月26日, Phylogenetic analysis and molecular evolution of copulatory behavior in two cottid genera, インド・太平洋国際魚類学会議, 那覇, 口頭

若林紘子, 野田悟志, 齊藤隆, 2013年3月14-18日, ヒメネズミにおけるマルチプルパタニティと精巣サイズの関係, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

渡辺崇史, 杉木学, 大原雅, 2014年2月21日, 生育地の分断化が林床性多年生草本オオバナノエンレイソウ個体群に及ぼす影響の定量的評価一異なる生活史段階における遺伝的多様性に着目して一, 2013年度 日本生態学会・北海道地区大会, 札幌, 口頭

渡邊友浩, 小島久弥, 福井学, 2013年11月22-25日, 淡水湖沼の硫酸化細菌群集における主要構成種の特定とゲノム解析, 第29回日本微生物生態学会, 鹿児島, 口頭

渡邊友浩, 小島久弥, 福井学, 2014年3月14日-18日, 淡水湖沼の硫酸化細菌群集における主要構成種の推定, 第61回日本生態学会, 広島, ポスター

渡邊友浩, 小島久弥, 福井学, 2014年3月7日-9日, 淡水湖の水塊で優占する硫酸化細菌の比較ゲノム解析, 第8回日本ゲノム微生物学会, 東京, ポスター

環境物質科学専攻

Ando, T., Sano, S., Kamiya, Y., 2013年5月12日-15日, Acidic properties of Fe³⁺-substituted Cs salts, Cs_{2.5}FexH_{0.5-3x}PW₁₂O₄₀, 7th International Symposium on Acid-Base Catalysis, 東京, ポスター

Chiang, H., Ohta, N., 2013年9月27日, Electric field effects on fluorescence of methylene linked electron donor and acceptor compounds in solution, 第7回分子科学討論会, 京都, ポスター

Endo, D., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2013年7月9日, Structure and physical properties of (supramolecular cation)[Ni(dmit)₂] salts with benzylammonium and its fluorinated derivatives, 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター

Hasagawa, K., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2013年12月11日-12日, Crystal Structures and Absorption Properties of Two-Dimensional Porous Zn Complexes with Pyridine Derivatives as Monodentate Ligands, 2013年電子研国際シンポジウム"網", 札幌, ポスター

Hasagawa, K., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2013年9月30日, Control of Pore Structures by Substitution of Pyridine Derivative Ligands in Porous Two-Dimensional Zinc(II) Complexes, International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan, 仙台, ポスター

Hasegawa, K., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2013年9月30日, Control of Pore Structures by Substitution of Pyridine Derivative Ligands in Porous Two-Dimensional Zinc(II) Complexes, International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan, 仙台, ポスター

Hirayama, J., Abe, R., Kamiya, Y., 2013年10月13日-17日, Combination Effect of Pt/SrTiO₃:Rh Photocatalyst and Sn-Pd/Al₂O₃ Non-Photocatalyst for Photocatalytic Reduction of Nitrate to Nitrogen in Water under Visible Light Irradiation, The 6th Asia-Pacific Congress on Catalysis, 台湾, 口頭

Ishibashi, H., Noro, S., Kubo, K., Nakamura, T., 2013年9月29日, Structure and Adsorption Properties of Two-Dimensional Copper(II) Complexes with Methanesulfonate Anions, International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan, 仙台, ポスター

Janczarek, M., Yang, Z., Takase, M., Ohtani, B., 2013年6月14日, Effect of Morphology of Decahedral Anatase Titania Particles on Their Photocatalytic Activity, 第32回光がかかわる触媒化学シンポジウム, 東京, ポスター

- Janczarek, M., Yang, Z., Takase, M., Ohtani, B., 2013年8月10日, Photocatalytic activity and characterization of decahedral anatase particles prepared in gas-phase process, Post ISHHC-16: Advanced Synthesis and Characterization Techniques for the Atomic-level Understanding and Control of Chemical Reactions, 札幌, ポスター
- Kamiya, Y., Miura, Y., 2013年7月1日-3日, Catalytic Oxidation of Alcohols with H₂O₂ over Cs salts of Keggin-type Heteropolyacids, The 14th Japan-Korea Symposium on Catalysis, 名古屋, 口頭
- Kamiya, Y., Sano, S., Iwase, Y., Miura, Y., 2013年5月20日-24日, Synthesis of micro-meso bimodal Cs salts of dodecatungstosilicic acid and their post-treatment in acid solution, 8th International Mesosstructured Materials Symposium, 淡路, 口頭
- Kimura, S., Takase, M., Ohtani, B., 2014年1月10日, Preparation, Characterization and Application of Noble-Metal Colloids Stabilized by Chiral Molecules, The 3rd International Conference on the MEXT Project of Integrated Research on Chemical Synthesis Synergy of Theory and Molecular Transformation, 福岡, ポスター
- Kubo, K., Yoshitake, M., Endo, T., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013年7月12日, Metal-Organic Frameworks Based on [MnII CrIII(oxalate)₃]- Toward Multifunctional materials, Workshop on Organic Electronics of Highly Correlated Molecular Systems (Core-toCore Program), イギリス・ロンドン, 口頭
- Kubo, K., Yoshitake, M., Endo, T., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013年7月15日, Crystal structure and physical properties of a supramolecular rotator in (m-fluoroanilinium⁺)(dicyclohexano[18]crown-6)[MnII CrIII(oxalate)₃], The 10th International Symposium on Crystalline Organic Metals Superconductors and Ferromagnets (ISCOM2013), カナダ・モントリオール, ポスター
- Lina Mahardiani, Ichikawa, S., Kamiya, Y., 2013年10月13日-17日, Decomposition of Ammonium Ion in Water by Catalytic Ozonation over Cobalt Oxide, The 6th Asia-Pacific Congress on Catalysis, 台湾, ポスター
- Lina Mahardiani, Ichikawa, S., Kamiya, Y., 2013年7月1日-3日, Catalytic Ozonation of Ammonium Ion over Metal Oxide Catalysts, The 14th Japan-Korea Symposium on Catalysis, 名古屋, 口頭
- Matsui, K., Takeuchi, S., Yang, Z., Takase, M., Ohtani, B., 2014年1月10日, Influence of Crystal Facets of Decahedral-Shaped Anatase Titania Particles on their Optical and Physical Properties and Photocatalytic Activities, The 3rd International Conference on the MEXT Project of Integrated Research on Chemical Synthesis Synergy of Theory and Molecular Transformation, 福岡, ポスター
- Miyahara, M., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., and Nakamura, T., 2013年7月9日, Crystal structure and physical properties of DABCO cations with a magnetic [Ni(dmit)₂] anion, 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター
- Miyahara, M., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., and Nakamura, T., 2013年9月28日, Structure and Dielectric Properties of Protonated DABCO/[Ni(dmit)₂]- Crystals, International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan, 仙台, ポスター
- Mizobuchi, A., Karabiyik, B., Ohtani, B., Kowalska, E., 2013年8月10日, Photocatalytic and Antiseptic Properties of Plasmonic Titania Photocatalysts, Post ISHHC-16: Advanced Synthesis and Characterization Techniques for the Atomic-level Understanding and Control of Chemical Reactions, 札幌, ポスター
- Nakagawa, S., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013年7月9日, Structures and Physical Properties of Supramolecular Cation Salts (m-bromoanilinium⁺)(crown ether derivative)[Ni(dmit)₂], 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター
- Ohshima, Y., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013年11月4日-7日, Crystal structure and physical properties of (4-aminopyridinium)(crown ether derivative) supramolecular cations in [Ni(dmit)₂] salts, 4th Asian Conference on Coordination Chemistry, 韓国・済州, ポスター
- Ohshima, Y., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2013年7月9日, Supramolecular cations of (4-aminopyridinium)(dicyclohexano[18]crown-6) in [Ni(dmit)₂] salt, 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター
- Ohshima, Y., Kubo, K., Noro, S., Akutagawa, T., Nakamura, T., 2014年3月26日, Crystal structure and physical properties of (4-aminopyridinium)(crown ether derivative) supramolecular cations in [Ni(dmit)₂] salts, The Sixth Hokkaido-Southeast University Bilateral Symposium on Material Science, 札幌, 口頭
- Ohta, N., Hung, C., 2013年6月5日, Application of Stark Spectroscopy to photochemical reactions of materials in solution, 第29回化学反応討論会, 仙台, ポスター
- Ohtani, B., Wei, Z., Janczarek, M., Kowalska, E., Takase, M., 2014年2月4日, What are Particulate Titania Photocatalysts? Control of Their Photocatalytic Activities by Particle Morphology, 2014 International Conference on Hydrogen Production (ICH2P-2014), 福岡, 口頭
- Osawa, M., Ishino, T., Uchida, T., Motobayashi, K., 2013年8月29日, Structure of water at electrified metal-water interfaces studied by surface-enhanced infrared absorption spectroscopy (SEIRAS), 7th International Conference on Advanced Vibrational Spectroscopy, 神戸, 口頭
- Ohtani, B., Kunciewicz, J., Prieto-Mahaney, O. O., 2013年11月19日, Development of Visible-light Sensitive Photocatalysts: A Novel Approach, The 18th International Conference on Semiconductor Photocatalysis and Solar Energy Conversion (SPASEC-18), アメリカ・サンディエゴ, 招待講演
- Suherman., 川口俊一, 嶋津克明, 2013年7月20日, Surface Plasmon Resonance Sensor for Detection Using Functionalized Alkanethiol Monolayer, 北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭
- Suherman., 川口俊一, 嶋津克明, 2013年9月27日, Functionalized Alkanethiol Domain Structure Effect on Surface Plasmon

- Resonance Sensing, 電気化学会第81回大会, 東京, 口頭
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2014年1月29日, β -agonists Immunosensing by Surface Plasmon Resonance, 化学系学北海道支部2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2014年3月29日, Surface Plasmon Resonance Sensor for Detection of Beta Agonists, 電気化学会第82回大会, 大阪, 口頭
- Suherman, 川口俊一, 嶋津克明, 2014年3月4日, Multi-Targets Detection Using Total Surface Plasmon Resonance Sensing System, PITTCON 2014, アメリカ・シカゴ, 口頭
- Wang, K., Kowalska, E., Ohtani, B., 2013年8月10日, Influence of Ultrasonic Vibration on the Crystalline Composition and Photocatalytic Activity of Degussa (Evonik) P25 Titania, Post ISHHC-16: Advanced Synthesis and Characterization Techniques for the Atomic-level Understanding and Control of Chemical Reactions, 札幌, ポスター
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2013年6月14日, Preparation, Characterization and Photocatalytic Activity of Octahedral Anatase Titania Particles, 第32回光がかわる触媒化学シンポジウム, 東京, 口頭
- Wei, Z., Kowalska, E., Ohtani, B., 2013年8月10日, Preparation of Octahedral Anatase Titania Nanoparticles with Controlled Structural Properties and Photocatalytic Activities, Post ISHHC-16: Advanced Synthesis and Characterization Techniques for the Atomic-level Understanding and Control of Chemical Reactions, 札幌, ポスター
- Xiong, J., Endo, D., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2013年11月2日, Structures and Magnetic Properties of $[\text{Ln}(\text{Mo}_8\text{O}_{26})_2]^{5-}$ ($\text{Ln} = \text{Gd}, \text{Tb}, \text{Dy}, \text{Ho}, \text{Er}$), as Counter Cations for Supramolecular Rotators, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター
- Xiong, J., Endo, D., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2013年12月11日-12日, Structures and Magnetic Properties of $[\text{Ln}(\text{Mo}_8\text{O}_{26})_2]^{5-}$ ($\text{Ln} = \text{Gd}, \text{Tb}, \text{Dy}, \text{Ho}, \text{Er}$), as Counter Anions for Supramolecular Rotators, 2013年電子研国際シンポジウム"網", 札幌, ポスター
- Yan, Y., Akutagawa, T., Kubo, K., Noro, S., Nakamura, T., 2013年7月9日, Naphthalene-1-aminium - crown ether supramolecular cations in $[\text{Ni}(\text{dmit})_2]$ salts, 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター
- Yoshiiri, K., Kastl, E., Zheng, H., Muedsam, C., Karabiyik, B., Rau, S., Ohtani, B., Kowalska, E., 2013年8月5日, Hybrid Photocatalysts Composed of Plasmonic Titania and Ruthenium Complexes for Oxidation of Organic Compounds, The Sixteenth International Symposium on Relations between Homogeneous and Heterogeneous Catalysis (ISHHC-16), 札幌, ポスター
- Yoshitake, M., Kubo, K., Sugihara, H., Suzuki, Y., Kawamata, J., Akutagawa, T., Noro, S., and Nakamura, T., 2013年7月9日, A supramolecular rotator in a ferromagnetic $[\text{MnCr}(\text{oxalate})_3]^-$ crystal, 11th International Conference on Materials Chemistry (MC11), イギリス・コヴェントリー, ポスター
- 足立美佳, 岡佳和, 諸角達也, 中村博, 2014年1月28日-29日, 可視領域蛍光発光団を修飾したシクロデキストリンによる界面活性剤の検出, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 金沢, ポスター
- 阿部秀伸, 加藤雄貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年7月20日, 金クラスターとポリ酸からなる複合体の分子吸着特性, 日本化学会北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭
- 飯森俊文, 生沼要, 太田信廣, 2013年9月13日, 金属-絶縁体相転移を示す分子性導体 λ -(BETS) $_2$ FeCl $_4$ の光照射による電気伝導度変化の時間分解測定, 2013年光化学討論会 松山, 松山, ポスター
- 石野嵩弥, 内田太郎, 本林健太, 陣内亮典, 大澤雅俊, 2013年9月27日, Pt電極に吸着したupd水素のPt-H振動数の電位依存性, 2013年電気化学秋季大会, 東京, 口頭
- 石野嵩弥, 内田太郎, 本林健太, 大澤雅俊, 2013年6月16日, 白金電極に吸着した水素原子のPt-H伸縮振動の電位依存性, 第29回ライラックセミナー・第19回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 石橋秀規, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2013年11月2日, 二種類のCX $_3$ SO $_3$ 型アニオンが共存した二次元銅錯体の合成とガス吸着特性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, 口頭
- 伊藤翼, 磯村洵子, 高橋真, 八木一三, 嶋津克明, 2014年1月29日, 機能性官能基によるシクロデキストリン混合単分子層の包接特性制御, 化学系学北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 魏志順, エバ=コワルスカ, 大谷文章, 2013年6月15日, Correlation between Photocatalytic Activities and Physical/Structural Properties of Octahedral Anatase Particles, 第29回ライラックセミナー・第19回若手研究者交流会, 小樽, ポスター
- 魏志順, エバ=コワルスカ, 大谷文章, 2013年7月21日, Influence of Particle Morphology on the Photocatalytic Activity of Octahedral Single Crystalline Anatase Titania, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター
- 魏志順, エバ=コワルスカ, 大谷文章, 2014年3月26日, Effect of Particle Morphology on Photocatalytic Activity of Octahedral Anatase Titania Particles, 第113回触媒討論会, 豊橋, ポスター
- 梅澤大樹, 山崎翔平, 小栗祐子, 松浦裕志, 鈴木将洋, 沖野龍文, 松田冬彦, 2013年9月19日, Omaezalleneの全合成と絶対立体化学の決定, 第55回天然有機化合物討論会, 京都, 口頭
- 梅澤大樹, 山崎翔平, 松田冬彦, 2013年7月20日, Omaezalleneの全合成, 北海道支部2013年夏季研究発表会, 北見, 口頭
- 梅澤大樹, 毛利昌孝, 松田冬彦, 2013年7月20日, Vinigrolの全合成研究, 北海道支部2013年夏季研究発表会, 北見, 口頭
- 王コンルイ, エバ=コワルスカ, 大谷文章, 2013年7月21日, Influence of Ultrasonic Vibration on the Crystalline Composition and Photocatalytic Activity of Titania Particles, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター
- 王コンルイ, 稗貫右京, エバ=コワルスカ, 大谷文章, 2014年1月28日, Study on Photocatalytic Activity of Anatase-Rutile Titania Particles by Isolation of Each Component, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
- 法呂宏八, 東正信, 大谷文章, 阿部竜, 2013年9月20日, 炭素繊維布を基材とするCuInS $_2$ 電極の調製とその光電気化学特性,

第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

大島雄, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年1月28日-29日, (4-aminopyridinium)(クラウンエーテル誘導体)超分子カチオンを有する[Ni(dmit)2]塩の結晶構造と誘電性, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭
太田信廣, 飯森俊文, 遠藤方, 2014年1月28日, 有機超伝導物質の電気伝導度の光照射効果, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

太田信廣, 姜鴻菊, カムレス=アワスティ, Hsu, H., Diao Wei-Guang Eric, Lee Yuan-Pern 2013年7月20日, 吸収・発光のシュタルク分光による有機物質の光電変換機能の研究, 北海道支部2013年夏季研究発表会, 北見, 口頭

大谷文章, 佐野美香子, 梶貫右京, 高瀬舞, 2013年7月10日, 光触媒の結晶構造および光触媒活性との相関の解析, 第13回光触媒研究討論会, 東京, 依頼

大森徹, 川口俊一, 嶋津克明, 2013年7月20日, 実試料測定を目指した機能性チオール単分子層 修飾基板を用いた電気化学バイオセンサ, 北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭

大森徹, 川口俊一, 嶋津克明, 2014年1月29日, 大腸菌の電気化学検出, 化学系学北海道支部2013年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

大森徹, 中村英博, 森田金市, 坂楨有紀恵, 山田健太, 津田収, 佐藤久, 川口俊一, 嶋津克明, 2014年1月28日, 大腸菌の電気化学検出, 化学系学北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭2C01

岡佳和, 諸角達也, 中村博, 2013年5月18日-19日, 界面活性剤可視検出のための蛍光性シクロデキストリンの開発, 第73回分析化学討論会, 函館, 口頭

岡佳和, 澤尻誠也, 足立美佳, 諸角達也, 中村博, 2013年9月12日-13日, 可視蛍光性シクロデキストリンを用いた系面活性剤の選択的検出, 第30回シクロデキストリンシンポジウム, 熊本, ポスター

小柳津暢久, 嶋津克明, 八木一三, 2014年1月28日, Au電極表面におけるCu核核錯体の構築とその電極触媒活性, 化学系学北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

神谷裕一, 藤田千春, 三浦裕紀, 2013年11月14日-15日, 12-タングストリン酸セシウム中性塩を触媒とした過酸化水素によるアルコール酸化, 第43回石油・石油化学討論会, 北九州, 口頭

亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年2月27日-28日, Unique optical and redox properties of subnanometersized gold clusters with nonspherical core structures, 12th Chemistry Conference for Young Scientists, ベルギー・ブランケンベルヘ, ポスター

亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, 末端修飾型サブナノAu8クラスターの合成と吸収・発光特性, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

木村駿介, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月28日, キラル分子で安定化させた貴金属コロイドの調製と不斉反応場への展開, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

喬琳, 葛愛民, 大澤雅俊, 叶深, 2013年9月24日-27日, 低濃度オゾン中における脂質単分子膜の構造と安定性, 第7回分子科学討論会, 3 B14, 京都, 口頭

喬琳, 葛愛民, 大澤雅俊, 叶深, 2013年9月27日-28日, 気液界面における脂質単分子膜の構造及びその安定性, 2013年電気化学秋季大会, 1F10, 東京, 口頭

久保和也, 大島雄, 渡辺大樹, 山田晃弘, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年11月3日, アニリニウム/クラウンエーテル誘導体超分子カチオンとジチオレン錯体[Ni(dmit)2]ⁿ⁻ (0 < n ≤ 1)から構築される新規金属錯体結晶の構造と物性評価, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

葛愛民, 喬琳, 彭奇齡, 大澤雅俊, 叶深, 2013年9月27日-28日, 固体表面における有機薄膜の界面分子構造一和周波発生(SFG)振動分光法による検討, 2013年電気化学秋季大会, 1H26, 東京, 口頭

黄越キン, 松永智恵, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月28日, 酸化チタン(IV)の磨砕・焼成による結晶構造変化と光触媒活性への影響, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

黄越キン, 松永智恵, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年3月26日, 酸化チタン(IV)微粒子の光触媒活性におよぼす磨砕・焼成による結晶構造変化の影響, 第113回触媒討論会, 豊橋, ポスター

合田元清, 坂本陽介, 廣川淳, 2013年11月7日, オゾン-臭化物イオンの気相-液相不均一反応による臭素生成, 第19回大気化学討論会, 七尾, ポスター

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年11月2日-4日, ピリジル基を導入したサブナノ金クラスターのクロミズム特性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, 口頭

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年5月25日-26日, クロミック特性を示す分子状金クラスターの設計, 第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウム, 和歌山, ポスター

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年6月6日-8日, クロミック特性を示すサブナノ金クラスター, ナノ学会第11回大会, 岡山, ポスター

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年7月20日, ピリジル基で修飾した分子状金クラスターのクロミズム特性, 日本化学会北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年1月28日-29日, π共役系を導入したAu8クラスターの光化学特性と応答機能, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, ピリジル基を導入したチオラート修飾Au8クラスターのクロミック特性, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

櫻井祥平, 岸和樹, 山田幸司, 2014年1月29日, チオフェンを母骨格とした蛍光ソルバトクロミック色素における置換基の位置および数の効果, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

佐藤彰則, 梅澤大樹, 松田彦彦, 2014年3月29日, Dolastatin 16の全合成研究, 日本化学会第94春季年会, 名古屋, 口頭

杉内瑞穂, 小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年11月2日-4日, サブナノ金クラスターの固相での発光応答, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

杉内瑞穂, 小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年1月28日-29日, 蒸気暴露による金クラスターの結晶構造変化と発光応答, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

杉内瑞穂, 小林直貴, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, 蒸気暴露によるサブナノAu8クラスターの固相発光応答, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

スヘルマン, 川口俊一, 森田金市, 嶋津克明, 2014年1月28日, b-agonists immunosensing by surface plasmon resonance, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

高瀬舞, 竹内脩悟, 松井計樹, 佐野美香子, 稗貫右京, 大谷文章, 2013年7月21日, 酸化チタン光触媒の結晶構造と光触媒活性, 第53回オーロラセミナー, 上川, 依頼

高瀬舞, 佐野美香子, 稗貫右京, 大谷文章, 2013年9月18日, 酸化チタン(IV)光触媒の結晶構造・組成の精密解析と活性相関, 第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

高瀬舞, 松井計樹, 竹内脩悟, 楊ジョウ, 大谷文章, 2014年3月31日, 十面体形状アナタース型酸化チタン(IV)微粒子の粒子形状-光触媒活性相関解析, 電気化学会第81回大会, 吹田, 口頭

高瀬舞, 松井計樹, 楊ジョウ, 大谷文章, 2014年1月29日, 十面体形状アナタース型酸化チタン(IV)微粒子表面への機能化の試み, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

高瀬舞, 竹内脩悟, 松井計樹, 黄越キン, 大谷文章, 2013年9月12日, 鉄(III)イオンを電子受容体とする光触媒酸素生成反応の活性におよぼす酸化チタン(IV)の構造・特性の影響, 2013年光化学討論会, 松山, 口頭

高瀬舞, 竹内脩悟, 松井計樹, 新田明央, 大谷文章, 2013年9月28日, 鉄(III)イオンを電子受容体とする光触媒反応におよぼす酸化チタン(IV)の構造・特性の影響, 2013年電気化学秋季大会, 東京, 口頭

高瀬舞, 竹内脩悟, 松井計樹, 楊ジョウ, 大谷文章, 2013年12月9日, 十面体形状アナタース型酸化チタン微粒子の光触媒活性におよぼす露出結晶面の影響, The 23rd Annual Meeting of MRS-J (2013), 横浜, ポスター

高瀬舞, 木村駿介, 大谷文章, 2013年12月12日, キラル分子で修飾した金属微粒子の調製および光学特性評価とその応用, 第32回固体・表面光化学討論会, 東京, 口頭

高瀬舞, 木村駿介, 大谷文章, 2013年9月20日, キラル分子で安定化した貴金属コロイドの調製, 特性評価と応用, 第64回コロイドおよび界面化学討論会, 名古屋, ポスター

高瀬舞, 木村駿介, 大谷文章, 2014年3月27日, キラル分子で安定化した金および白金コロイド微粒子の調製, 評価と応用, 日本化学会第94回春季年会, 名古屋, 口頭

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年12月13日, 鉄(III)イオンを電子受容体とする酸化チタン(IV)系光触媒酸素生成反応の機構解析, 第20回記念シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」, 東京, ポスター

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月29日, ヨウ素酸イオンを電子受容体とする酸化チタン(IV)系光触媒酸素生成反応, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

竹内脩悟, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年3月30日, ヨウ素酸イオンを電子受容体とする酸化チタン(IV)系光触媒酸素生成反応の機構解析, 日本化学会第94回春季年会, 名古屋, 口頭

張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年11月2日-4日, カチオン性六核金クラスターが示す特異なフォトクロミック挙動, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2013年7月20日, サブナノ金クラスターが示す特異なクロミック特性, 日本化学会北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭

張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年1月28日-29日, 疎水性相互作用によるサブナノ金クラスターの集合化とそれに伴う光化学応答, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

張明喆, 亀井優太郎, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, サブナノ金クラスターの疎水場環境での集合化とそれに伴うフォトクロミズム挙動, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

富田修, Wada, K., Hosokawa, S., 大谷文章, 阿部竜, 2013年9月18日, 白金担持型酸化タングステン光触媒を用いたベンゼンからの直接フェノール合成, 第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

中川翔太, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年1月28日-29日, 結晶内分子回転により誘起される誘電応答に対する置換基効果, 日本化学会北海道支部会 2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

中川翔太, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年9月24日, (m-halogenoanilium+)(dibenzo[18]crown-6)[Ni(dmit)2]-結晶の構造と物性, 第7回分子科学討論会, 京都, ポスター

中川翔太, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2014年1月28日-29日, 結晶内分子回転により誘起される誘電応答に対する置換基効果, 日本化学会北海道支部会 2014年冬季研究発表会, 札幌, ポスター

中林孝和, Islam, M. S., 太田信廣, 2013年9月24日-27日, 細胞内環境に伴うNADHの光励起ダイナミクス変化の機構の解明, 第7回分子科学討論会, 京都, 口頭

中林孝和, Islam, M. S., 本間将人, 太田信廣, 2013年9月11日, 自家蛍光寿命イメージングを用いた細胞内pHのその場測定と機構の解明, 2013年光化学討論会, 松山, 口頭

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年12月11日, 二重励起光音響分光法による酸化チタン光触媒中の電子トラップの解析, The 23rd Annual Meeting of MRS-J (2013), 横浜, ポスター

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年9月11日, 二重励起光音響分光法による酸化チタン光触媒中の電子トラップ準位の精密解析, 2013年光化学討論会, 松山, ポスター

新田明央, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年3月30日, 酸化チタン(IV)光触媒微粒子の二重励起光音響スペクトル解析による電子トラップの解析, 日本化学会第94回春季年会, 名古屋, 口頭

新田明央, 松井計樹, 黄越キン, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月29日, 酸化チタン(IV)光触媒の二重励起光音響スペクトル解析による電子トラップ密度の評価, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

新田明央, 八木祐太, 黄越キン, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年7月21日, 二重励起光音響分光法による酸化チタン粉末光触媒中の電子トラップの評価, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター

長谷川啓, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2013年11月2日, 細孔特性の精密制御を指向した単座ビリジン配位子を有する二次元多孔性亜鉛金属錯体の合成と性質, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, 口頭

長谷川啓, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2013年11月2日, 細孔特性の精密制御を指向した単座ビリジン配位子を有する二次元多孔性亜鉛金属錯体の合成と性質, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, 口頭

波多野智章, 中田耕, 嶋津克明, 八木一三, 2014年1月28日, 界面振動分光法を用いた白金電極表面におけるアイオノマー吸着構造の評価, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

平山純, 神谷裕一, 2013年7月29日-31日, Pt/SrTiO₃-RhとSn-Pd/Al₂O₃が共存した反応系による可視光照射下での水中硝酸イオン光還元分解, 第34回触媒学会若手会「夏の研修会」, 愛知, 口頭

平山純, 神谷裕一, 2013年9月18日-20日, 触媒とSn-Pd/Al₂O₃の共存反応系による水中硝酸イオン光還元分解における水中共存物の影響, 第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2013年5月29日-31日, オリゴエチレングリコール鎖を有する半導体性クラスターの応答機能, 第62回高分子学会年次大会, 京都, ポスター

福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2013年6月6日-8日, OEG修飾半導体性クラスターの光学的性質と熱応答性, ナノ学会第11回大会, 岡山, ポスター

福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2013年9月18日-20日, 水溶液中における半導体性クラスターの集合体形成に伴う発光増大, 第64回コロイドおよび界面化学討論会, 名古屋, 口頭

福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, PEG修飾半導体性クラスターの光学的性質と凝集誘起発光増大, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

福永直人, 小西克明, 2013年11月17日-22日, Photoluminescence enhancement of simple PEG-capped semiconductor clusters by guest-induced aggregate formation in water, The 13th Pacific Polymer Conference, 台湾, ポスター

福西康平, 神谷裕一, 2014年1月28日-29日, 金属酸化物触媒による水中アニリンのオゾン酸化分解, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2013年6月15日, タングステン酸ビスマスフレークボール粒子の構造-光触媒活性相関の解析, 第29回ライラックセミナー・第19回若手研究者交流会, 小樽, ポスター

堀晴菜, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月28日, タングステン酸ビスマスの光触媒活性におよぼす構造変化の影響の作用スペクトルによる解析, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

前田武志, 梅澤大樹, 松田彦彦, 2014年3月29日, Danicalipin A 誘導体の合成研究, 日本化学会第94春季年会, 名古屋, 口頭

松井計樹, 高瀬舞, 楊ジョウ, 大谷文章, 2013年11月28日, 十面体形状アナタース酸化チタン(IV)微粒子の光触媒活性におよぼす露出結晶面の影響, 第33回表面科学学術講演会, つくば, 口頭

松井計樹, 楊ジョウ, 高瀬舞, 大谷文章, 2014年1月28日, 気相法により調製した十面体形状アナタースの光触媒活性におよぼす粒子径状の影響, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

丸山司羽佐, 平山純, 神谷裕一, 2013年9月18日-20日, 担持Ni触媒による水中硝酸イオン還元反応, 第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

宮城裕一, 神谷裕一, 2013年7月21日-22日, SiO₂, TiO₂, Al₂O₃担持12-タングストケイ酸触媒の酸性質, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター

宮城裕一, 神谷裕一, 2013年9月18日-20日, 種々の酸化物に担持したH₄SiW₁₂O₄₀の酸性質と酸触媒特性, 第112回触媒討論会, 秋田, 口頭

宮佐穂奈未, 諸角達也, 中村博, 2014年1月28日-29日, 芳香環連結化合物を導入したシクロデキストリン蛍光分析試薬の合成とその応用, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 金沢, ポスター

宮里利輝, 神谷裕一, 2013年11月2日-4日, 活性炭への吸脱着を利用した水中からのリン酸イオンの回収, 第24回廃棄物資源循環学会研究発表会, 札幌, 口頭

宮里利輝, 神谷裕一, 2013年7月21日-22日, 金属酸化物および活性炭への吸脱着を利用した水中リン酸イオンの分離回収, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター

宮原 正樹, 久保和也, 野呂真一郎, 芥川智行, 中村貴義, 2013年11月2日, プロトン化状態を制御したDABCO-[Ni(dmit)₂]-結晶の構造と誘電性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

武藤雄一, 野呂真一郎, 久保和也, 中村貴義, 2013年11月3日, 含フッ素アニオンを有する二次元層状金属水酸化物の合成と吸着特性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

矢口桃, 大澤雅俊, 2014年3月29日, Pd電極表面におけるギ酸酸化反応のpH依存性, 電気化学会第81回大会, 大阪, 口頭

矢嶋亮治, 坂本陽介, 猪俣敏, 廣川淳, 2013年11月7日, シクロヘキセンのオゾン分解反応による気相および粒子相成分の分析, 第19回大気化学討論会, 七尾, ポスター

安田圭一郎, 平山純, 神谷裕一, 2014年1月28日-29日, アルミナ担持金属触媒による酸素共存下での水中亜硝酸イオンの還元分解, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

保田修平, 長谷川俊雄, 安川隼也, 二宮航, 大谷内健, 神谷裕一, 2013年5月28日-29日, モリブドバナドリル酸触媒と水蒸気との酸素交換挙動, 石油学会第56回年会, 東京, 口頭

保田修平, 長谷川俊雄, 安川隼也, 二宮航, 大谷内健, 神谷裕一, 2013年7月21日-22日, H₄PMo₁₁VO₄₀と水蒸気との酸素交換反応, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター

保田修平, 長谷川俊雄, 安川隼也, 二宮航, 大谷内健, 神谷裕一, 2014年1月28日-29日, モリブデン系ヘテロポリ酸の格子酸素と水蒸気の酸素との交換反応のin situ-IR追跡”, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

山木邦亮, 中田耕, 大澤雅俊, 嶋津克明, 2013年7月20日, Pd 電極上における吸着NOの表面反応解析, 北海道支部2013年夏季研究発表会, 北見, 口頭

山田晃弘, 久保和也, 星野哲久, 芥川智行, 野呂真一郎, 中村貴義, 2014年3月29日, 複数の水素結合部位を有する超分子カチオン結晶の構造と物性, 日本化学会第94春季年会, 名古屋, 口頭

厳寅男, 芥川智行, 久保和也, 野呂真一郎, 中村貴義, 2013年9月27日, (naphthalene-1-aminium)(dibenzo[18]crown-6)[Ni(dmit)2]結晶の構造と物性, 第7回分子科学討論会, 京都, 口頭

義煎健太, Kastel, E., Rau, S., 大谷文章, エバ=コワルスカ, 2014年3月29日, 貴金属担持チタニアルテニウム錯体複合プラズモン光触媒による可視光誘起反応, 日本化学会第94春季年会, 名古屋, 口頭

義煎健太, Kastl, E., Rau, S., 大谷文章, エバ=コワルスカ, 2013年12月13日, 金および銀担持酸化チタンとルテニウム錯体を用いるハイブリッドプラズモン光触媒, 第20回記念シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」, 東京, ポスター

義煎健太, Kastl, E., Rau, S., 大谷文章, エバ=コワルスカ, 2014年1月28日, Visible Light-Induced Photocatalysis by Plasmonic Titania Modified with Ruthenium Complexes, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会, 札幌, 口頭

義煎健太, Kastl, E., Zheng, S., Muedsam, C., バリス=カラビク, Rau, S., 大谷文章, エバ=コワルスカ, 2013年7月21日, Development of Hybrid Photocatalysts Composed of Plasmonic Titania and Metal Complexes, 第53回オーロラセミナー, 上川, ポスター

吉田圭佑, 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2013年11月2日-4日, {MS2}n骨格を有するティアラ型環状化合物のホストゲスト特性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

吉田圭佑, 瀬田敬太, 七分勇勝, 小西克明, 2014年3月27日-30日, ティアラ型環状金属チオラートクラスターが示す銀イオンとの選択的な相互作用, 日本化学会第94回春季大会, 名古屋, 口頭

吉竹理, 久保和也, 杉原寛之, 鈴木康孝, 川俣純, 芥川智行, 野呂真一郎, 中村貴義, 2013年11月2日, 超分子ローターを有する強磁性MnCr(oxalate) 3錯体結晶の構造と誘電物性, 錯体化学第63回討論会, 沖縄, 口頭

吉竹理, 久保和也, 杉原寛之, 鈴木康孝, 川俣純, 芥川智行, 野呂真一郎, 中村貴義, 2013年7月20日, 超分子ローター/分子磁性体結晶を利用したマルチフェロイック性の開拓, 日本化学会北海道支部 2013年 夏季研究発表会, 北見, 口頭

鷲尾達也, 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2013年11月2日-4日, ボロン酸修飾型半導体性クラスターの設計とゲスト応答性, 錯体化学会第63回討論会, 沖縄, ポスター

鷲尾達也, 福永直人, 七分勇勝, 小西克明, 2013年7月20日, ボロン酸を有する半導体性クラスターの設計と糖に対する応答活性, 日本化学会北海道支部2013夏季研究発表会, 北見, 口頭

渡辺大樹, 久保和也, 星野哲久, 芥川智行, 野呂真一郎, 中村貴義, 2014年3月29日, trans-anti-trans-dicyclohexano[18]crown-6/4-aminopyridinium超分子カチオンを導入した[Ni(dmit)2]結晶の構造と誘電性, 日本化学会第94春季年会, 名古屋, 口頭

12-4 受賞

環境起学専攻

Islam Md. Shariful., 2013年11月5日, Special Outstanding presentation awards (最優秀賞), Hokkaido University Research Global Poster Contest, Hokkaido University sustainability week 2013, 「持続可能な社会づくりへの貢献」をテーマとした優秀なポスター発表を表彰

駒澤皓, 2014年3月25日, 環境科学院環境気学専攻・沼口賞, “東南極宗谷海岸の空中写真アーカイブデータ発掘とステレオペア画像を用いた氷床表面標高変化の検出”

中村一樹, 山中康裕, 佐藤志穂, 佐藤大介, 中村博, 他14名2013年11月20日, 寒冷地技術シンポジウム2013年度寒地技術賞(地域振興部門), (独)北海道開発技術センターが主催する, 優れた論文に対して与えられる賞

福田武博, 2013年9月18日, 雪氷研究大会2013最優秀口頭発表賞 “南極・ラングホブデ氷河の末端位置・流動速度・表面標高の変化”

渡辺のぞみ, 根岸淳二郎, 中村太士, 2013年11月3日, 『河川生態学術研究会』ベストポスター賞第一位, “水域から陸域への資源供給量はフラッシュ放流に影響されるか”

地球圏科学専攻

北山あさみ, 2014年3月24日, 第12回北海道大学地球化学優秀修士論文賞, 北海道大学の博士課程に進学する学生の中で, 地球化学に関連する修士論文を対象としたもの

榊原大貴, 2013年9月20日, 日本雪氷学会 雪氷研究大会 学生優秀発表ポスター発表部門優秀発表賞, 学会大会における若手対象の優秀発表賞

福田武博, 2013年9月20日, 日本雪氷学会 雪氷研究大会 優秀発表賞, 学会大会における若手対象の優秀発表賞

吉村志穂, 2014年3月29日, 2014年海洋学会春季大会若手ベストポスター賞, 大会のポスター発表のうち, 若手研究者・学生が発表したものから優秀な発表を表彰

生物圏科学専攻

Yamaguchi, A., Katayama, N., *Kishida, O.*, 2014年3月17日, 日本生態学会61回大会ポスター賞, 最優秀賞

相原いづみ, 2013年11月15日, 学会口頭発表での優秀発表賞

飯田佳子, 2014年3月17日, 日本生態学会奨励(鈴木)賞, 学位取得後4年経過までの今後優れた研究展開が期待できる研究者
を選考のうえ表彰

木下豪太, 2013年9月6日, 日本哺乳類学会大会ベストポスター賞“第四紀の環境変動に伴ったクロテンの集団史と北海道を中心
とした島嶼での多様性創出”

笹森翔一, 2013年9月6日, 日本哺乳類学会大会優秀ポスター賞, “Asip遺伝子の変異に基づく沖縄産クマネズミの系統地理学的
位置づけ”

高津邦夫, 片山昇, 岸田治, 2013年10月12日, 個体群生態学会ポスター賞, 優秀賞

深谷肇一, 2014年3月16日, 日本生態学会奨励賞(鈴木賞), 学位取得後4年経過までの今後優れた研究展開が期待できる研究者
を選考のうえ表彰

百田恭輔, 2014年3月17日, 日本生態学会全国大会賞(ポスター賞) 優秀賞,

渡辺崇史, 杉木学, 大原雅, 2014年2月21日, 2013年度 日本生態学会北海道地区会 若手研究奨励賞, 生育地の分断化が林床
性多年生草本オオバナノエンレイソウ個体群に及ぼす影響の定量的評価一異なる生活史段階における遺伝的多様性に着目
して一

環境物質科学専攻

石橋秀規, 2013年9月30日, 「International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical
Society of Japan」 優秀ポスター賞(Outstanding poster paper Award),

小林直貴, 2013年6月8日, ナノ学会第11回大会 若手優秀ポスター発表賞

小林直貴, 2014年1月28日, 優秀講演賞, 化学系学協会北海道支部2014年冬季研究発表会

宮原正樹, 2013年9月30日, 「International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical
Society of Japan」 優秀ポスター賞(Outstanding poster paper Award)

1 3 修了後の進路

1 3-1 博士後期課程修了者

平成25年度修了者（平成26年5月1日現在）

就職先別統計

学術研究 11, 公務員 3, 教育・学習支援 2, 製造業 3, その他 1, 計 20

主な進路

環境起学専攻

環境省エコチル調査北海道ユニットセンター, 富山県教育委員会, Research Center for Limnology, LIPI, 三菱化学株式会社, Jahangirnagar University

地球圏科学専攻

札幌大谷高校, 北海道大学, 石巻専修大学, 北海道庁職員, 明星電気株式会社

生物圏化学専攻

森林総合研究所, 函館市, (地独) 北海道総合研究機構函館水産試験場, LIPI インドネシア科学院生物学研究センター, Jahangirnagar University, 北海道大学低温科学研究所, 独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所

環境物質科学専攻

北海道薬科大学, University of Rajshahi, Bangladesh

1 3-2 修士（博士前期）課程修了者

平成25年度（平成26年5月1日現在）

就職先別統計

博士後期課程進学（他大学院を含む） 21, 農業・林業 5, 漁業 1, 鉱業・採石・砂利採取 1, 建設業 7, 製造業 25, 電気・ガス・熱・水道 1, 情報通信 7, 運輸・郵便 1, 卸売・小売 6, 金融・保険 2, 学術研究 8, 宿泊・飲食サービス 1, 生活関連サービス 2, 教育・学習支援 2, その他サービス 5, 公務員 9, その他 3, 計 107

主な進路

環境起学専攻

北海道, ウェザーニューズ, 株式会社ゴーガ, Amoi Longsist Corporation, 株式会社 FRS コーポレーション, 和光技研株式会社, 株式会社 JTB, 新日鉄住金化学, あいおいニッセイ同和損保, 株式会社ニコン, テス・エンジニアリング株式会社, 株式会社千代田ラフト, 香老舗, 松栄堂, Joint Secretariat of Central Kalimantan Province, ポッカ

地球圏科学専攻

東京都, 日清食品, 気象庁, 株式会社ワークスアプリケーションズ, 気象庁, 富士通株式会社, 野村総合研究所, 函館市役所, 明治コンサルタント株式会社

生物圏科学専攻

ダイワハウス, わかもと製菓株式会社, ソウルドアウト株式会社, 埋金木工所, エスエスユニオン株式会社, 春日部東高等学校, ドウコン株式会社, 岩手県庁農林水産部, 北海道庁, 東光薬品工業株式会社, 札幌市役所, 武田薬品工業株式会社, ヒゲタ醤油株式会社, 株式会社アルレシア, イオンフードサプライ株式会社, ニッセイ情報テクノロジー, 内藤環境管理株式会社, パシフィックコンサルタンツ株式会社, ハミューレ株式会社, イオンモール, とわの森三愛高等学校, アーステクニカ, 日本電気航空宇宙システム株式会社, エムエス機器株式会社, モンベル, サイゼリア, 長谷工コーポレーション株式会社, セガサミーホールディングス, 社団法人新潟県農林公社, 雪印メグミルク, 大塚製菓株式会社, 農林水産省, 昭和興産株式会社

環境物質科学専攻

株式会社ローソン, 住友ゴム工業株式会社, 大和薬品工業, 株式会社ニッペコ, 北海道大学創成研究機構共用機器管理センター, 積水化成工業株式会社, 宮崎中央農業共同組合, 株式会社雪印種苗, 昭和産業株式会社, リケンテクノス株式会社, 株式会社リニカル, 株式会社リクルートスタッフィング, ホクレン農業組合連合会, 信越化学工業株式会社, 信越ポリマー株式会社, 株式会社 VSN, LIXIL 株式会社, ニチレキ株式会社, 日本郵便, 曙ブレーキ工業株式会社, 日本カーリット株式会社, 株式会社栗田工業, 日経アクト株式会社, 株式会社東芝, 東邦亜鉛株式会社

V 補 遺

1 4 規程

北海道大学大学院環境科学院規程

平成17年4月1日制定
海大達第49号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人北海道大学組織規則(平成16年海大達第32号)第27条の3第4項の規定に基づき、環境科学院(以下「本学院」という。)の教育課程等に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第1条の2 本学院は、自然科学に基礎をおき、地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに、これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人の養成を目的とする。

第1章の2 専攻及び課程

(専攻)

第1条の3 本学院に、次の専攻を置く。

環境起学専攻

地球圏科学専攻

生物圏科学専攻

環境物質科学専攻

(課程)

第2条 本学院の課程は、博士課程とする。

第2章 入学、再入学、転学、所属変更及び転専攻

(入学)

第3条 本学院に入学することのできる者は、北海道大学大学院通則(昭和29年海大達第3号。以下「通則」という。)第4条第4項に規定する修士課程(以下「修士課程」という。)にあっては、通則第10条第1項、通則第4条第4項に規定する博士後期課程(以下「博士後期課程」という。)にあっては、通則第10条第2項に該当する者で、本学院の行う選考に合格した者とする。

(再入学、転学、所属変更及び転専攻)

第4条 通則第13条各号又は第13条の2第1号に該当する者が本学院に再入学、転学又は所属の変更を願い出た場合及び通則第13条の2第2号に該当する者が転専攻を願い出た場合は、選考の上これを許可することがある。

第3章 授業科目、修了要件、履修方法及び試験

(授業科目及び単位)

第5条 各専攻の授業科目及び単位は、別表のとおりとする。

2 前項に規定する授業科目のほか、必要がある場合においては、教授会の議を経て、臨時の授業科目を設けることができる。

(単位数の計算の基準)

第5条の2 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

(課程の修了要件)

第6条 修士課程の修了要件は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、本学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 本学院において教育上有益と認めるときは、他の専攻、研究科、他の学院若しくは教育部の専攻又は学部

の授業科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

3 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院理工系専門基礎科目規程(平成22年海大達第60号)に定める授業科目(以下この項及び次条において「理工系専門基礎科目」という。)のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、北海道大学大学院共通授業科目規程(平成12年海大達第24号)に定める授業科目(次条において「共通授業科目」という。)を指定して履修させ、修士課程の単位とすることができる。

第7条 博士課程の修了要件は、大学院に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、修士課程において30単位以上、博士後期課程において10単位以上をそれぞれ修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了の要件については、前項中「5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「3年(修士課程における在学期間を含む。)」と読み替えて、前項の規定を適用する。

3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士課程の後期3年の課程に入学した場合の博士課程の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

4 本学院において教育上有益と認めるときは、理工系専門基礎科目のうち、別表に掲げる授業科目以外の理工系専門基礎科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

5 本学院において教育上有益と認めるときは、共通授業科目を指定して履修させ、第1項の規定により修得すべき単位とすることができる。

(長期履修)

第8条 本学院において、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、その計画的な履修(以下「長期履修」という。)を認めることができる。

2 長期履修に関し通則第4条の2に定めるもののほか、本学院において必要な事項は、教授会の議を経て、学院長が別に定める。

(他大学の大学院等における履修等)

第9条 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院の授業科目を履修し、又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(次条において「国際連合大学」という。)において学修することを認めることができる。

2 前項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位又は学修の成果については、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、教授会の議を経て第6条第1項又は第7条の規定により修得すべき単位の一部とみなすことができる。

3 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の大学の大学院若しくは研究所等又は外国の大学の大学院若しくは研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第10条 本学院において教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、新たに本学院に入学した学生が、本学院に入学する前に本学若しくは他の大学の大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。)又は外国の大学の大学院若しくは国際連合大学において学修した成果を、本学院に入学した後の本学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、本学大学院において修得した単位以外のものについては、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を超えない範囲において、第6条第1項又は第7条の規定により修得すべき単位の一部とすることができる。

(履修方法)

第11条 授業科目の履修方法の細目については、教授会の議を経て、学院長が定める。

(試験)

第12条 各授業科目の試験(以下「科目試験」という。)は、当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。

ただし、やむを得ない事由があるときは、教授会の議を経て、臨時に実施することができる。

(成績の評価)

第13条 科目試験の成績は、秀、優、良、可及び不可の5種とし、秀、優、良及び可を合格とする。

(学位論文の提出期日)

第14条 修士課程及び博士課程の学位論文は、本学院の定める期日までに提出しなければならない。

第4章 課程修了の認定

(課程修了の認定)

第15条 修士課程及び博士課程の修了は、当該課程の修了要件を満たした者について、教授会の議を経て認定する。

第5章 特別聴講学生、特別研究学生、委託生及び外国人留学生

(特別聴講学生)

第16条 本学院において特定の授業科目を履修し、単位を修得しようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

2 特別聴講学生は、学期又は学年ごとに許可する。

3 特別聴講学生に係る試験及び成績の評価については、第12条及び第13条の規定を準用する。

(特別研究学生)

第17条 本学院において研究指導を受けようとする他の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生があるときは、教授会の議を経て、特別研究学生としてこれを許可することができる。

(委託生)

第18条 通則第43条及び第44条の規定による委託生の入学については、教授会の議を経て、許可することができる。

(外国人留学生)

第19条 通則第47条の規定による外国人留学生の入学については、教授会の議を経て、許可することができる。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 北海道大学大学院通則の一部を改正する規則(平成17年海大達第45号)附則第2項に規定する地球環境科学研究科の地圏環境科学専攻、生態環境科学専攻、物質環境科学専攻又は大気海洋圏環境科学専攻に在学する者(以下「地球環境科学研究科在学者」という。)に係る教育課程の実施及び課程修了の認定は、同附則第4項の規定に基づき環境科学院が行うものとし、当該地球環境科学研究科在学者に係る教育課程、課程修了の要件その他教育に関し必要な事項は、環境科学院において別に定める。

3 北海道大学大学院地球環境科学研究科規程(平成5年海大達第15号)は、廃止する。

附 則(平成18年4月1日海大達第95号)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年4月1日海大達第140号)

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に本学大学院に在学する者(以下この項において「在学者」という。)及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月26日海大達第285号)

この規程は、平成19年12月26日から施行する。

附 則(平成20年4月1日海大達第83号)

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成20年3月31日に本学大学院に在学する者(以下この項において「在学者」という。)及び同年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成22年4月1日海大達第95号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年4月1日海大達第121号)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

1 5 予算

年度	(単位：千円)
	運営費交付金
平成25年度	9, 7 1 0

1 6 安全管理

実施項目	防災訓練
実施日	5月8日
実施内容：化学薬品吸着の取り扱い，排風機の取り扱い，AEDの使用方法， 防火・防災に関するスライド上映，防火シャッター・防火戸設備の操作，屋内消火栓の操作	
実施項目	安全教育
実施時期	4月～5月
実施内容：「安全の手引き」，「安全の手引きCD版」，「化学薬品の取扱いについて」， 「安全マニュアル 環境科学院」を活用して安全教育を各研究室単位で実施	
実施項目	職場巡視
実施時期	10月～11月
実施内容：教職員の安全管理に関する意識の高揚を図り，労働災害等の発生を防止するため，全ての実験室・居室等を対象に実施	

17 協定

国際交流：部局間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	アメリカ合衆国	イリノイ大学大学院シカゴ校 UTC Graduate College, The University of Illinois at Chicago	平成5年7月14日	
2	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成7年3月16日 (更新：平成15年11月21日)	※
3	連合王国 (UK)	ノッチンガム大学 University of Nottingham	平成8年2月9日 (廃止：平成14年2月6日)	
4	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学科学技術研究科 Tribhuvan University	平成9年10月17日 (更新：平成17年1月20日)	※
5	中華人民共和国	蘭州大学資源環境学院 School of Earth and Environmental Sciences, Lanzhou University	平成9年11月17日	※
6	マレーシア	マレーシアサバ大学科学技術研究科 School of Science and Technology, Universiti Malaysia Sabah	平成10年1月16日 (廃止：平成15年1月15日)	
7	中華民国 (台湾)	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成22年9月2日	※
8	ドイツ連邦民主共和国	GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel	平成24年5月31日	
9	中華民国 (台湾)	国立東華大学 College of Environmental Studies, National Dong Hwa University	平成24年6月25日	
10	アメリカ合衆国	ユタ大学大学院・ナノ研究所 Graduate School/ Nano Institute of Utah, University of Utah	平成25年1月22日	
11	マレーシア	マレーシアサバ大学 熱帯生物保全研究所 Institute for Tropical Biology and Conservation, Universiti Malaysia Sabah	平成26年2月5日	

※ 後日大学間交流締結

国際交流：大学間交流協定

	国名	機関名	締結日	備考
1	大韓民国	ソウル大学校 Seoul National University	平成9年10月1日 (更新：平成14年10月1日, 平成19年10月1日)	
2	大韓民国	釜慶大学校 Pukyong National University	平成12年10月25日 (更新：平成17年10月25日, 平成22年10月25日)	
3	中華人民共和国	南開大学 Nankai University	平成18年5月11日 (更新：平成23年5月11日)	
4	インドネシア共和国	パランカラヤ大学 University of Palangka Raya	平成18年8月26日 (更新：平成23年8月26日)	※
5	スイス連邦	スイス連邦工科大学 Swiss Federal Institute of Technology Zurich (ETH)	平成19年6月13日 (更新：平成23年6月13日)	※
6	ロシア連邦	極東連邦総合大学 Far Eastern Federal University	平成19年11月12日	
7	オーストラリア連邦	タスマニア大学 University of Tasmania	平成21年1月9日	
8	インドネシア共和国	ボゴール農業大学 Bogor Agricultural University	平成21年7月29日	
9	中華人民共和国	蘭州大学 Lanzhou University	平成22年4月9日	
10	ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学 Tribhuvan University	平成22年10月24日	※
11	中華人民共和国	東南大学 Southeast University	平成22年10月29日	※
12	中華人民共和国	廈門大学 Xiamen University	平成22年11月25日	
13	中華人民共和国	西北農林科技大学 Northwest A&F University	平成23年10月13日	

	国名	機関名	締結日	備考
14	大韓民国	成均館大学校 Sungkyunkwan University	平成24年12月27日	
15	中華民国（台湾）	国立成功大学 National Cheng Kung University	平成25年1月23日	
16	インドネシア共和国	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	平成26年3月20日	

※：責任部局として参画

